

第2部 各学部での履修及び取得できる各種資格

I 体育学部での履修

II 体育学部で取得できる各種資格

- 1 教育職員免許状（中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育））
- 2 （公財）日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者資格
- 3 （国家資格）第一種衛生管理者免許
- 4 （公財）健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士
- 5 （公財）日本レクリエーション協会 レクリエーション指導者資格
- 6 （公社）日本キャンプ協会 キャンプインストラクター資格
- 7 （公財）日本パラスポーツ協会 パラスポーツ指導員資格
- 8 （特活）日本トレーニング指導者協会 JATIトレーニング指導者資格
- 9 （一社）全国体育スポーツ系大学協議会 JPSUSポーツトレーナー
- 10 教育職員免許状（小学校教諭一種免許状）

*資格履修科目確認リスト

III 2023年度体育学部開講科目一覧

IV 教育学部での履修

V 教育学部で取得できる各種資格

- 1 教育職員免許状
（幼稚園，小学校，中学校・高等学校（保健体育），特別支援学校教諭一種免許状）
- 2 （公財）日本レクリエーション協会 レクリエーション指導者資格
- 3 （公財）日本パラスポーツ協会 パラスポーツ指導員資格
- 4 保育士資格

VI 2023年度教育学部開講科目一覧

I 体育学部での履修

1 体育学部の目的・教育目標

体育学部の教育目標は次のとおりです。

体育、スポーツ・健康に関する科学的な理論を理解し、実技能力や実技指導能力、スポーツ組織のマネジメント能力を有する実践的な人材を養成することを教育目標として、以下のとおり定める。

- (1) 豊かな教養を修める。
- (2) 専門的な知識・技能を修得する。
- (3) 調和のとれた人格を形成する。
- (4) 社会に貢献できる力を身につける。
- (5) 能動的・自立的行動力を身につける。

2 カリキュラムの構成

体育学部の授業科目は次の科目区分で構成し、基礎から専門を4年間で学びます。授業科目の受講は学年やコースごとの指定もありますので履修登録に際しては注意してください。

【科目区分】

- (1) 教養科目（学部共通 基礎教育科目と一般教育科目で構成）
- (2) 専門基礎科目（学部共通）
- (3) 発展科目（学科共通）
- (4) 応用科目（コース別）
- (5) 関連科目、資格関連科目（学科共通）
- (6) キャリア教育科目、教職に関する専門科目、自由科目（学部共通）

体育学部の授業の組み立て

基礎

専門

応用科目	コース共通 3年生	関連科目	資格関連科目	キャリア教育科目	教職に関する専門科目	自由科目
講義&実技&実習 &インターンシップ						
発展科目	学科共通 1~4年生	学科共通 1~4年生		体育学部共通 1~4年生		
講義&実技&演習						
専門基礎科目	体育学部共通 標準1~4年生					
体育・スポーツの講義&実技						
教養科目	体育学部共通 標準1~2年生					
一般教育・基礎教育						

3 卒業要件

- (1) 卒業には次の2つの条件を充たしていることが必要となります。
 - ・本学に4年間在学していること（休学期間は含まれません）
 - ・卒業に必要な単位数を修得していること
- (2) 卒業所要単位数は124単位ですが、科目区分ごとに学科で定められた最低修得単位数を修得していなければなりません。
- (3) 開講科目一覧表における「教職に関する専門科目」「資格関連科目」「自由科目」は、卒業所要単位数に含みません。

(スポーツ教育学科)

授業科目区分	最低修得単位数	備 考
教養科目※	20単位	基礎教育科目8単位以上 一般教育科目12単位以上
専門基礎科目	42単位	必修39単位 選択必修3単位
発展科目	20単位	必修20単位
応用科目	14単位	
関連科目※	13単位	
キャリア教育科目※	1単位	
※の科目及び単位互換科目から選択	14単位	
卒業所要単位数合計	124単位	

(健康・スポーツマネジメント学科)

授業科目区分	最低修得単位数	備 考
教養科目※	20単位	基礎教育科目8単位以上 一般教育科目12単位以上
専門基礎科目	42単位	必修39単位 選択必修3単位
発展科目	22単位	必修22単位
応用科目	14単位	
関連科目※	11単位	
キャリア教育科目※	1単位	
※の科目及び単位互換科目から選択	14単位	
卒業所要単位数合計	124単位	

4 各科目区分の履修

- (1) **基礎教育科目**
 - ・「日本語技法」「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語演習」は1年次必修であり、クラス分けテストでクラス指定を行います。
 - ・「統計実習Ⅰ」の履修者は「統計実習Ⅱ」も履修しなければなりません。
 - ・「統計基礎」と「統計実習Ⅰ」+「統計実習Ⅱ」はいずれかの選択必修になりますが、この選考はクラス分けテストの結果で行います。
- (2) **一般教育科目**

人文科学、社会科学、自然科学の3分野からそれぞれ2科目4単位以上を選択履修しなければなりません。

※教養科目は、基礎教育科目と一般教育科目とで合計20単位以上が必要です。
- (3) **専門基礎科目**

専門基礎科目は体育学部共通科目で、講義科目27単位、実技科目12単位に、「ダンスⅠA」「柔道ⅠA」「剣道ⅠA」より1単位、「ダンスⅠB」「柔道ⅠB」「剣道ⅠB」より1単位の合計2単位が必修です。（教員免許取得にあたっては「ダンスⅠA」が必修、「柔道ⅠA」又は「剣道ⅠA」が選択必修です。）また、選択必修実習科目1単位が必要です。

※「柔道 I A」「剣道 I A」の両方の履修はできません。

※「柔道 I B」「剣道 I B」の両方の履修はできません。

(4) 発展科目

発展科目は各学科共通科目ですが、卒業に必要な単位数が異なりますので注意してください。

ア. スポーツ教育学科

講義科目、演習科目、実技科目合計で20単位が必修です。

実技科目の「ハンドボール I」は男女とも、「ラグビー I」は男子、「ソフトボール」は女子が必修です。

イ. 健康・スポーツマネジメント学科

講義科目、演習科目、実技科目合計で22単位が必修です。

(5) 応用科目

応用科目は3年次に所属するコースに開設されている必修及び選択必修科目の計14単位を修得しなければなりません。

(6) 関連科目

関連科目は、コースの専門的学習をさらに幅広く深める科目、教員免許状に必要な科目など、学部として共通に開講している科目や各学科で開講している選択科目があります。

(履修方法)

ア. スポーツ教育学科

選択必修講義科目を10単位以上、選択必修実技科目は3単位以上、合計13単位以上を修得しなければなりません。

イ. 健康・スポーツマネジメント学科

選択必修講義科目を8単位以上、選択必修実技科目は3単位以上、合計11単位以上を修得しなければなりません。

※選択講義科目の4科目(「教師論」「保健体育科教育法A」「保健体育科教育法B」「保健体育科学習指導論」)は、卒業所要単位の124単位には含まれますが、選択必修講義科目のそれぞれ10単位・8単位には含まれませんので注意してください。

(7) キャリア教育科目

キャリア教育科目は学部共通で必修科目(「キャリアデザイン I」)1単位以上を修得しなければなりません。

5 進級等

(1) 2年次から3年次に進級するには、2年次終了時に**30単位以上**を修得していることが必要です。これをクリアしないと進級できませんので注意してください。

(2) 学則第35条第6号「当該年度に履修した授業科目につき15単位以上を修得できない者は、除籍する」の規定の適用については、次のとおり取り扱います。

① 1年次生

- ・1年次終了時に15単位未修得の場合、文書にて「除籍警告」並びに保証人あてに「除籍警告書」を送付します。
- ・学修継続を希望する場合は、事前に調書及び「誓約書」を提出したうえで、面談を通じて承認を受ける必要があります。これらに応じない場合は、学則に基づき除籍手続を進めます。

② 2年次生

- ・1年次生と同様に取扱います。
- ・3年次への進級条件を「2年次終了時に30単位以上を修得している」とし、進級の可否判断を行います。

(誓約書が提出されていても、30単位以上修得していなければ3年次への進級はできません。)

③ 3年次生

1年次生と同様に取扱います。

④ 4年次生

15単位未修得による除籍規定の適用は、原則として行いません。

6 コース選択

3年次に進級すると各学科に設けているコースごとに専門教育の学修を進めます。コースでの授業は、コースに対応する講義、演習、実技、実習科目を履修し、併せて発展科目の「演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。

コースの選択は、2年次の10月上旬から中旬に各学科において希望調査を行います。

コースにより希望者が偏った場合、2年次前期までの学業成績（GPA）が選考に用いられることがあります。どのコースを選択しても教員免許は取得できますが、その他の資格・免許についてはコースにより異なりますので「Ⅱ 体育学部で取得できる各種資格」ページを参照してください。

2022年度の各コースの定員はつぎの通りでした。コース選択時には、変更が生じる場合がありますが参考にしてください。

スポーツ教育学科		
コーチ教育コース	体育科教育コース	スポーツ心理・カウンセリングコース
178名	80名	60名
健康・スポーツマネジメント学科		
スポーツマネジメントコース	アスレティックトレーニングコース	健康スポーツコース
75名	66名	77名

7 履修登録の方法

時間割表を確認のうえ受講する科目を自分でWEB登録してください。

ただし、次表の科目は教学部教務担当が登録するので、自分で登録する必要はありません。

科目	配当年次	備考
情報処理実習Ⅰ	1年次配当	時間割に記載しているクラスで受講すること。
情報処理実習Ⅱ	1年次配当	教員免許取得を考えている学生は、1年生で必ず履修すること。2年生以降は再履修のクラスのみ履修可とし、再履修者が優先。
日本語技法 日本語技法演習（基礎） 日本語技法演習（応用）	1年次配当	初回授業（ガイダンス）で受講クラスを通知します。
統計基礎 統計実習Ⅰ 統計実習Ⅱ	1年次配当	
英語演習	1年次配当	初回授業（ガイダンス）で受講クラスを通知します。再履修者も同様。
英語ⅠA 英語ⅠB	1年次配当	
スポーツ社会学	1年次配当	時間割に記載されているクラスで受講すること。 <u>※2年生以上は自分で登録すること。</u>
機能解剖学	1年次配当	
スポーツ生理学Ⅰ	1年次配当	時間割に記載されているクラスで受講すること。 <u>※2年生以上は自分で登録すること。</u>
体力トレーニング論・同実習	1年次配当	
スポーツ測定評価	1年次配当	
陸上競技Ⅰ	1年次配当	

器械運動 I	1 年次担当	時間割に記載されているクラスで受講すること。 ※2年生以上は自分で登録すること。
水泳 I	1 年次担当	
レクリエーション I	1 年次担当	
生涯スポーツ概論	1 年次担当	
教師論、教育原理、 教育心理学	1 年次担当	

再履修において注意が必要な科目

再履修で注意が必要な科目は以下のとおりです。一覧表に記載している方法で手続きをしてください。

科目	確認事項	登録方法
日本語技法 日本語技法演習 (基礎)	<p>教学部の案内に従い、期限までに手続きをしてください。</p> <p>※初回合同授業にてクラスを確認すること (後期も同様です)</p>	<p>教学部で登録 (自分で登録する必要はありません)</p>
英語 I A	<p>教学部の案内に従い、期限までに手続きをしてください。</p> <p>※以下、2021 年度以前入学生のみ適用</p> <p>(1) 前年度成績が 1 点表示の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水曜 2 時限、3 時限、4 時限の「英語 I A」のいずれかを履修すること。 ・ラーニングcommons (学習支援室) が実施する「基礎学力試験」での合格も必要。 <p>(2) 前年度成績が 5 9 点以下表示 (1 点及び 3 点を除く) の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水曜 2 時限、3 時限、4 時限の「英語 I A」のいずれかを履修すること。 <p>(3) 前年度成績が 3 点表示の場合</p> <p>ラーニングcommons (学習支援室) で実施する基礎学力試験を受講すること。</p>	<p>教学部で登録 (自分で登録する必要はありません)</p>
英語 I B	<p>教学部の案内に従い、期限までに手続きをしてください。</p>	<p>教学部で登録 (自分で登録する必要はありません)</p>
英語演習		
統計基礎	<p>時間割表で (再) と表示しているクラスを履修</p>	<p>自分で登録</p>
統計実習 I		
統計実習 II		
情報処理実習 I		
情報処理実習 II		
実技科目 (専門基礎科目、発展科目)	<p>男女別の開講科目には受講クラスに注意すること</p>	<p>自分で登録</p>
体力トレーニング論・ 同実習	<p>時間割表で (再) と表示しているクラスを履修</p>	
スポーツ医学	<p>担当教員の変更は不可</p>	
臨床スポーツ医学 A	<p>自分の所属しているコースの時間割で履修</p>	<p>自分で登録</p>
臨床スポーツ医学 B		

8 履修上の注意

(1) 前提科目

授業を受講するときには、前学年までに一定の科目(前提科目)の単位を修得していることが必要となる科目や、履修していないことが条件で履修登録ができる科目、履修登録していることが条件となる科目があります。4年間の履修計画を立てるとともに、試験等で単位を落とさないようしっかり学習してください。

科 目	前提科目	備 考
障害者スポーツ	障害者スポーツ概論	
テニスⅡ サッカーⅡ バレーボールⅡ バスケットボールⅡ ハンドボールⅡ ラグビーⅡ 陸上競技Ⅱ 器械運動Ⅱ 水泳Ⅱ 柔道Ⅱ 剣道Ⅱ レクリエーションⅡ	テニスⅠ サッカーⅠ バレーボールⅠ バスケットボールⅠ ハンドボールⅠ ラグビーⅠ 陸上競技Ⅰ 器械運動Ⅰ 水泳Ⅰ 柔道ⅠA 剣道ⅠA レクリエーションⅠ	3年次までに前提科目を <u>修得した者のみ</u> 選択可能。 ※担当教員が認めた場合は前提科目を履修していなくても可
保健体育科学習指導論	保健体育科教育法A 保健体育科教育法B	前年度末までに前提科目を修得している事
介護技術講義	特別支援教育概論	前年度末までに前提科目を修得している事
教育実習Ⅰ	教員志望が明確であり前年度末までに以下条件を満たしている事	
	教科に関する専門的事項	・講義科目20単位以上修得している事 ・実技科目10単位以上修得している事
	各教科の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等	「保健体育科教育法A」「保健体育科教育法B」「保健体育科学習指導論」「教師論」を含めて22単位以上修得している事。ただし、「道德教育の理論と実践」は含まない。
	1年次から「履修カルテ」を毎年度登録している事	
実践トレーニング指導実習	体力トレーニング論・同実習 スポーツ測定評価 トレーニング実技 スポーツコンディショニング実習	前年度末までに前提科目を修得している事
コーチング実習	コーチング法	当該年度に前提科目を履修登録している事

(2) 履修において注意の必要な科目

◆コーチ教育コース

科目	注意事項
スポーツ技術・戦術論	ア) 個人種目 } イ) 球技種目 } いずれか1つを選択 ウ) 対人種目 }
トレーナー実習	応用科目の必修になっているので、 <u>関連科目のトレーナー実習を履修登録しない事</u>
トレーニング計画	応用科目、 <u>関連科目</u> 両方にある科目です。 同一内容ですので <u>重複履修しない事</u>

◆体育科教育コース

科目	注意事項
柔道 I A B	2年次に剣道 I A・剣道 I Bいずれかまたは両方を修得した者が履修する事
剣道 I A B	2年次に柔道 I A・柔道 I Bいずれかまたは両方を修得した者が履修する事

◆スポーツマネジメントコース

◆アスレティックトレーニングコース

科目	注意事項
栄養管理	関連科目の「栄養管理」を履修登録することができます

◆健康スポーツコース

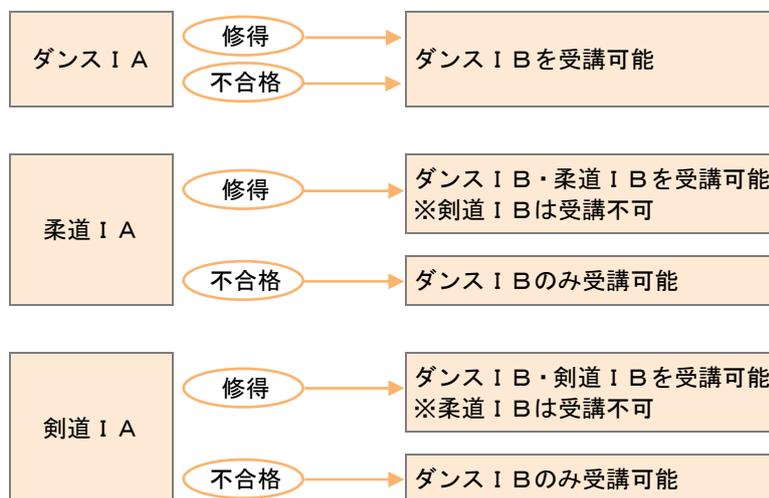
科目	注意事項
栄養管理	応用科目の必修になっていますので、 <u>関連科目の「栄養管理」の履修登録をしないでください</u>

◆両学科共通

科目	注意事項
アスレティックリハビリテーション基礎	応用科目、関連科目両方にある科目です。 アスレティックトレーニングコースは応用科目の「アスレティックリハビリテーション基礎」(必修)を履修登録してください。 その他のコースは、関連科目の「アスレティックリハビリテーション基礎」を履修登録することができます。
レジャー・レクリエーション概論	健康・スポーツマネジメント学科 発展科目の「レジャー・レクリエーション概論」(必修)を履修登録してください。 スポーツ教育学科 関連科目の「レジャー・レクリエーション概論」を履修登録することができます。
レクリエーションⅡ	健康・スポーツマネジメント学科 発展科目の「レクリエーションⅡ」(必修)を履修登録してください。 スポーツ教育学科 関連科目の「レクリエーションⅡ」を履修登録することができます。
海外語学研修	実際に受講した <u>翌年度の履修登録</u> となりますので、1～3年が受講の対象となります。 例：1年生の3月に受講 ⇒ 2年生で履修登録

(3) 専門基礎科目選択必修実技科目について

- ① 卒業には、前期配当科目「ダンスⅠA」「柔道ⅠA」「剣道ⅠA」のいずれか1科目の修得が必要です。
- ② 卒業には、後期配当科目「ダンスⅠB」「柔道ⅠB」「剣道ⅠB」のいずれか1科目の修得が必要です。
- ③ 教員免許取得には、「ダンスⅠA」の修得が必要です。
- ④ 教員免許取得には、「柔道ⅠA」又は「剣道ⅠA」いずれか1科目の修得が必要です。



<注意事項>

- 柔道ⅠB……………柔道ⅠAが前提科目 ※担当教員が認めた場合は前提科目を履修していなくても可
剣道ⅠB……………剣道ⅠAが前提科目 ※担当教員が認めた場合は前提科目を履修していなくても可

(4) 同一科目の履修制限

1～3年生においては、同一科目を前期・後期同時に履修登録することはできません。4年生においては、前期不合格となった科目は、一部科目を除き後期に履修登録することができますので、教育学部教務担当まで相談に来てください。

(5) 履修制限について

1年間の履修単位数の上限は48単位以内ですので注意してください。
ただし、前年度成績(GPA)が3.0以上である場合、当該年度の1年間に履修できる単位数を52単位とします。
※「教職に関する専門科目」「資格関連科目」「自由科目」「卒業論文」及び選択必修実習科目は履修制限に含まれません。

(6) 履修人数制限科目について

科目特性により履修人数に制限を設けている科目がありますので、シラバス及びメール等にて確認するようにしてください。また、教養科目や実技科目等でも履修人数に制限を設けることがありますので、メール等で確認するようにしてください。

(7) 2時間連続の講義は次のとおりです。(履修登録は1時間分登録すると、自動的に2時間分登録となります。)

- ・インターンシップA (体育科教育コース)
- ・運動プログラム作成法 (健康スポーツコース)
- ・体力科学実験実習 (アスレティックトレーニングコース)
- ・スポーツ心理学実験実習 (スポーツ心理・カウンセリングコース)

(8) 「スポーツ演習」(関連科目) について

「スポーツ演習」は、剣道とバスケットボールがあり、いずれも受講制限があるため注意してください。

(9) 「運動プログラム作成法」(健康スポーツコース)

「運動プログラム作成法」を履修した場合は、資格関連科目の「インターンシップA」及び「健康運動指導演習」がセットとなるため、両方履修してください。「インターンシップB」は単独で履修できます。

(10) 「スポーツ科学特別演習」について(2020年度以降入学生対象 自由科目:卒業所要単位に含まない)

○総合型選抜(スポーツ科学研究型)入試で入学した学生

- ・1年次前期配当「スポーツ科学特別演習Ⅰ」(入学試験時に面談をした教員)を履修してください。
- ・1年次後期配当「スポーツ科学特別演習Ⅱ」及び2年次前期配当「スポーツ科学特別演習Ⅲ」は、「スポーツ科学特別演習Ⅰ」以外の教員を選択することもできます。
- ・「スポーツ科学特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の全て(計6単位)を修得した場合、2年次の後期に行われるコース選択及びゼミ選択において優先権が与えられます。

○総合型選抜(スポーツ科学研究型)入試以外で入学した学生

- ・「スポーツ科学特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」のいずれも選択することができます。
- ・総合型選抜(スポーツ科学研究型)入試で入学した学生に与えられる優先権は適用されません。

(11) 専門基礎科目 選択必修実習科目について

実習科目、日程、費用等については次のとおりです。費用及び募集定員については2022年度実績となります。

なお、実習科目を2つ以上履修しても、卒業単位としては1単位しか認められません。

実習科目	単位	配当年次	日程	費用	募集定員
スキー実習	1	1年次	前半2月13日～16日 後半2月16日～19日	65,000円 (レンタル代別)	1年次 230名 上級生 30名
キャンプ実習A	1	2年次	8月22日～27日	30,000円	120名
海洋スポーツキャンプ実習 ※スポーツマネジメントコース必修	1	3年次	前半9月6日～9日 後半9月10日～13日	46,000円	120名
臨海実習	1	3年次	7月4日～7月8日	約68,000円	60名
ゴルフ実習	1	3年次	3月6日～10日	約62,000円	36名
キャンプ実習B	1	4年次	未定		
野外活動基礎実習	1	4年次	未定		

※日程等に変更がある場合はメール等で周知します。

(12) その他の学外実習科目

実習科目、日程、費用等についてはつぎのとおりです。実習時には日程、費用などに変更が生じる場合がありますが参考にしてください。

※学内での実習については各担当教員の指示に従ってください。

実習科目	配当年次	日程	費用	募集定員
インターンシップA ※体育科教育コース必修（2019年度は宿泊なし）	3年次	前期 2年次2月初旬	約12,000円	90名
インターンシップB ※スポーツ心理・カウンセリングコース選択必修	3年次	年度内	約12,000円	希望者
インターンシップB ※スポーツマネジメントコース必修	3年次	年度内	約12,000円	—
インターンシップA ※アスレティックトレーニングコース選択必修	3年次	年度内	約12,000円	希望者
インターンシップA（「運動プログラム作成法」及び「健康運動指導演習」とセット） ※健康スポーツコース選択必修	3年次	年度内	約12,000円	希望者
インターンシップB ※健康スポーツコース選択必修	3年次	年度内	約12,000円	希望者
コーチング実習 ※コーチ教育コース必修	3年次	3、4年次	約7,000円	—
実践トレーニング指導実習 ※アスレティックトレーニングコース選択必修	3年次	年度内	約7,000円	希望者

9 GPAの活用対象科目

卒業要件科目のみをGPAの対象とし、「教職に関する専門科目（体育実技指導法は除く）」、「資格関連科目」、「自由科目」は除きます。

ただし、次の卒業要件科目はGPA対象外科目です。

- 「日本語技法」
- 「統計基礎」
- 「統計実習Ⅰ」「統計実習Ⅱ」
- 「日本語技法演習（基礎）」
- 「スポーツ教育学演習Ⅰ」「スポーツ教育学演習Ⅱ」
- 「健康・スポーツマネジメント学演習Ⅰ」「健康・スポーツマネジメント学演習Ⅱ」

10 授業受講の注意

体育実技受講に関する留意事項

体育実技科目においては、各種運動の技術、知識及び指導法の習得を目的としています。また実技への参加態度、出席状況を重視します。

授業時間内の活動だけでなく、実技ノートを作成し、理論の学習に積極的に取り組み、意欲的な実技参加態度を期待しています。

次の事項に十分留意し、併せて、科目担当教員からの注意事項をよく聞き受講してください。

- (1) 単位修得に必要な出席率は各学期の実施授業回数80%以上とする。（講義や演習科目も同様です。）

各学期（前期・後期）で80%を下回った時、直ちに授業担当教員のもとに出向き、指示を受ける。

- (2) 授業を欠席する場合、欠席理由によっては必要な欠席の手続きをとること。
- (3) 遅刻・早退・見学は次のとおり取り扱う。
遅刻・・・授業開始後20分までを遅刻として取扱い、0.5の出席とする。それ以降の受講は認めない。
早退・・・0.5の出席とする。
見学・・・0.5の出席とする。(長期の場合は診断書を提出すること)
- (4) 授業時は指定の服装を必ず着用する。他の服装の者は、授業担当教員の許可を得なければならない。

11 試験について

(1) 追試験

定期試験及び授業内試験を受験できなかった場合、次の各号に該当する場合は教授会の承認を得たうえで追試験を受けることができます。

- ①教授会が許可した研修会及び競技会等にレギュラーメンバー及び役員として出場する者
- ②2親等以内の親族の死亡(父母、祖父母、兄弟姉妹)
- ③病気・ケガにより受験できなかった者
- ④その他やむを得ない事由により受験できなかった者

追試験を受けようとする者は、事前に次の書類を添えた「追試験願」を教学部教務担当に提出してください。ただし、やむを得ない時は試験終了後、7日以内に教学部教務担当に提出してください。

- ①の場合は部長又は監督の承認印のあるもの
- ②の場合は担任教員の事由承認印のあるもの
- ③の場合は医師の診断書又は担任教員の事由承認印のあるもの
- ④の場合は担任教員の事由承認印のあるもの

(2) 定期試験受験上の注意

学部共通 P19「7 試験について」を確認してください。

(3) 出席の重要性

本学では、授業の出席状況を重視しています。出席状況の悪い学生は、試験を受けることができない場合や、受験しても単位を与えられない場合がありますので注意してください。その基準は、全授業日数の20%を超えて欠席した場合です。

12 選択科目における受講者人数調整について

選択科目(一般教養科目・関連科目)において、クラスの受講希望者数が所定の人数以上になった場合、受講人数の調整を実施する場合があります。

詳細は、教学部教務担当からの案内を確認するようにしてください。

なお、別途担当教員から指示がある場合はそれに従ってください。

II

体育学部で取得できる各種資格

体育学部では必要な科目を履修し、単位を修得することで各種資格（又は受験資格）を取得することができますが、一部の資格は学科・コース・ゼミを指定しているものもありますので注意してください。

また、資格取得あるいは取得後の登録料等、費用が別にかかりますので事前に確認をしてください。

（取得できる資格）

- 1 教育職員免許状（中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育））
- 2 （公財）日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者資格
 - テニスコーチ1
 - テニスコーチ2
 - 公認アシスタントマネジャー
 - 公認スポーツプログラマー
 - 水泳コーチ1
 - 競泳コーチ3
 - 公認アスレティックトレーナー
 - JFA公認 C級コーチ
- 3 （国家資格）第一種衛生管理者免許
- 4 （公財）健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士
- 5 （公財）日本レクリエーション協会 レクリエーション指導者資格
 - レクリエーション・インストラクター
 - スポーツ・レクリエーション指導者
 - レクリエーション・コーディネーター
- 6 （公社）日本キャンプ協会 キャンプインストラクター資格
 - キャンプインストラクター
 - キャンプディレクター2級
- 7 （公財）日本パラスポーツ協会 パラスポーツ指導員資格
 - 初級パラスポーツ指導員
 - 中級パラスポーツ指導員
- 8 （特活）日本トレーニング指導者協会
 - JATIトレーニング指導者資格（基礎資格）
- 9 （一社）全国体育スポーツ系大学協議会 JPSUスポーツトレーナー
- 10 教育職員免許状（小学校教諭一種免許状）
 - *資格履修科目確認リスト

1 教育職員免許状（中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育））

教育職員免許状（以下「教員免許状」という）を取得するためには、卒業に必要な単位を修得（学士の学位を有する）するほかに、教育職員免許法及び同施行規則（以下「免許法」という）に定められている科目を履修し単位を修得しなければなりません。

本学は学部学科ごとに文部科学省の課程認定を受け、これに基づく科目を開講しています。体育大学にふさわしい質の高い教員養成を行うため免許法に定められている科目・単位数以上に修得する必要があります。教員免許状の取得に必要な科目は1年次から開講していますので、計画的に履修するようにしてください。免許法の改正に伴い、入学年度によって履修科目・単位数が異なります。入学年度に応じ履修を進めてください。

■体育学部で取得できる教員免許状の種類と教科

学科	教員免許状の種類	教科
スポーツ教育学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
	高等学校教諭一種免許状	保健体育
健康・スポーツマネジメント学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
	高等学校教諭一種免許状	保健体育

※中学校教諭一種免許状（以下「中一種免」）、高等学校教諭一種免許状（以下「高一種免」という）

1. 教員免許状取得に必要な科目と単位

教員免許状取得に必要な科目及び最低修得単位数は、教員免許状の種類ごとに免許法で次のように定められています。これらは免許法で定められた単位数であり、体育学部が課程認定を受けた単位数とは異なります。

[2019年度以降入学生]

免許法施行規則に定める科目	最低修得単位数	
	中一種免	高一種免
①教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目	8単位	8単位
②教科及び教科の指導法に関する科目	28単位	24単位
③教育の基礎的理解に関する科目等	27単位	23単位
④大学が独自に設定する科目	4単位	12単位
②～④合計	59単位	59単位

2. 教員免許状取得に必要な開講科目

(1) 中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)【2019～2021年度入学生】

●必修 ◎選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分等		法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法		配当学年					
					中免	高免	1年	2年	3年	4年		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	28 (24)	陸上競技 I	2	●	●	*					
			器械運動 I	2	●	●	*					
			水泳 I	2	●	●	*					
			ダンス I A	1	●	●		*				
			柔道 I A	2科目より1科目 選択	1	◎	◎		*			
			剣道 I A		1				*			
			バスケットボール I	1	●	●		*				
			バレーボール I	1	●	●		*				
			サッカー I	1	●	●		*				
			テニス I	1	●	●		*				
			体育原論	2	●	●			*			
			スポーツ心理学	2	●	●		*				
			スポーツ社会学	2	●	●	*					
			スポーツ史	2	●	●		*				
	運動学	2	●	●		*						
	スポーツ測定評価	2	●	●	*							
	体力トレーニング論・同実習	3	●	●	*							
	スポーツ生理学 I	2	●	●	*							
	バイオメカニクス	2	●	●		*						
	機能解剖学	2	●	●	*							
	衛生学(公衆衛生学を含む)	2	●	●			*					
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全を含む)	2	●	●			*					
	救急処置 I	2	●	●			*					
	スポーツ医学	2	●	●		*						
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保健体育科教育法 A	2	●	●	*						
		保健体育科教育法 B	2	●	●	*						
		保健体育科学習指導論 ※1	2	●	●			*				
		体育実技指導法 ※2	2	●					*			
	教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原理	2	●	●	*				
				教師論	2	●	●	*				
教育行政				2	●	●			*			
教育心理学				2	●	●	*					
特別支援教育概論				2	●	●		*				
教育課程編成論				2	●	●		*				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、進路指導、教育相談に関する科目		10 (8)	道徳教育の理論と実践	2	●			*				
			特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2	●	●			*			
			教育方法論	2	●	●			*			
			生徒・進路指導論	2	●	●			*			
教育実践に関する科目	5 (3)	教育実習 I ※3	5	●	●				*			
		教職実践演習(中・高) ※4	2	●	●				*			
大学が独自に設定する科目	4 (12)	人権教育	2	○	○				*			
		教育史	2	○	○			*				
		道徳教育の理論と実践	2		○		*					
第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2	●	●	*					
	体育	2	陸上競技 I	2	●	●	*					
			器械運動 I	2	●	●	*					
			水泳 I	2	●	●	*					
			ダンス I A	1	●	●		*				
			柔道 I A	2科目より1科目 選択	1	◎	◎		*			
			剣道 I A		1				*			
	外国語コミュニケーション	2	英語 I A	1	●	●	*					
			英語 I B	1	●	●	*					
	情報機器の操作	2	情報処理実習 I	1	●	●	*					
情報処理実習 II			1	●	●	*						

- ・免許法に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、『④大学が独自に設定する科目』に充当されます。(66条の6に定める科目は除く)
- ・法定最低単位数の()は、高一種免の単位(中一種免と異なる場合に記載)
- ・66条の6に定める科目の「体育」は、教科に関する専門的事項の「体育実技」と同一科目です。

- ※1 「保健体育科学習指導論」は前提科目の単位を修得しなければ、履修することはできません。
(P44の(1)前提科目で確認してください。)
- ※2 関連科目(選択必修実技科目)4年次配当の下表の科目よりいずれかを履修することで「体育実技指導法」に読み替えられます。ただし、所属学科によって読み替え可能な実技科目は異なりますので注意してください。
- ※3 「教育実習Ⅰ」を履修するためには履修要件を満たさなければなりません。
(P56の3.(2)で確認してください。)
- ※4 「教職実践演習(中・高)」は教育実習参加見込みの者だけが履修可能です。

スポーツ教育学科	ダンスⅡ、テニスⅡ、サッカーⅡ、バレーボールⅡ、バスケットボールⅡ、ハンドボールⅡ、ラグビーⅡ、陸上競技Ⅱ、器械運動Ⅱ、水泳Ⅱ、柔道Ⅱ、剣道Ⅱ、レクリエーションⅡ
健康・スポーツマネジメント学科	ダンスⅡ、テニスⅡ、サッカーⅡ、バレーボールⅡ、バスケットボールⅡ、陸上競技Ⅱ、器械運動Ⅱ、水泳Ⅱ、柔道Ⅱ、剣道Ⅱ

(注)「ダンスⅡ」以外の実技科目は、3年次までに各実技科目の前提科目(実技)を履修済でないと履修できません。(P44の(1)前提科目で確認してください。)

(2) 中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)

【2022・2023 年度入学生】

● 必修 ◎ 選択 必修 ○ 選択

免許法施行規則に定める 科目区分等		法定最低 単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法		配当学年					
					中免	高免	1年	2年	3年	4年		
教科及び教科の指導法に関する専門的事項に関する科目	体育実技	28 (24)	陸上競技 I	2	●	●	*					
			器械運動 I	2	●	●	*					
			水泳 I	2	●	●	*					
			ダンス I A	1	●	●		*				
			柔道 I A	1	2科目より1科目 選択	◎	◎		*			
			剣道 I A						*			
			バスケットボール I	1	●	●		*				
			バレーボール I	1	●	●		*				
			サッカー I	1	●	●		*				
			テニス I	1	●	●		*				
			体育原論	2	●	●			*			
			スポーツ心理学	2	●	●		*				
			スポーツ社会学	2	●	●	*					
			スポーツ史	2	●	●		*				
	運動学	2	●	●		*						
	スポーツ測定評価	2	●	●	*							
	体力トレーニング論 同実習	3	●	●	*							
	スポーツ生理学 I	2	●	●	*							
	バイオメカニクス	2	●	●		*						
	機能解剖学	2	●	●	*							
	衛生学 (公衆衛生学を含む)	2	●	●			*					
	衛生学・公衆衛生学	2	●	●				*				
	学校保健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	2	●	●				*				
	救急処置 I	2	●	●				*				
	スポーツ医学	2	●	●		*						
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	保健体育科教育法 A	2	●	●		*					
		保健体育科教育法 B	2	●	●		*					
		保健体育科学習指導論 ※1	2	●	●			*				
		体育実技指導法 ※2	2	●					*			
	教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原理	2	●	●	*				
教師論				2	●	●	*					
教育行政				2	●	●			*			
教育心理学				2	●	●	*					
特別支援教育概論				2	●	●		*				
教育課程編成論				2	●	●		*				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		10 (8)	道徳教育の理論と実践	2	●	●		*				
			特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2	●	●			*			
			教育方法論 (情報通信技術の活用を含む)	2	●	●			*			
			生徒・進路指導論	2	●	●			*			
教育カウンセリング I		2	●	●			*					
教育実践に関する科目		5 (3)	教育実習 I ※3	5	●	●				*		
		2	教職実践演習 (中・高) ※4	2	●	●				*		
大学が独自に設定する科目	4 (12)	人権教育	2	○	○				*			
		教育史	2	○	○			*				
		道徳教育の理論と実践	2		○		*					
第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2	●	●	*					
	体育	2	陸上競技 I	2	●	●	*					
		2	器械運動 I	2	●	●	*					
		2	水泳 I	2	●	●	*					
		2	ダンス I A	1	●	●		*				
		2	柔道 I A	1	2科目より1科目 選択	◎	◎		*			
		2	剣道 I A						*			
	外国語コミュニケーション	2	英語 I A	1	●	●	*					
		2	英語 I B	1	●	●	*					
	教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理実習 I	1	●	●	*					
情報処理実習 II			1	●	●	*						

- ・免許法に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、『④大学が独自に設定する科目』に充当されます。(66条の6に定める科目は除く)
- ・法定最低単位数の()は、高一種免の単位(中一種免と異なる場合に記載)
- ・66条の6に定める科目の「体育」は、教科に関する専門的事項の「体育実技」と同一科目です。

- ※1 「保健体育科学習指導論」は前提科目の単位を修得しなければ、履修することはできません。(P44の(1)前提科目で確認してください。)
- ※2 関連科目(選択必修実技科目)4年次配当の下表の科目よりいずれかを履修することで「体育実技指導法」に読み替えられます。ただし、所属学科によって読み替え可能な実技科目は異なりますので注意してください。
- ※3 「教育実習Ⅰ」を履修するためには履修要件を満たさなければなりません。(P56の3.(2)で確認してください。)
- ※4 「教職実践演習(中・高)」は教育実習参加見込みの者だけが履修可能です。

スポーツ教育学科	ダンスⅡ、テニスⅡ、サッカーⅡ、バレーボールⅡ、バスケットボールⅡ、ハンドボールⅡ、ラグビーⅡ、陸上競技Ⅱ、器械運動Ⅱ、水泳Ⅱ、柔道Ⅱ、剣道Ⅱ、レクリエーションⅡ
健康・スポーツマネジメント学科	ダンスⅡ、テニスⅡ、サッカーⅡ、バレーボールⅡ、バスケットボールⅡ、陸上競技Ⅱ、器械運動Ⅱ、水泳Ⅱ、柔道Ⅱ、剣道Ⅱ

(注)「ダンスⅡ」以外の実技科目は、3年次までに各実技科目の前提科目(実技)を履修済でないと履修できません。(P44の(1)前提科目で確認してください。)

【全入学年度共通】

3. 教育実習

教育実習は、実際の教育現場において大学の授業だけでは得られない貴重な経験をし、教員になるための資質・能力の向上を目的としています。教育実習を行うためには、「教育実習Ⅰ」を履修し、事前・事後指導の受講が必要です。中一種免、高一種免の両方を取得希望の場合であってもいずれか一校種の実習となります。また、教育実習には別途費用がかかります。

(1) 教育実習の時期と期間

時期・・・4年次

期間・・・中学校・高等学校とも15日間（実習校により15日間以上の場合があります。）

(2) 「教育実習Ⅰ」の履修要件

① 3年次終了までに次の要件を満たしていなければなりません。

教科に関する専門的事項	・講義科目を20単位以上修得していること。 ・実技科目を10単位以上修得していること。
各教科の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等	「保健体育科教育法A」「保健体育科教育法B」「保健体育科学習指導論」「教師論」を含めて22単位以上修得していること。 ただし、22単位には「道德教育の理論と実践」は含まない。

② 1年次から「履修カルテ」を毎年度登録していること。（毎年2月頃詳細案内）

(3) 教育実習事前準備

4年次で教育実習に行くためには、2年次から前提科目を修得しておく必要があります。

前提科目については、P44（1）を確認してください。

3年次4月に実施する『教育実習準備ガイダンス』に必ず出席してください。

3年次に教育実習校から教育実習受入の内諾を取らなければなりません。

4. 介護等体験

中学校教諭免許状を取得するためには、免許法で定められた科目の単位修得以外に「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る特例等に関する法律」により、「介護等体験」が必要となります。

3年次前期に「介護技術講義」を履修したうえで、後期にある体験先ごとの事前ガイダンスに出席した者が「介護等体験」への参加が認められます。ただし、「介護技術講義」を履修するには前提科目である「特別支援教育概論」を修得済でなければなりません。

特別支援学校は大阪府教育委員会が、社会福祉施設は大阪府社会福祉協議会が管轄しており、介護等体験先や体験時期については、それぞれの管轄機関から大学に配当されますので、個人で体験先や体験時期を指定することはできません。また、介護等体験には別途費用がかかります。介護等体験の種類と日数は次のとおりです。

特別支援学校	2日間	
社会福祉施設	5日間	計7日間

5. 教員免許状の申請

教員免許状は、基礎資格(学士の学位を有すること＝大学を卒業する)を有し、教員免許状取得に必要な全ての単位を修得した者が各都道府県教育委員会に申請をして教員免許状が授与されます。

本学における教員免許状申請要件を満たした者を一括して大阪府教育委員会に教員免許状の授与申請を行います。(教員免許状は、都道府県教育委員会が授与するものであって、大学が授与するものではありません。)

教員免許状取得希望者は、4年次に開催する2回のガイダンス(7月・10月)に必ず出席してください。ガイダンスの無断欠席や申請書類の提出遅れは認めませんので注意してください。

※教員免許状一括申請に関する窓口は教職支援センターとなります。

①申請方法(4年次)

申請方法		対象者
一括申請	大学がまとめて大阪府教育委員会に申請する	次の要件を満たしていること ・後期成績発表時に「卒業確定」となった者 ・教員免許状取得に必要な単位を全て修得した者
個人申請	卒業後に各自の居住地の都道府県教育委員会に自分で申請をする	・一括申請の要件を満たさなかった者 ・科目等履修生

②申請手続きの流れ(4年次)

	内容	日程
1	第1回目 教員免許状一括申請ガイダンス	7月初旬
2	申請書類の提出	第1回ガイダンスで周知する
3	第2回目 教員免許状一括申請ガイダンス	10月中下旬
4	・申請書類の提出 ・申請費用の納入	第2回ガイダンスで周知する
5	教員免許状一括申請者の確定	2月中旬(後期成績発表日)
6	大学より大阪府教育委員会に 教員免許状授与申請	2月下旬
7	一括申請取下げ者に申請料の返金	2月下旬～3月上旬
8	教員免許状の発送	卒業式後に本人指定の住所宛に郵送

6. 卒業時に教員免許状を取得できない場合

卒業時に教員免許状取得に必要な単位を修得できない場合でも、科目等履修生制度を利用して卒業後に教員免許状を取得することができます。詳しくは、教職支援センターへ相談してください。

7. 教員免許状を取得するための4年間のスケジュール

	1年次	2年次	3年次	4年次	
4月	麻疹抗体検査*1	「特別支援教育概論」受講	・教育実習準備ガイダンス ・「介護技術講義」を受講 ・介護等体験申込手続き （特別支援学校） ・介護等体験費の納入	・「教育実習Ⅰ」を受講 ・教育実習費の納入	
5月			・介護等体験申込手続き （社会福祉施設）	教育実習	
6月					
7月					第1回教員免許状一括申請ガイダンス
8月					
9月			「教育実習内諾書」提出期限	「教職実践演習」を受講	
10月				・第2回教員免許状一括申請ガイダンス ・免許状申請費用の納入	教育実習
11月					
12月	小学校免許取得プログラム受講希望者説明会*2	小学校免許取得プログラム受講希望者説明会*2			
1月	小学校免許取得プログラム受講申込	小学校免許取得プログラム受講申込			
2月	小学校免許取得プログラム受講可否判定	小学校免許取得プログラム受講可否判定		・卒業成績発表 ・教員免許状申請判定	
3月	1年次履修カルテ登録	・2年次履修カルテ登録 ・受講判定 「保健体育科学習指導論」*3 「介護技術講義」*4	・3年次履修カルテ登録 ・受講判定「教育実習Ⅰ」*5	教員免許状の交付（郵送）	

*1 「麻疹抗体検査」は本学入学時に実施する健康診断項目に含まれています。教育実習や介護等体験に参加するためには、麻疹抗体検査結果が「陽性」であることが必要です。教職履修者で「陽性」でない場合は、教職支援センターから連絡をするので速やかに対応してください。

*2 神戸親和大学との大学間連携協定による「小学校教諭免許状取得プログラム」です。（詳細はP80を参照）

*3 3年次配当の「保健体育科学習指導論」の前提科目である「保健体育科教育法A」「保健体育科教育法B」が修得できているか判定を行います。

*4 3年次配当の「介護技術講義」の前提科目である「特別支援教育概論」が修得できているか判定を行います。

*5 4年次配当の「教育実習Ⅰ」の受講要件（教育実習参加要件）が修得できているか判定を行います。

※ 各スケジュールは変更する場合があります。詳細は別途Gメールで確認してください。

2 公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者資格

公益財団法人日本スポーツ協会は生涯スポーツ社会の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」を構築するため、加盟団体等と連携してその推進の中心となるスポーツ指導者を養成しています。

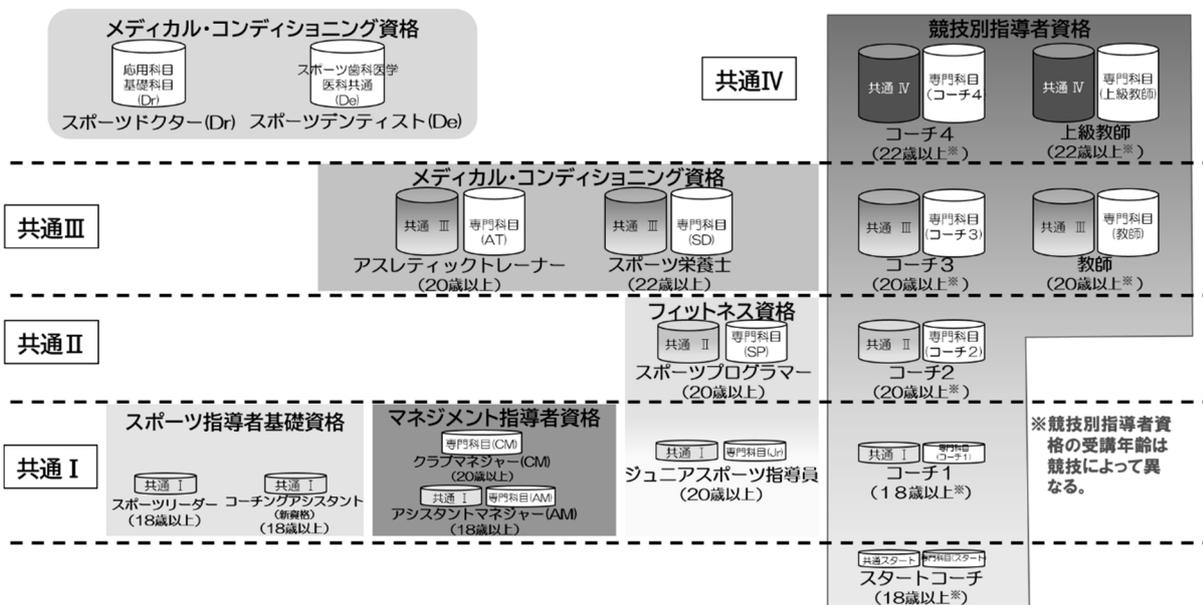
公認スポーツ指導者の種類は次に示すように多岐にわたっており、取得に必要な授業科目も異なっていると同時に、学科・コース・演習（ゼミ）・クラブ活動が指定されているものもありますので注意してください。

日本スポーツ協会における資格取得のカリキュラムは、共通科目Ⅰ～Ⅳと専門科目で編成されています。体育学部は、日本スポーツ協会スポーツ指導者養成講習会免除適応コースの承認を得ていますので、一部の資格については指定された科目の修得により、専門科目の講習が免除されます。

詳しくは日本スポーツ協会のホームページを参照してください。

(1) 公認スポーツ指導者資格の種類とカリキュラムの構成

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を取得するには、各資格で定められた共通科目と専門科目の講習を受講・修了する必要があります



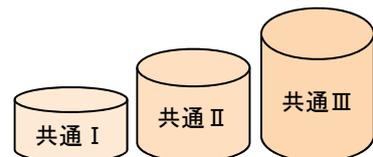
(2) 体育学部で取得できる日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者資格

【共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 (スポーツリーダー、コーチングアシスタント含む)

【2020年度以前入学生】

卒業により共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの講習及び試験が免除されます。

なお、講習免除の「免除適応コース修了証明書」の申請は大学在籍中にしか認められていないので注意してください。



【2021年度以降入学生】

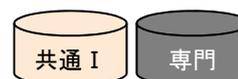
卒業所要単位及び下表(体育学部開講科目)の単位を修得し、以下を満たすことができれば共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの講習が免除されます。

- ・「指導者マイページ」作成
日本スポーツ協会ホームページ <https://my.japan-sports.or.jp>
トップページの中腹「サービス」内の「指導者マイページ」をクリック
ログイン画面内の「新規登録」をクリックし、以後は画面の指示に従ってください。
- ・リファレンスブック購入
- ・共通科目検定試験（オンラインテスト）の合格

共通科目内容	体育学部開講科目
コーチングを理解しよう	< 2021年度入学生 > コーチング論 スポーツ教育学 スポーツ経営学 スポーツ事故法律論 < 2022年度以降入学生 > コーチング論 スポーツ教育学 スポーツ経営学 救急処置 I
1. コーチングとは	
2. コーチに求められる役割	
3. コーチに求められる知識とスキル	
4. 对他者力を磨こう	
5. 對自己力を磨こう	
6. スポーツの意義と価値	
7. スポーツの価値を守るスポーツ権	
8. スポーツの自治—ガバナンスとコンプライアンス—	
9. 暴力・ハラスメントの根絶	
10. スポーツのインテグリティ	
11. スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任	
12. スポーツ仲裁	
13. スポーツ倫理	
14. 現代をリードするコーチング	
グッドコーチに求められる医・科学知識	体力トレーニング論・同実習 スポーツ心理学 スポーツ栄養学 スポーツ医学
1. スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	
2. 体力のトレーニング	
3. スキルトレーニン	
4. 心のトレーニング	
5. スポーツと栄養	
6. スポーツに関連する医学的知識	
7. アンチ・ドーピング	
現場・環境に応じたコーチング	< 2021年度入学生 > コーチング論 スポーツ経営学 障害者スポーツ概論 < 2022年度以降入学生 > コーチング論 スポーツ経営学 スポーツ社会学
1. コーチング環境の特徴	
2. ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング	
3. スポーツ組織のマネジメント	
4. 障がい者スポーツ	

【テニスコーチ 1 受験資格】（共通科目 I + 専門科目）

卒業所要単位及び下表（体育学部開講科目）の単位を修得し、本学にて行われる専門科目（実技・指導実習）検定試験に合格すれば、テニスコーチ 1 の資格が取得できます。



講習科目（専門科目）		時間数	体育学部開講科目	単位
基礎	加齢と発育発達	1h	テニス II	2 単位
	テニスの特性	1h		
	安全管理 I	3h		
	コーチング I（TENNIS P&S 含む）	2.5h		
	テニスのルール	3h		
技	基礎技術指導法	4.5h	テニス II	2 単位
	コーチング I（TENNIS P&S 含む）	5h		

【テニスコーチ 2 受験資格】（共通科目 II + 専門科目）

卒業所要単位及び下表（体育学部開講科目）の単位を修得し、本学にて行われる専門科目（実技・指導実習）検定試験に合格すれば、テニスコーチ 2 の資格が取得できます。

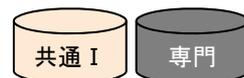


講習科目（専門科目）		時間数	体育学部開講科目	単位
基礎 理 論	テニスの科学	6h	テニス II 特別演習（テニス）	2 単位 2 単位
	安全管理 II	2h		
	戦術の基礎	2h		
	テニスの体力トレーニング法 I	2h		
	コーチング II	2.5h		
	レッスンプログラムの作成・実践	3h		
実技・ 指導 実習	ゲーム指導法	6h	テニス II 特別演習（テニス）	2 単位 2 単位
	テニスの体力トレーニング法 I	2.5h		
	レッスンプログラムの作成・実践	6h		
	コーチング II	6h		
	対象に応じた指導法	2h		

【公認アシスタントマネジャー受験資格】（共通科目Ⅰ＋専門科目）

【健康・スポーツマネジメント学科 スポーツマネジメントコース】

アシスタントマネジャー資格は、総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートする能力を持った人に与えられる資格です。健康・スポーツマネジメント学科スポーツマネジメントコースに所属している者で、卒業所要単位及び下表（体育学部開講科目）の単位を修得し、専門科目の検定試験に合格すれば、アシスタントマネジャーの資格を取得できます。



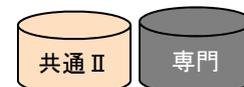
講習科目（専門科目）	時間数	体育学部開講科目	単位
地域スポーツクラブとは 地域スポーツクラブの現状	7.5h	地域スポーツ経営論	2単位
クラブマネジャーの役割	7.5h	地域スポーツ経営論 スポーツ経営学 スポーツマーケティング スポーツ施設管理運営論	2単位 2単位 2単位 2単位
クラブのつくり方 クラブの運営	20h	地域スポーツ経営論 スポーツ経営学 スポーツ施設管理運営論 スポーツプログラム開発論	2単位 2単位 2単位 2単位

【公認スポーツプログラマー受験資格】（共通科目Ⅱ＋専門科目）

【健康・スポーツマネジメント学科 アスレティックトレーニングコース

及び健康スポーツコース】

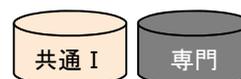
健康・スポーツマネジメント学科アスレティックトレーニングコース及び健康スポーツコースに所属している者で、卒業所要単位及び下表（体育学部開講科目）の単位を修得し、専門科目の検定試験に合格すれば、日本スポーツ協会のフィットネス資格であるスポーツプログラマーの資格を取得できます。



講習科目（専門科目）	時間数	体育学部開講科目	単位
運動と健康	1h	生涯スポーツ概論	2単位
フィットネス・エクササイズの理論と実際	26h	体カトレーニング論・同実習 陸上競技Ⅰ 器械運動Ⅰ 水泳Ⅰ エアロビックダンス レクリエーションⅠ	3単位 2単位 2単位 2単位 1単位 2単位
フィットネス・エクササイズと健康管理	8h	スポーツ医学 テーピング実習 または 健康スポーツ実技A 健康スポーツ実技B	2単位 1単位 1単位 1単位
体力測定と評価	6h	スポーツ測定評価	2単位
フィットネスプログラムの実際	16h	運動プログラム作成法 または 企業フィットネス論 介護技術講義	2単位 2単位 2単位
スポーツ相談の実際	6h	スポーツ心理学	2単位

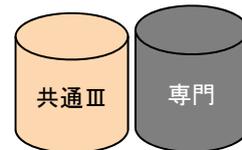
【水泳コーチ1受験資格】（共通科目Ⅰ＋専門科目）

卒業所要単位及び下表（体育学部開講科目）の単位を修得し、本学にて行われる専門科目（実技・指導実習）検定試験に合格すれば、水泳コーチ1の資格が取得できます。



【2020年度以降入学生】

講習科目（専門科目）		時間数	体育学部開講科目	単位
学 科	水泳の歴史	2h	水泳Ⅱ	2単位
	水泳指導者・初心者指導法	2h	水泳Ⅱ 水泳Ⅰ	2単位 2単位
	水泳プールにおける安全	2h	水泳Ⅰ	2単位
	水泳の科学	3h	水泳Ⅰ バイオメカニクス	2単位 2単位
実 技	基礎技術	9h	水泳Ⅰ	2単位
	指導実習	6h	水泳Ⅰ 水泳Ⅱ 教育実習 または インターンシップA または インターンシップB	2単位 2単位 5単位 1単位 2単位



講習科目（専門科目）		時間数	体育学部開講科目	単位
学 科	水泳の特性・歴史	1h	水泳Ⅰ	2単位
	水泳技術の構造	2h	水泳Ⅰ バイオメカニクス	2単位 2単位
	水泳指導法の基本	2h	水泳Ⅰ 水泳Ⅱ	2単位 2単位
	水泳の管理と安全対策	1h	スポーツ事故法律論 水泳Ⅰ 水泳Ⅱ スポーツ医学	2単位 2単位 2単位 2単位
	水泳競技の規則と審判法	1h	水泳Ⅰ	2単位
実 技	基礎技術及び実践技術	15h	水泳Ⅰ 水泳Ⅱ	2単位 2単位
	日本泳法（横泳ぎ）	3h	水泳Ⅰ	2単位
	個人・集団の指導	3h	コーチング実習	1単位
	現場における心肺蘇生法	4h	スポーツ医学	2単位
基 礎 理 論	水泳競技概説	2h	水泳Ⅰ 水泳Ⅱ	2単位 2単位
	トレーニング科学	6h	バイオメカニクス スポーツ教育学演習Ⅰ（川島・尾関） スポーツ教育学演習Ⅱ（川島・尾関）	2単位 4単位 4単位
	心理学	4h	スポーツ教育学演習Ⅰ（川島・尾関） スポーツ教育学演習Ⅱ（川島・尾関） スポーツ心理学	4単位 4単位 2単位
	メディカル・コンディショニング	8h	スポーツ栄養学 スポーツ医学 トレーナー論 トレーナー実習	2単位 2単位 2単位 1単位
指 導 理 論	トレーニング法	4h	スポーツ教育学演習Ⅰ（川島・尾関） スポーツ教育学演習Ⅱ（川島・尾関）	4単位 4単位
	コーチング法	8h	スポーツ教育学演習Ⅰ（川島・尾関） スポーツ教育学演習Ⅱ（川島・尾関）	4単位 4単位
実 技	指導実習	8h	コーチング実習	1単位

【2020年度以降入学生】

学友会水上競技部に所属している者で、卒業所要単位及び下表（体育学部開講科目）の単位を修得し、本学にて行われる専門科目（実技・指導実習）検定試験に合格すれば、水泳コーチ3の資格を取得できます。

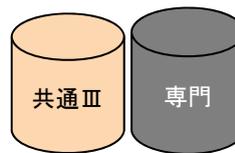
講習科目（専門科目）		時間数	体育学部開講科目	単位
学 科	水泳の特性・歴史	1h	水泳Ⅰ 水泳Ⅱ	2単位 2単位
	水泳技術の構造	2h	水泳Ⅰ	2単位
	水泳指導法の基本	2h	水泳Ⅰ 水泳Ⅱ	2単位 2単位
	水泳の管理と安全対策	1h	特別演習（水泳） 水泳Ⅱ	4単位 2単位
	水泳競技の規則と審判法	1h	特別演習（水泳）	4単位
実 技	基礎技術及び実践技術	15h	水泳Ⅰ	2単位
	日本泳法（横泳ぎ）	3h	水泳Ⅰ	2単位
	個人・集団の指導	3h	水泳Ⅱ	2単位
	現場における心肺蘇生法	4h	救急処置Ⅰ	2単位
基 礎 理 論	水泳競技概説	2h	特別演習（水泳）	4単位
	トレーニング科学	6h	バイオメカニクス 水泳Ⅰ 水泳Ⅱ	2単位 2単位 2単位
	心理学	4h	スポーツ心理学 特別演習（水泳）	2単位 4単位
	メディカル・コンディショニング	8h	スポーツ栄養学 スポーツ医学	2単位 2単位
指 導 理 論	トレーニング法	4h	特別演習（水泳）	4単位
	コーチング法	8h	特別演習（水泳）	4単位
実 技	指導実習	8h	水泳Ⅱ コーチング実習または インターンシップAまたは インターンシップB	2単位 1単位 1単位 2単位

【公認アスレティックトレーナー受験資格】 ※2023 年以降入学生は変更になる可能性があります。

(共通科目Ⅲ＋専門科目：基礎 600 h + 現場実習 180 h 以上)

【健康・スポーツマネジメント学科 アスレティックトレーニングコースのみ】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーは機能解剖や運動学に関する専門的な知識を有し、スポーツ活動現場において、スポーツドクター及びコーチとの緊密な連携・協力のもとに、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、応急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどにあたります。健康・スポーツマネジメント学科アスレティックトレーニングコースに所属している者で、卒業所要単位及び下表（体育学部開講科目）の単位を修得し、また有資格者の管理の下で 180 時間以上の現場実習を行うことで日本スポーツ協会の講習会が免除され、検定試験の受験資格が得られます。



なお、協会の規定により、本学の受験資格認定人数は 1 学年につき 15 名となっています。希望者が超過する場合、3 年終了時までには開講される下表科目（体育科学部開講科目）の GPA により決定します。また、アスレティックトレーニング実習（通年：資格関連科目）は、180 時間以上、学生アスレティックトレーナーとして実践実習を行いますから、並行してクラブで選手活動を行うことは困難です。履修希望者でクラブ活動を行っている者は事前に担当者と相談をすることが必要です。

講習科目（専門科目）	時間数	体育学部開講科目	単位
アスレティックトレーナーの役割	30h	アスレティックトレーニング概論	2 単位
スポーツ科学	120h	実践トレーニング科学理論 バイオメカニクス スポーツ生理学 I スポーツ心理学	2 単位 2 単位 2 単位 2 単位
運動器の解剖と機能	60h	体表解剖学 機能解剖学	2 単位 2 単位
スポーツ外傷・障害の基礎知識	60h	スポーツ医学 臨床スポーツ医学 B（整形外科）	2 単位 2 単位
健康管理とスポーツ医学	30h	臨床スポーツ医学 A（内科）	2 単位
検査・測定と評価	60h	スポーツ外傷・障害評価法 体力科学実験実習	2 単位 2 単位
予防とコンディショニング	90h	テーピング実習 スポーツコンディショニング実習 II ストレングス・コンディショニング理論	1 単位 1 単位 2 単位
アスレティックリハビリテーション	90h	アスレティックリハビリテーション基礎 アスレティックリハビリテーション理論 アスレティックリハビリテーション実習	2 単位 2 単位 1 単位
救急処置	30h	アスレティックトレーニング実習	2 単位
スポーツと栄養	30h	スポーツ栄養学	2 単位
現場実習 ※専門科目がキレムとは別に 180 時間以上の実習が必要	180h 以上	現場実習計画書にもとづき実習	—

◎ 公認アスレティックトレーナーの受験について

- ・検定試験には『理論試験』、『実技試験』の順に合格すれば資格を取得することができます。(『実技試験』受験申し込み時に『現場実習報告書』が必要です。)
- ・『理論試験』の受験は1年に1度です。『理論試験』に合格した年から4年以内に『実技試験』を受験してください。
- ・『実技試験』を4年間で合格できなかった場合は、次の4年間に再度受験が可能ですが、その場合には再度、現場実習を実施のうえ報告書の提出が必要です。
- ・日本赤十字社「赤十字救急法救急員」認定証を別途個人で取得する必要があります。

【JFA公認 C級コーチ】(日本スポーツ協会：サッカー指導員)

【スポーツ教育学科 コーチ教育コースのみ】

スポーツ教育学科コーチ教育コースかつ学友会サッカー部に所属している者で、卒業所要単位、保健体育教員免許状及び下表(体育学部開講科目)の単位を修得し、本学にて行われる専門科目検定試験に合格すれば、日本スポーツ協会の公認サッカー指導員及び、(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(C級コーチ)を取得できます。

※この資格に限り日本スポーツ協会の共通科目Ⅰのカリキュラムが含まれているので共通科目の修了証明書の申請は必要ありません。また、サッカー協会における他のライセンスを取得する場合においても日本スポーツ協会の共通科目の修了証明書は必要ありません。

講習科目(専門科目)	体育学部開講科目	単位
種目の特性に応じた基礎理論	スポーツ教育学演習Ⅰ(曾根・石居・松尾)	4単位
実技	スポーツ教育学演習Ⅱ(曾根・石居・松尾)	4単位
	サッカーⅡ	2単位
指導実習	特別演習(サッカー)	2単位
	コーチング実習	1単位

(3) 資格取得に必要な費用

それぞれの資格取得には別途費用がかかります。また、資格取得後も登録料がかかるものもあるので注意してください。

共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（スポーツリーダー含む）の修了証明書料はⅠ 3,300円、Ⅰ・Ⅱ 6,600円、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 11,000円です。（更新料なし）

下記の専門科目を受験する場合は、共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの費用もあわせて必要です

※費用については2022年度分

専門科目	検定料	修了 証明書	基本 登録料	資格別 登録料
アシスタントマネジャー スポーツマネジメントコース	3,300	3,300	10,000	—
テニスコーチ1	11,000	3,300	10,000	5,000
テニスコーチ2	11,000	3,300	10,000	5,000
水泳コーチ1	—	3,300	10,000	10,000
スポーツプログラマー アスレティックトレーニングコース・健康スポーツコース	8,300	6,600	10,000	10,000
アスレティックトレーナー アスレティックトレーニングコース	理論試験 16,500 実技試験 33,000	11,000	10,000	10,000
競泳コーチ3	—	6,600	10,000	10,000

※ 基本登録料には『初期登録手数料』として一律3,300円が上記金額（資格ごと）にプラスされます。

※ 基本登録料、資格別登録料については卒業後7、8月ごろ協会から自宅に書類が届くので、9月ごろの手続きになる予定です。後に資格の登録を継続するためには4年ごとに基本登録料と資格登録料が必要になります。

※ J F A公認C級コーチ（日本スポーツ協会：サッカー指導員）の登録および更新手続き他については全て大阪府サッカー協会へ行うことになります。

※ 卒業後の受験に関する案内は、大学ホームページに掲載します。受験希望者は本学教学部教務担当へ連絡を入れ、書類を取り寄せてください。（資格により受験の時期は異なります）

※ 費用は変更となる可能性があります。

3 国家資格 第一種衛生管理者免許

【健康・スポーツマネジメント学科 健康スポーツコースのみ】

衛生管理者は、労働安全衛生法において定められている国家資格で、労働環境の衛生的改善と疾病の予防処置等を担当し、事業場の衛生全般の管理を担います。

第一種衛生管理者免許を有する者は、すべての業種の事業場において衛生管理者となることができ、労働者の健康障害を防止するための作業環境管理、作業管理及び健康管理、労働衛生教育の実施、健康の保持増進措置などを行います。

常時50人以上の労働者を使用する事業場では労働者数に応じ一定数以上の衛生管理者の選任が義務付けられています。

【衛生管理者免許の取得】

健康・スポーツマネジメント学科健康スポーツコースに所属している者で、卒業所要単位及びつぎの表（体育学部開講科目）の単位を修得し申請の手続きをすれば、第一種衛生管理者免許を取得できます。

健康・スポーツマネジメント学科健康スポーツコースは、労働安全衛生規則第62条に基づく学校教育法による大学において保健衛生に関する学科を専攻するコースに該当しています。

【免許取得のための開講科目】

第一種衛生管理者免許試験科目	体育学部開講科目	単位
関係法令	労働概論	2単位
	労働法規	2単位
労働生理	機能解剖学	2単位
	スポーツ生理学Ⅰ	2単位
	スポーツ生理学Ⅱ	2単位
	スポーツ医学	2単位
労働衛生	健康指導管理論	2単位
	衛生学（公衆衛生学を含む）	2単位
	臨床スポーツ医学A	2単位
	労働衛生	2単位
	健康スポーツ実技A	1単位
	健康スポーツ実技B	1単位
	企業フィットネス論	2単位
	救急処置Ⅰ	2単位
救急処置Ⅱ	2単位	

【申請の手続き】

申請者自身がつぎの書類を都道府県労働局（現住所のある労働局）に持参し、申請手続きをしてください。又は、最寄りの労働基準監督署で手続きの上、必要書類を簡易書留で労働局に送付し申請してください。

- 書類：①免許申請書 ②写真 ③収入印紙1,500円 ④卒業証明書・単位修得証明書
⑤返送用封筒・返送用切手 ⑥身分証明書
⑦労働安全衛生法に基づく免許証（保有している場合）

※詳細は労働局ホームページを参照してください。

4 公益財団法人健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士

【健康・スポーツマネジメント学科 健康スポーツコースのみ】

健康運動指導士は、保健医療関係者と連携して安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成及び実践指導計画の調整等を行う役割を担い、メタボリックシンドロームの予防、生活習慣病ハイリスク者への運動指導や少子高齢化社会を踏まえた介護予防のための運動指導の専門家として期待されています。

健康・スポーツマネジメント学科健康スポーツコースは、公益財団法人健康・体力づくり事業財団から養成校としての認定を受けており、卒業所要単位及びつぎの表（体育学部開講科目）の単位を修得することで、健康運動指導士認定試験の受験資格を有することができます。

認定試験に合格した上で、健康運動指導士台帳に登録されることで健康運動指導士の称号が与えられます。また、称号が与えられた後は、5年ごとの登録更新が必要となります。

なお、卒業後4年以内は受験資格があります。大学を通しての申請となりますので、希望する方は申し出るようにしてください。

※健康スポーツコース所属以外の学生が資格取得を目指す場合

卒業見込と判定された4年生は、その年度に財団が主催する講習（51単位コース）を受講し、終了することで受験資格を得ることができます。詳細は財団のホームページをご覧ください。

健康運動指導士受験資格取得のための本学開講科目

養成講習会科目	時間数	体育学部開講科目
健康管理概論	4.5 H	健康指導管理論 臨床スポーツ医学A 健康運動指導演習
健康づくり施策概論	4.5 H	健康指導管理論
生活習慣病（NCD）	16.5 H	健康指導管理論 臨床スポーツ医学A スポーツ医学 健康運動指導演習
運動生理学	16.4 H	スポーツ生理学Ⅰ スポーツ生理学Ⅱ 体力トレーニング論・同実習
機能解剖とバイオメカニクス （運動・動作の力源）	9.0 H	バイオメカニクス 機能解剖学
健康づくり運動の理論	12.0 H	体力トレーニング論・同実習 障害者スポーツ概論 発育発達と老化 スポーツ医学
運動障害と予防	6.0 H	スポーツ医学 臨床スポーツ医学B
体力測定と評価	10.5 H	スポーツ測定評価 健康運動指導演習
健康づくり運動の実際	31.5 H	体力トレーニング論・同実習 スポーツコンディショニング実習 健康スポーツ実技A 健康スポーツ実技B トレーニング実技 インターンシップA
救急処置	6.0 H	救急処置Ⅰ
運動プログラムの実際	15.0 H	運動プログラム作成法 臨床スポーツ医学A 健康指導管理論 スポーツ医学
運動負荷試験	4.5 H	健康運動指導演習 運動プログラム作成法
運動行動変容の理論と実際	4.5 H	健康指導管理論
運動とこころの健康増進	4.5 H	健康スポーツ心理学 スポーツ医学
栄養摂取と運動	10.5 H	栄養管理

5 公益財団法人日本レクリエーション協会 レクリエーション指導者資格

余暇時代、生涯スポーツの時代といわれている現在、レクリエーションの理念や手法を身につけた指導者の必要性が広く認識されるようになってきました。体育・スポーツとレクリエーションの結びつきは強く、地域社会や学校、健康産業などあらゆる職域分野で活躍を希望する者にとって必要な資格となっています。

体育学部は公益財団法人日本レクリエーション協会の養成課程認定校に指定され、レクリエーション・インストラクター、スポーツ・レクリエーション指導者、レクリエーション・コーディネーターの指導者資格を取得することができます。

なお、資格取得後も、2年ごとに更新登録（有料）が必要となります。

・レクリエーション・インストラクター／スポーツ・レクリエーション指導者

卒業所要単位及びつぎの表（体育学部開講科目）の単位を修得すれば、レクリエーション・インストラクターとスポーツ・レクリエーション指導者の資格を取得できます。

また、この資格を取得していれば、レクリエーション・コーディネーター資格の共通科目と専門科目の講習の一部が免除されます。

講習科目	体育学部開講科目	単位
レクリエーション理論	レジャー・レクリエーション概論	2単位
レクリエーション実技	レクリエーション I	2単位
現場実習	教育実習 I インターンシップ A インターンシップ B コーチング実習 } いずれか 1 科目	5単位 1単位 2単位 1単位
	レクリエーション指導実習（内容はつぎの通り） ※学外のレクリエーション事業に2回以上参加 対象となる事業は、つぎの通り 日本レクリエーション協会、都道府県または市町村 レクリエーション協会の関係する事業、または学内 資格認定審査会の認めたレクリエーションに関連の 深い団体の事業 ※事業参加記録カードによる証明が必要になります。	1単位

・レクリエーション・コーディネーター

地域組織やクラブの運営、小中学校の学級経営などの場面で活動される人に役立つ資格です。「レクリエーション・コーディネーター」は、組織や団体が活性化していくうえで必要な「人材や資源のネットワーク力」、「事業の企画・展開力」、事業を成功に導く「グループリーダー力」など、組織や団体の担い手に必要な能力を兼ね備えた人材です。組織やクラブ、団体が掲げる使命達成に向けて、事業や活動を推し進めていくことができるため、県または地域組織の職員、NPO法人や民間団体の職員、小中学校の教員、総合型地域スポーツクラブのクラブマネージャーなど、たくさんの方が資格を取得しています。

卒業所要単位及びつぎの表（体育学部開講科目）の単位を修得し、専門科目試験に合格すれば、レクリエーション・コーディネーターの資格が取得できます。

講 習 科 目	体育学部開講科目	単 位	
レクリエーション支援の理念と方法	レクリエーションⅠ	2単位	
	レジャー・レクリエーション概論	2単位	
活動領域および支援対象の理解	スポーツ社会学	2単位	
	スポーツ生理学Ⅰ	2単位	
	スポーツ経営学	2単位	
	スポーツ心理学	2単位	
	教師論	3単位	
	保健体育科教育法A	2単位	
レクリエーション・コーディネート技術/ レクリエーション・コーディネート演習	レクリエーションⅡ	2単位	
	レクリエーションⅢ	2単位	
現場実習	インターンシップA	} いずれか1科目 1単位	
	インターンシップB		2単位
	コーチング実習		1単位
	教育実習Ⅰ		5単位
	レクリエーション指導実習	1単位	

6 公益社団法人日本キャンプ協会 キャンプインストラクター資格

【キャンプインストラクター】

キャンプでの活動（アクティビティ）を指導できる能力を持った指導者です。基礎的な知識、技術、考え方を習得していると認定される者に付与されます。

	科目	時間数	体育学部開講科目	単位
理論	キャンプの特性	10H	野外教育論	2単位
	キャンプの対象			
	キャンプの指導			
	キャンプの安全			
実技	様々なアクティビティ	10H	(2018年度以前入学生) 野外活動実習のいずれか (2019年度以降入学生) 「キャンプ実習A」「キャンプ実習B」「海洋スポーツキャンプ実習」のいずれか	1単位
	キャンプの生活技術			
	キャンプの安全			

【キャンプディレクター2級】

キャンプが果たす社会的な役割を理解した上で、地域や野外活動施設等でキャンプの実技を指導することができる指導者です。自分自身でキャンプを企画し、多くの人にキャンプの楽しさを体験してもらう機会を創り出す役割を担います。

キャンプディレクター2級を取得する場合、キャンプインストラクターの資格を保有していることが条件となるので、3年次までにキャンプインストラクター資格を保有しておく必要があります。ただし、担当教員が「キャンプインストラクター相当の能力、経験がある」と判断した場合は「推薦制度」を用いてキャンプディレクター2級から取得することも可能です。推薦制度を利用する場合は4年次の4月までに担当教員に申し出てください。

	科目	時間数	体育学部開講科目	単位	要件
理論	キャンプと社会	12H	野外教育論	2単位	必修
	キャンプと環境教育				
	キャンプと安全管理				
	キャンプにおける対象の理解				
	キャンプマネジメント	3H	スポーツ経営学	2単位	必修
	アウトドア活動	2回以上	(2018年度以前入学生) 野外活動実習のいずれか (2019年度以降入学生) 「キャンプ実習A」「キャンプ実習B」「海洋スポーツキャンプ実習」のいずれか	1単位	選択必修
	キャンプの指導者と技術指導	3H	インターンシップA		必修
キャンププログラムの運営実践	6H	インターンシップB コーチング実習			
キャンプ指導経験	1泊以上	(野外活動分野)又は 担当教員が認めるキャンプ指導経験 (10日以上)			

7 公益財団法人日本パラスポーツ協会 パラスポーツ指導員資格

パラスポーツの振興と競技力向上にあたる指導者の資質と指導力向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立するための資格で、資格認定は（公財）日本パラスポーツ協会が行います。

障がいのある人のスポーツ参加を支援する中で、パラスポーツ指導者に求められる役割は年々大きくなっています。

初級パラスポーツ指導員資格は下表に定められた科目を履修し単位を修得することで取得できます。

中級パラスポーツ指導員は初級パラスポーツ指導員の科目と中級パラスポーツ指導員の科目の両方の科目を履修し単位を修得し、活動実績証明書を提出することで資格を取得できます。

なお、資格取得後も毎年協会への更新登録（有料）が必要となります。

※資格申請についてのガイダンスは4年次に行います。

（1）初級パラスポーツ指導員

主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツ参加のきっかけ作りを支援します。

指導員は、障がいの基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践にあたっては、健康や安全また、スポーツの喜びや楽しさを伝えることを重視した指導を行います。

【2020年度以降入学生】

基準カリキュラム	時間数	体育学部開講科目	単位
スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	1.5H	障がい者スポーツ指導法	2単位
障がい者スポーツの意義と理念	1.5H	障害者スポーツ概論	2単位
コミュニケーションスキルの基礎	1.5H	障がい者スポーツ指導法	2単位
障がいのある人との交流	1.5H	介護技術講義	2単位
障がい者スポーツ推進の取り組み	1.5H	障がい者スポーツ指導法	2単位
障がい者スポーツに関する諸施策	1.5H	障害者スポーツ概論	2単位
安全管理	1.5H	スポーツ医学 又は 救急処置 I	2単位 2単位
各障がいの理解	6H	障害者スポーツ概論	2単位
各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	3H	障害者スポーツ	1単位
全国障害者スポーツ大会の概要	1.5H	障害者スポーツ概論	2単位

（2）中級パラスポーツ指導員

地域におけるパラスポーツのリーダーとしての役割を持ち、指導現場では十分な知識、技術に基づいた指導ができ、指導員の模範となる者です。

指導員は、地域のスポーツ大会や行事の企画・運営に参加するとともに、全国障害者スポーツ大会に参加する選手団のコーチとして、選手選考やその強化・育成の役割を担います。

さらに指導員の組織化や運営にも関わり、地域のパラスポーツ振興を進めます。

なお、中級パラスポーツ指導員資格には、各科目の履修と活動実績が必要となります。

【2020年度以降入学生】

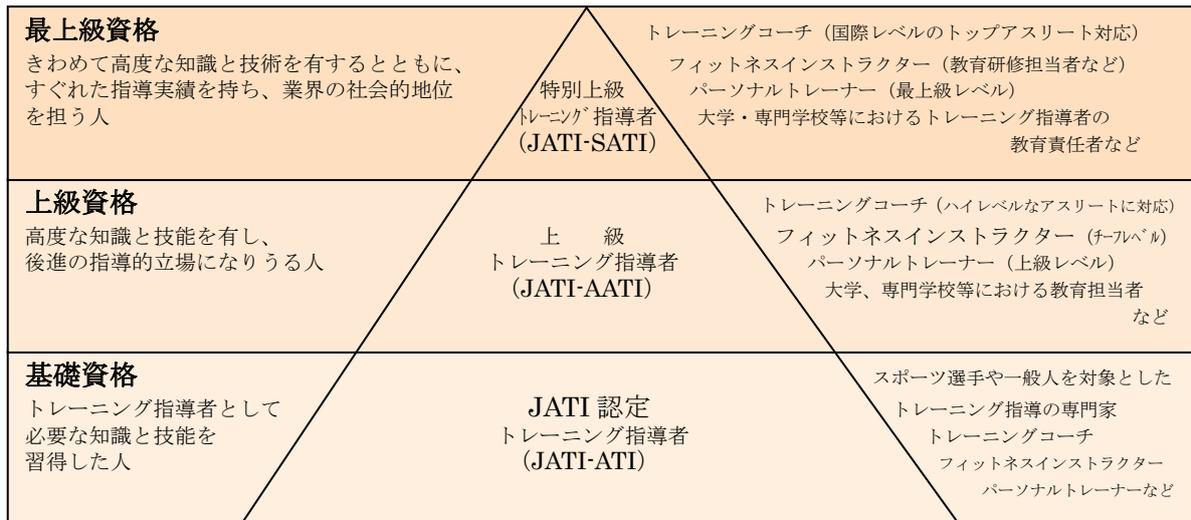
基準カリキュラム	時間数	体育学部開講科目	単位
スポーツの意義と価値	3H	障がい者スポーツ指導法	2単位
障がい者スポーツ指導員としてのキャリア形成	3H	障がい者スポーツ指導法	2単位
地域における障がい者スポーツ振興	1.5H	障がい者スポーツ指導法	2単位
身体の仕組みと体力づくり	3H	スポーツ生理学Ⅰ 体力トレーニング論・同実習	2単位 3単位
救急処置法	3H	救急処置Ⅰ	2単位
リスクマネジメント	1.5H	障がい者スポーツ指導法	2単位
スポーツ心理学Ⅰ	1.5H	スポーツ心理学	2単位
障がい各論	12H	学校保健（小児保健、精神保健、 学校安全を含む）	2単位
		介護技術講義	2単位
		障がい者スポーツ指導法	2単位
障がい者のスポーツ指導における留意点	4.5H	障害者スポーツ概論	2単位
全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則	12H	障害者スポーツ	1単位
全国障害者スポーツ大会の歴史と目的と意義	1.5H	障がい者スポーツ指導法	2単位
全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分	3H	障害者スポーツ 障がい者スポーツ指導法	1単位 2単位
全国障害者スポーツ大会選手団の編成とスタッフの役割	1.5H	障がい者スポーツ指導法	2単位
補装具の理解	1.5H	障害者スポーツ概論	2単位
発育・発達に応じた指導法	3H	発育発達論 又は 発育発達と老化	2単位 2単位
最重度障がい者のスポーツの実際 (重症心身障がい児・者を含む。)	1.5H	障害者スポーツ	1単位
活動実績	80H 以上	活動実績証明書（10日以上）	

8 特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会 JATI トレーニング指導者資格（基礎資格）

特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（略称 JATI : Japan Association of Training Instructors）は、競技力向上や健康づくりなど、さまざまな現場でトレーニング指導に携わる者たちが、相互研鑽を通じて専門性を高め、それにより社会への貢献を果たすことを目指して集う組織で、日本におけるトレーニング指導者資格の確立を目指し、認定資格を設けています。

この資格は一般人からトップアスリートまで、あらゆる対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムの作成と指導ができる専門家の資格です。

【JATI 認定トレーニング指導者の構成】



【体育学部で取得できる日本トレーニング協会 トレーニング指導者資格】

基礎資格 トレーニング指導者（JATI-ATI: Accredited Training Instructor）

体育学部は、トレーニング指導者養成校の認定を受け、つぎの表（体育学部開講科目）の単位を全て修得することで、トレーニング指導者認定試験の受験資格が得られます。

認定試験に合格し、JATIに入会することでトレーニング指導者資格（基礎資格）が取得できます。（基礎資格を取得後3年以上の実務経験を経て、心肺蘇生法と自動体外式除細動器に関する講習会を受講することで、上級トレーニング指導者認定試験の受験資格が得られます。）

トレーニング指導者養成校・養成機関科目対応表（申請内容を要確認）

①一般科目

領域	科目名	体育学部開講科目
体力学総論	体力学総論	体力トレーニング論・同実習
機能解剖	(1) 上肢	機能解剖学
	(2) 脊柱と胸郭	
	(3) 骨盤と下肢	
バイオメカニクス	(1) 基礎理論	バイオメカニクス
	(2) スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	
運動生理学	(1) 呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	スポーツ生理学 I
	(2) 骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	

領域	科目名	体育学部開講科目
運動と栄養	(1) 基礎理論	スポーツ栄養学
	(2) スポーツ選手の競技力向上と栄養	
	(3) 一般人の健康増進と栄養	
運動と心理	(1) 基礎理論	スポーツ心理学
	(2) スポーツ選手の競技力向上への活用	
	(3) 一般人の健康増進への活用	
運動と医学	(1) 救急処置法	スポーツ医学
	(2) スポーツ選手の整形外科的傷害と予防	
	(3) 生活習慣病とその予防	
運動指導の科学	運動指導の科学	運動学

②専門科目

領域	科目名	体育学部開講科目
トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	運動学
各種トレーニング法の理論とプログラム	トレーニング計画の立案(総論)	体力トレーニング論・同実習 スポーツ医学
	筋力トレーニングのプログラム作成	
	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成	
	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成	
	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成	
	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成	
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
	傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム	
各種トレーニング法の実際	筋力トレーニングの実際	体力トレーニング論・同実習
	パワー向上トレーニングの実際	
	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際	
	スピード向上トレーニングの実際	
	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際	
トレーニング効果の測定と評価	トレーニング効果の測定と評価の実際	体力トレーニング論・同実習
	測定データの活用とフィードバックの実際	
トレーニングの運営と情報活用	トレーニングの運営	体力トレーニング論・同実習 運動学
	運動指導のための情報収集と活用	

9 一般社団法人全国体育スポーツ系大学協議会 JPSU スポーツトレーナー

JPSU スポーツトレーナーとは体育スポーツ系大学の特色を活かし、医療分野に特化した内容ではなく、スポーツ選手及びスポーツ実践者が、安全にかつ効果的にスポーツを行えるよう、スポーツ医学に基づいたスポーツ外傷・障害の予防や救急処置、コンディショニング調整、トレーニングの指導などの、身体づくり（コンディショニング）の専門的知識・技術を習得することにより与えられる実践的な能力を保証した資格です。教育の現場でも必要な能力ですので、教員志望の学生にもその能力を保証する資格となっております。つぎの表（体育学部開講科目）を修得し、修了認定試験に合格すればJPSU スポーツトレーナーの資格を取得できます。

講習科目	内容	科目数	体育学部開講科目	科目数
スポーツトレーナーに必要な資質	コーチング	1	運動学	1
	教育的指導と倫理			
	専門家との連携			
	スポーツトレーナー総論			
体育スポーツ実践・指導（実技）	記録系競技実践・指導	1	陸上競技 I	いずれか 3領域
	球技系競技実践・指導	1	テニス I	
	武道・格闘技系実践・指導	1	柔道 I A 剣道 I A なぎなた A	
	基礎運動実践・指導	1	器械運動 I	
トレーニングコンディショニング実践・指導（実技）	行動体力に関わる体力要素の実践・指導	2	体力トレーニング論・同実習 トレーニング計画 （スポーツ教育学科） トレーニング実技 （健康・スポーツマネジメント学科）	2
	例：筋力トレーニング			
	柔軟性トレーニング			
	敏捷性トレーニング			
	パワートレーニング			
持久力トレーニング				
現場実習	集団指導	1	教育実習 I	1
	現場対応		インターンシップ A、インターンシップ B、コーチング実習	
体力測定評価（実技）	身体組成測定評価	1	スポーツ測定評価	1
	筋力測定評価			
	柔軟性測定評価			
	敏捷性測定評価			
	パワー測定評価			
	持久力測定評価			
救急処置法（講義・実技）	心肺蘇生法& A E D	1	救急処置 I	1
	整形外科的疾患に対する救急処置			
	内科的疾患に対する救急処置			
	救急処置シミュレーション			
	運搬法			

講習科目	内容	科目数	体育学部開講科目	科目数
スポーツ生理学	運動と身体反応	1	スポーツ生理学 I	1
	環境と身体反応			
スポーツ栄養学	減量・増量に関わる栄養	1	スポーツ栄養学	1
	食事指導と教育			
スポーツ心理学	スポーツにおける心理学の領域	1	スポーツ心理学	1
	スポーツ心理学的アプローチ			
トレーニング科学	各種トレーニングにおける身体反応	1	体力トレーニング論・同実習	1
	トレーニングのプログラムデザイン			
バイオメカニクス	バイオメカニクスの領域	1	バイオメカニクス	1
	各種運動の動きの見方			
機能解剖学	上肢の基礎解剖と運動	1	機能解剖学	1
	体幹の基礎解剖と運動			
	下肢の基礎解剖と運動			
コンディショニング	コンディショニングの基礎	1	トレーナー実習 (スポーツ教育学科)	1
	年齢・性別のコンディショニング		スポーツコンディショニング実習(健康・スポーツマネジメント学科)	
	各種コンディショニング方法			
スポーツ医学 (内科)	内科的疾患・感染症とその対策	1	スポーツ医学	1
	内科的メディカルチェック			
スポーツ医学 (運動器)	上肢・下肢・脊柱のスポーツ外傷・障害	1	スポーツ医学	1
	整形外科的メディカルチェック			

※上の表に加えて修了認定試験の受験申請時に、「一次救命処置資格（BLS資格）」を保持している必要があります。

10 教育職員免許状（小学校教諭一種免許状）

本学では、神戸親和大学との間で小学校教諭免許状取得プログラムの大学間協定を結び、本学学生が神戸親和大学の通信教育部の科目等履修生として、必要な科目を履修し単位修得することにより、小学校教諭一種免許状を取得することができます。

このプログラムは2年次生又は3年次生から開始し、卒業までの履修となります。履修ガイダンスは12月初旬（予定）に実施します。履修希望者は、本学での審査を受け、合格した者だけに履修を許可します。

このプログラムは、神戸親和大学の科目履修料として約60万円が必要となります。

（1）履修上の注意

- ①このプログラムは中学校又は高等学校教諭一種免許状（保健体育）の取得が前提となっており、中学校又は高等学校教諭免許状の取得ができなければ、神戸親和大学にて小学校教諭免許状取得に必要な単位を全て修得していたとしても、小学校教諭免許状のみの取得はできません。なお、本学において高等学校教諭一種免許状のみの取得を前提とする場合は、「介護技術講義」を履修する必要があります。
- ②教育実習は4年次の前期に中学校又は高校（保健体育）を3週間、後期に小学校の教育実習4週間となります。
- ③卒業時に小学校教諭免許状に必要な単位を一部修得できなかった場合は、卒業後も神戸親和大学の科目等履修生として継続して履修し、単位修得すれば、免許の取得は可能です。

（2）履修形態

①テキスト履修科目

指定教材（テキスト）をもとに自宅で学習を始め、科目ごとに課せられた報告課題（レポート）を作成します。作成したレポートへの添削指導を通じて学習を進め、最終的にレポート・科目修了試験ともに合格することで科目の単位を修得できます。

②スクーリング履修科目

神戸親和大学から指定された日時（主な時期：週末及び8月、9月）に、神戸親和大学で直接授業を受けます。科目ごとに定められた授業時間すべてに出席し、試験等に合格することで科目の単位を修得できます。

（3）小学校教諭一種免許状取得に必要な科目・単位数

①教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目	8単位
②教科及び教科の指導法に関する科目	30単位
③教育の基礎的理解に関する科目	10単位
④道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目	10単位
⑤教育実践に関する科目	7単位
⑥大学が独自に設定する科目	2単位
合計	67単位

①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

各免許共通ですので、中高教員免許（保健体育）の科目として履修してください。

教科及び教職に関する科目

T:テキスト科目 S:スクーリング科目

免許法施行規則に定める 科目区分	法定最低 単位数	神戸親和大学 で取得する科目	単位		履修 条件	履修方法	教育実 習要件
			T	S			
教科に関する専門的事項	10	国語	2		選必A	『選必A』から3科目以上、 『選必B』から1科目以上を含め、 合わせて 5科目10単位以上修得	
		社会	2		選必A		
		算数	2		選必A		
		理科	2		選必A		
		生活	2		選必A		
		家庭	2		選必A		
		外国語(英語)	2		選必A		
		音楽	1	1	選必B		
		美術	1	1	選必B		
		体育	1	1	選必B		
各教科の指導法(情報通信技術 の活用を含む。)	20	教科教育法・国語	2		必修		○
		教科教育法・社会	2		必修		○
		教科教育法・算数	2		必修		○
		教科教育法・理科		2	必修		●
		教科教育法・生活	2		必修		○
		教科教育法・音楽		2	必修		●
		教科教育法・図画工作		2	必修		●
		教科教育法・家庭	2		必修		○
		教科教育法・体育		2	必修		●
		教科教育法・外国語(英語)	1	1	必修		○
計	30	最低修得単位数計	30				

免許法施行規則に定める 科目区分	法定最低 単位数	神戸親和大学 で取得する科目	単位		履修 条件	中・高一種免より充当 体育学部	振替 単位	教育実 習要件	
			T	S					
教育の基礎的 理解に関する科目	10	—				教育原理	8		
		—				教師論			
		—				教育行政			
		—				教育心理学			
		—				特別支援教育概論			
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	2			必修			○
		道徳・ 総合的な学習の 時間等の指導法及び 生徒指導、教育相談等 に関する科目	10	道徳の理論および指導法	2			選必	「教育方法・ICT活用論(初等)」を含めて、4科目8単位以上修得
総合的な学習の時間の指導法	2				選必		○		
特別活動の指導法	2				選必		○		
教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2				必修		○		
生徒指導の理論及び方法								○	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2					選必		○	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2					選必		○	
教育実践に 関する科目	5	教育実習(初等)	4		必修	教育実習 I	3		
		教育実習事前・事後指導(初等)		1	必修				
大学が独自に設定する科目	2	—				教職実践演習(中・高)	2		
計	29	必修単位数計	15			振替単位数計	15		

「教育実習(初等)」及び「教育実習事前・事後指導(初等)」を受講するためには実習実施予定前学年末(神戸親和大学が定める最終期限)までに、教育実習要件科目の○印科目のうち7科目以上(ただし、1科目まで修得見込可*2)、●印科目のうち2科目以上を修得している必要があります。

*1 体育学部で高免のみ取得予定で、「道徳教育の理論と実践」を履修していない学生は必修です。

*2 「修得見込」とは、テキスト履修科目において、最終期限までに単位数分すべての課題レポート提出(受付済)して科目修了試験の受験資格を得ていること。

※小学校免許取得には、本学で介護等体験が必要です。

2023・2022年度入学生 スポーツ教育学科

科目名	取得	単	必	配	免	許
得	位	修	修	修	修	修
教養科目(必修6単位/選択14単位/計20単位以上)						
基礎教育科目(8単位以上)						
必修科目(3単位)						
日本語技法	3	2	★	①		★
情報処理実習 I	1	1	★			★
選択必修科目(2単位以上)						
統計基礎	2	2	★	①		
統計実習 I	2	1	★			
統計実習 II	1	1	★			
選択科目						
日本語技法演習(基礎)	2					
日本語技法演習(応用)	2			①		
情報処理実習 II	1					★
必修科目(3単位)						
英語 I A	3	1	★			★
英語 I B	1	1	★	①		★
英語演習	1	1	★			★
選択科目						
英語 II	1	1				
英語 III	1	1				
英会話 I	1	1				
英会話 II	1	1		②		
海外語学研修	1	1				
ドイツ語	1	1				
中国語	1	1				
一般教育科目(12単位以上)						
人文科学(2科目4単位以上)						
文学	2	2				
宗教学	2	2				
倫理学	4	2		①		
文化論	2	2				
哲学	2	2				
歴史学	2	2				
社会科学(2科目4単位以上)						
社会学	2	2				
経済学	2	2				
法学	4	2		①		
政治学	2	2				
日本国憲法	2	2				★
自然科学(2科目4単位以上)						
数学	2	2				
生物学	2	2				
心理学	4	2		①		
物理	2	2				
化学	2	2				
20						

科目名	取得	単	必	配	免	許
得	位	修	修	修	修	修
専門基礎科目(必修39単位/選択必修3単位/計42単位)						
必修講義科目(27単位)						
スポーツ社会学	2	2	★			★
機能解剖学	2	2	★			★
スポーツ生理学 I	2	2	★	①		★
体カトレーニング論・同実習	3	3	★			★
スポーツ測定評価	2	2	★			★
スポーツ史	2	2	★			★
スポーツ経営学	27	2	★			★
スポーツ心理学	2	2	★			★
スポーツ栄養学	2	2	★	②		
スポーツ医学	2	2	★			★
バイオメカニクス	2	2	★			★
運動学	2	2	★			★
体育原論	2	2	★	③		★
必修実技科目(12単位)						
陸上競技 I	2	2	★			★
器械運動 I	2	2	★	①		★
水泳 I	2	2	★			★
レクリエーション I	2	2	★			★
バスケットボール I	12	1	★			★
パレーボール I	1	1	★	②		★
サッカー I	1	1	★			★
テニス I	1	1	★			★
選択必修実技科目(2単位)						
ダンス I A	1	1				★
柔道 I A	1	1		②		★
剣道 I A	1	1				★
ダンス I B	1	1				★
柔道 I B	1	1		②		★
剣道 I B	1	1				★
選択必修実習科目(1単位)						
スキー実習	1	1		①		
キャンプ実習 A	1	1		②		
海洋スポーツキャンプ実習	1	1				
臨海実習	1	1		③		
ゴルフ実習	1	1				
キャンプ実習 B	1	1		④		
野外活動基礎実習	1	1				
42						

※柔道 I A、剣道 I Aの両方は履修できません。
また、柔道 I B・剣道 I Bは、それぞれ柔道 I A・剣道 I Aの単位を取得した者のみ履修可。(ただし、担当教員が認めた場合はその限りでない。)

※専門基礎科目における選択必修実習科目においては、複数履修しても卒業所要単位としてカウントされるのは1単位のみ。

科目名	取得	単	必	配	免	許
得	位	修	修	修	修	修
応用科目(各コース14単位)						
コーチ教育コース						
講義・実習科目(10単位)						
コーチング論	2	2	★			
スポーツ文化論	2	2	★			
トレーナー論	10	2	★			③
コーチング法	2	2	★			
トレーナー実習	1	1	★			
コーチング実習	1	1	★			
選択講義科目(4単位)						
スポーツ技術・戦術論	2	2				
コーチングの心理学	2	2				
競技スポーツ論	4	2				③
武道・稽古・修行論	2	2				
トレーニング計画	2	2				
動作分析法	2	2				
体育科教育コース						
必修講義科目(10単位)						
体育科教育学	2	2	★			
授業研究 I A(体育)	2	2	★			
授業研究 I B(保健)	10	2	★			③
教育カウンセリング II	2	2	★			
保健体育教職特講	1	1	★			
インターンシップ A	1	1	★			
実技科目(4単位)						
教職ダンス	2	2	★			
柔道 I AB	4	2				③
剣道 I AB	2	2				
スポーツ心理・カウンセリングコース						
必修講義科目(12単位)						
認知・行動分析論	2	2	★			
運動学習論	2	2	★			
コミュニティダンス論	12	2	★			③
コーチングの心理学	2	2	★			
教育カウンセリング II	2	2	★			
スポーツ心理学実験実習	2	2	★			
必修科目(2単位)						
インターンシップ B	2	2	★			③
14						
キャリア教育科目(必修1単位以上)						
必修科目(1単位)						
キャリアデザイン I	1	1	★	②		
選択科目						
キャリアデザイン II	1	1		③		
1						

【記号について】

- 「取得」は最低必要単位数を記載
- 「★」は必修科目
- 「⊕」は選択必修科目
- 「配当」
- ①→1～4年次生が受講できる
- ②→2～4年次生が受講できる
- ③→3～4年次生が受講できる
- ④→4年次生が受講できる

【履修制限 48単位/年】

科目名	→48単位に含む
科目名	→48単位に含まない

【卒業要件単位 124単位】

単位数	→124単位に含む
単位数	→124単位に含まない

【発展科目(必修/計20単位)】

科目名	取得	単	必	配	免	許
得	位	修	修	修	修	修
必修講義科目(10単位)						
スポーツ教育学	2	2	★			
国際スポーツ論	2	2	★	②		
スポーツメンタルトレーニング指導論	10	2	★			
発育発達論	2	2	★			
スポーツ科学とコーチング	2	2	★	③		
必修演習科目(8単位)						
スポーツ教育学演習 I	8	4	★	③		
スポーツ教育学演習 II	4	4	★	④		
必修実技科目(2単位)						
ハンドボール I	1	1	★			
ラグビー I(男子のみ)	2	1	★	②		
ソフトボール(女子のみ)	1	1	★			
20						

【免許について】

- 「★」・・・教職必修
- 「☆」・・・教職選択科目
- 「⊕」は選択必修科目
- ※教員免許以外の資格については「II 体育学部で取得できる各種資格」を確認してください。

【GPA対象科目】

- 卒業要件科目が対象ですが、下記科目は対象外です。
- 日本語技法
- 統計基礎、統計実習 I・II
- 日本語技法演習(基礎)
- スポーツ教育学演習 I・II

科目名	取得	単位	必修	配当	免高	許中
関連科目(選択必修13単位以上)						
選択必修講義科目(10単位以上)						
運動部指導実践論		2		①		
障害者スポーツ概論		2				
スポーツと人類学		2		②		
スポーツカウンセリング		2				
スポーツ演習		4				
野外教育論		2				
衛生学(公衆衛生学を含む)		2			★	★
アスレティックリハビリテーション基礎		2				
スポーツ事故法律論		2				
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全を含む)		2			★	★
救急処置 I		2			★	★
手話実習		2				
初級ピアノ実習		2		③		
レジャー・レクリエーション概論		2				
トレーニング計画		2				
教育史		2			☆	☆
スポーツメディア論		2				
トレーナー実習		1				
健康スポーツ心理学		2				
企業フィットネス論		2				
英語講読		2				
人権教育		2			☆	☆
舞踊論		2				
武道論		2		④		
身体表現とコミュニケーション		2				
卒業論文		4				
選択講義科目						
教師論		2		①	★	★
保健体育科教育法A		2			★	★
保健体育科教育法B		2		②	★	★
保健体育科学習指導論		2		③	★	★
選択必修実技科目(3単位以上)						
卓球		1				
ソフトテニス		1				
バドミントン		1				
ソフトボール(男子のみ)		1				
ラグビー(女子のみ)		1				
ゴルフ		1				
体づくり運動		1				
リズムダンス		1			③	
障害者スポーツ		1				
レジスタンストレーニング		1				
武道の形		2				
なぎなたA		1				
なぎなたB		1				
野球		1				
実践英語実技		1				
レクリエーションII *		2				
ダンスII		2				
テニスII		2				
サッカーII		2				
バレーボールII		2				
バスケットボールII		2				
ハンドボールII *		2				
ラグビーII		2			④	
陸上競技II		2				
器械運動II		2				
水泳II		2				
柔道II		2				
剣道II		2				
		13				

「教育史」「人権教育」は教職必修ではないが、受講することが望ましい。

「選択必修講義科目」の10単位には含まない。「保健体育科学習指導論」は「教育実習I」の前提科目のため、高校免許のみの取得の場合でも単位取得の必要あり。

教職に関する専門科目「体育実技指導法」に読み替える

*「〇〇II」の科目(「ダンスII」を除く)は、3年次までに各実技I科目の単位を修得した者のみ履修可。
(ただし担当教員が認めた場合はその限りでない)

科目名	単位	配当	免高	許中
教職に関する専門科目				
教育原理	2	①	★	★
教育心理学	2		★	★
特別支援教育概論	2		★	★
教育課程編成論	2	②	★	★
道徳教育の理論と実践	2		★	★
教育行政	2		★	★
特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2		★	★
教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2	③	★	★
生徒・進路指導論	2		★	★
教育カウンセリング I	2		★	★
教育実習 I	5		★	★
教職実践演習(中・高)	2	④	★	★
体育実技指導法	2		★	★
資格関連科目				
レクリエーション指導実習	1			
介護技術講義	2	③		★
障がい者スポーツ指導法	2			
コーチング論	2			
レクリエーションIII	2			
特別演習(サッカー)	2	④		
特別演習(テニス)	2			
特別演習(水泳)	2			
自由科目				
フレッシュマンセミナー	1			
スポーツ科学特別演習 I	2	①		
スポーツ科学特別演習 II	2			
スポーツ科学特別演習 III	2	②		
【卒業要件】				
科目区分	最低修得単位数			
教養科目	20			
基礎教育科目	8			
基礎教育 必修	6			
基礎教育 選択必修	2			
一般教育科目	12			
人文 選択必修	4			
社会 選択必修	4			
自然 選択必修	4			
専門基礎科目	42			
講義 必修	27			
実技	14			
必修	12			
選択必修	2			
実習 選択必修	1			
発展科目	20			
講義 必修	10			
演習 必修	8			
実技 必修	2			
応用科目	14			
・コーチ教育コース	14			
講義・実習 必修	10			
講義 選択必修	4			
・体育科教育コース	14			
講義 必修	10			
実技 選択必修	4			
・スポーツ心理・カウンセリングコース	14			
講義 必修	12			
実習 必修	2			
キャリア教育科目	1			
講義 必修	1			
関連科目	13			
講義 選択必修	10			
実技 選択必修	3			
教養科目、関連科目、キャリア教育科目、専門基礎科目(選択必修実技科目)及び応用科目(選択講義科目:コーチ教育コースのみ)及び単位互換科目より選択し履修	14			
合計(卒業要件単位)	124			

P47 参照

*各コース

2023・2022年度入学生 健康・スポーツマネジメント学科

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許
教養科目(必修6単位/選択14単位/計20単位以上)						
基礎教育科目(8単位以上)						
必修科目(3単位)						
日本語技法	3	2	★	①		
情報処理実習Ⅰ	1	1	★		★	★
選択必修科目(2単位以上)						
統計基礎	2	2	★	①		
統計実習Ⅰ	2	1	★			
統計実習Ⅱ	1	1	★			
選択科目						
日本語技法演習(基礎)	2	2				
日本語技法演習(応用)	2	2		①		
情報処理実習Ⅱ	1	1			★	★
必修科目(3単位)						
英語ⅠA	3	1	★		★	★
英語ⅠB	1	1	★	①		
英語演習	1	1	★			
選択科目						
英語Ⅱ	1	1				
英語Ⅲ	1	1				
英会話Ⅰ	1	1				
英会話Ⅱ	1	1		②		
海外語学研修	1	1				
ドイツ語	1	1				
中国語	1	1				
一般教育科目(12単位以上)						
人文科学(2科目4単位以上)						
文学	2	2				
宗教学	2	2				
倫理学	2	2				
文化論	2	2		①		
哲学	2	2				
歴史学	2	2				
社会科学(2科目4単位以上)						
社会学	2	2				
経済学	2	2				
法学	2	2		①		
政治学	2	2				
日本国憲法	2	2			★	★
自然科学(2科目4単位以上)						
数学	2	2				
生物学	2	2				
心理学	2	2		①		
物理	2	2				
化学	2	2				
20						

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許
専門基礎科目(必修39単位/選択必修3単位/計42単位)						
必修講義科目(27単位)						
スポーツ社会学	2	2	★		★	★
機能解剖学	2	2	★		★	★
スポーツ生理学Ⅰ	2	2	★	①		
体カトレーニング論・同実習	3	3	★		★	★
スポーツ測定評価	2	2	★		★	★
スポーツ史	2	2	★		★	★
スポーツ経営学	2	2	★		★	★
スポーツ心理学	2	2	★		★	★
スポーツ栄養学	2	2	★	②		
スポーツ医学	2	2	★		★	★
バイオメカニクス	2	2	★		★	★
運動学	2	2	★		★	★
体育原論	2	2	★	③		
必修実技科目(12単位)						
陸上競技Ⅰ	2	2	★		★	★
器械運動Ⅰ	2	2	★	①		
水泳Ⅰ	2	2	★		★	★
レクリエーションⅠ	2	2	★		★	★
バスケットボールⅠ	1	1	★		★	★
バレーボールⅠ	1	1	★	②		
サッカーⅠ	1	1	★		★	★
テニスⅠ	1	1	★		★	★
選択必修実技科目(2単位)						
ダンスⅠA	1	1			★	★
柔道ⅠA	1	1		②		
剣道ⅠA	1	1				
ダンスⅠB	1	1				
柔道ⅠB	1	1		②		
剣道ⅠB	1	1				
選択必修実習科目(1単位)						
スキー実習	1	1		①		
キャンプ実習A	1	1		②		
海洋スポーツキャンプ実習	1	1				
臨海実習	1	1		③		
ゴルフ実習	1	1				
キャンプ実習B	1	1		④		
野外活動基礎実習	1	1				
42						

※柔道ⅠA、剣道ⅠAの両方は履修できません。また、柔道ⅠB・剣道ⅠBは、それぞれ柔道ⅠA・剣道ⅠAの単位を取得した者のみ履修可。(ただし、担当教員が認めた場合はその限りでない)。

※専門基礎科目における選択必修実習科目においては、複数履修しても卒業所要単位としてカウントされるのは1単位のみ。

※スポーツマネジメントコースは「海洋スポーツキャンプ実習」が必修となります。

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許
応用科目(各コース14単位)						
スポーツマネジメントコース						
必修講義・実習科目(14単位)						
スポーツマーケティング	2	2	★			
スポーツプログラム開発論	2	2	★			
スポーツ施設管理運営論	2	2	★			
マーケティングリサーチ法	14	2	★	③		
地域スポーツ経営論	2	2	★			
スポーツマネジメント実践論	2	2	★			
インターンシップB	2	2	★			
アスレティックトレーニングコース						
必修講義科目(10単位)						
臨床スポーツ医学A(内科)	2	2	★			
臨床スポーツ医学B(整形外科)	2	2	★			
ストレンクス・コンディショニング理論	10	2	★	③		
実践トレーニング科学理論	2	2	★			
アスレティックリハビリテーション基礎	2	2	★			
必修実習科目(3単位)						
体力科学実験実習	3	2	★			
テーピング実習	1	1	★	③		
選択必修実習科目(1単位)						
実践トレーニング指導実習	1	1				
インターンシップA	1	1		③		
健康スポーツコース						
必修講義科目(10単位)						
臨床スポーツ医学A(内科)	2	2	★			
臨床スポーツ医学B(整形外科)	2	2	★			
健康指導管理論	10	2	★	③		
栄養管理	2	2	★			
スポーツ生理学Ⅱ	2	2	★			
必修実技科目(2単位)						
健康スポーツ実技A	2	1	★			
健康スポーツ実技B	1	1	★	③		
選択必修実習科目(2単位)						
運動プログラム作成法	2	2				
インターンシップB	2	2		③		
14						

キャリア教育科目(必修1単位以上)						
必修科目(1単位)						
キャリアデザインⅠ	1	1	★	②		
選択科目						
キャリアデザインⅡ	1	1		③		
1						

※健康スポーツコースは「インターンシップA」(資格関連科目)又は、「インターンシップB」のいずれかが必修です。

【免許について】

- 「★」・・・教職必修
- 「☆」・・・教職選択科目
- 「⊙」は選択必修科目

※教員免許以外の資格については「Ⅱ 体育学部で取得できる各種資格」を確認してください。

【GPA対象科目】

卒業要件科目が対象ですが、下記科目は対象外です。

- 日本語技法
- 統計基礎、統計実習Ⅰ・Ⅱ
- 日本語技法演習(基礎)
- 健康・スポーツマネジメント学演習Ⅰ・Ⅱ

【記号について】

- 「取得」は最低必要単位数を記載
- 「★」は必修科目
- 「⊙」は選択必修科目
- 「配当」

- ①→1～4年次生が受講できる
- ②→2～4年次生が受講できる
- ③→3～4年次生が受講できる
- ④→4年次生が受講できる

【履修制限 48単位/年】

科目名	→ 48単位に含む
科目名	→ 48単位に含まない

【卒業要件単位 124単位】

単位数	→ 124単位に含む
単位数	→ 124単位に含まない

発展科目(必修22単位)						
必修講義科目(10単位)						
生涯スポーツ概論	2	2	★	①		
レジャー・レクリエーション概論	2	2	★			
健康・スポーツ産業論	10	2	★			
アスレティックトレーニング概論	2	2	★	②		
発育発達と老化	2	2	★			
必修演習科目(8単位)						
健康・スポーツマネジメント学演習Ⅰ	8	4	★	③		
健康・スポーツマネジメント学演習Ⅱ	4	4	★	④		
必修実技科目(4単位)						
トレーニング実技	4	1	★	②		
スポーツコンディショニング実習	1	1	★			
レクリエーションⅡ	2	2	★	③		
22						

科目名	取得	単位	必修	配当	免高	許中
関連科目(選択必修11単位以上)						
選択必修講義科目(8単位以上)						
運動部指導実践論	2	①				
障害者スポーツ概論	2					
スポーツと人類学	2	②				
スポーツカウンセリング	2					
スポーツ演習	4					
野外教育論	2					
衛生学(公衆衛生学を含む)	2			★	★	
栄養管理	2					
アスレティックリハビリテーション基礎	2					
スポーツ事故法律論	2					
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全を含む)	2			★	★	
救急処置Ⅰ	2			★	★	
手話実習	2	③				
初級ピアノ実習	2					
教育史	2			☆	☆	
スポーツメディア論	2					
体表解剖学	2					
健康スポーツ心理学	2					
スポーツ外傷・障害評価法	2					
企業フィットネス論	2					
英語講読	2					
人権教育	2			☆	☆	
舞踊論	2	④				
身体表現とコミュニケーション	2					
卒業論文	4					
選択講義科目						
教師論	2	①	★	★		
保健体育科教育法A	2	②	★	★		
保健体育科教育法B	2		★	★		
保健体育科学習指導論	2	③	★	★		
選択必修実技科目(3単位以上)						
卓球	1					
ソフトテニス	1					
バドミントン	1					
ソフトボール	1					
ゴルフ	1					
体づくり運動	1					
エアロビックダンス	1	③				
障害者スポーツ	1					
レジスタンストレーニング	1					
なぎなたA	1					
なぎなたB	1					
野球	1					
実践英語実技	3					
ハンドボール	2					
ラグビー	2					
ダンスⅡ	2					
テニスⅡ	2					
サッカーⅡ	2					
バレーボールⅡ	2					
バスケットボールⅡ	2					
陸上競技Ⅱ	2					
器械運動Ⅱ	2					
水泳Ⅱ	2					
柔道Ⅱ	2					
剣道Ⅱ	2					
	11					

「教育史」
「人権教育」
は教職必修
ではないが、受講
することが望
ましい。

「選択必修講義科
目」の8単位には
含まない。「保健
体育科学習指導
論」は「教育実習
Ⅰ」の前提科目の
ため、高校免許の
みの取得の場合
でも単位取得の必
要あり。

教職に関する専
門科目「体育実技
指導法」に読み替
える

*「○○Ⅱ」の科目(「ダンスⅡ」を除く)は、3年次
までに各実技Ⅰ科目の単位を修得した者のみ履修
可。
(ただし担当教員が認めた場合はその限りでない)

科目名	単位	配当	免高	許中
教職に関する専門科目				
教育原理	2	①	★	★
教育心理学	2		★	★
特別支援教育概論	2		★	★
教育課程編成論	2	②	★	★
道德教育の理論と実践	2		★	★
教育行政	2		★	★
特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2		★	★
教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2	③	★	★
生徒・進路指導論	2		★	★
教育カウンセリングⅠ	2		★	★
教育実習Ⅰ	5		★	★
教職実践演習(中・高)	2	④	★	★
体育実技指導法	2		★	

資格関連科目				
スポーツ教育学	2	②		
介護技術講義	2			★
労働概論	2			
労働法規	2			
レクリエーション指導実習	1			
アスレティックトレーニング実習	2			
アスレティックリハビリテーション理論	2	③		
アスレティックリハビリテーション実習	1			
健康運動指導演習	1			
インターンシップA	1			
障がい者スポーツ指導法	2			
コーチング論	2			
労働衛生	2			
救急処置Ⅱ	2			
スポーツコンディショニング実習Ⅱ	1			
スポーツ医学特講	1	④		
レクリエーションⅢ	2			
特別演習(テニス)	2			
特別演習(水泳)	2			

自由科目				
フレッシュマンセミナー	1			
スポーツ科学特別演習Ⅰ	2	①		
スポーツ科学特別演習Ⅱ	2			
スポーツ科学特別演習Ⅲ	2	②		

P47
参照

【卒業要件】		
科目区分	最低修得単位数	
教養科目	20	
基礎教育科目	8	
基礎教育 必修	6	
基礎教育 選択必修	2	
一般教育科目	12	
人文科学	4	
社会科学	4	
自然科学	4	
専門基礎科目	42	
講義 必修	27	
実技	14	
必修	12	
選択必修	2	
実習 選択必修	1	
発展科目	22	
講義 必修	10	
演習 必修	8	
実技 必修	4	
応用科目	14	
・スポーツマネジメントコース	14	* 各 コ ー ス
講義・実習 必修	14	
・アスレティックトレーニングコース	14	
講義 必修	10	
実習 必修	3	
実習 選択必修	1	
・健康スポーツコース	14	
講義 必修	10	
実技 必修	2	
実習 選択必修	2	
キャリア教育科目	1	
講義 必修	1	
関連科目	11	
講義 選択必修	8	
実技 選択必修	3	
教養科目、関連科目、キャリア教育科目 専門基礎科目(選択必修実技科目)及び単位互 換科目より選択し履修	14	
合計(卒業要件単位)	124	

2021年度入学生 スポーツ教育学科

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許
教養科目(必修6単位/選択14単位/計20単位以上)						
基礎教育科目(8単位以上)						
必修科目(3単位)						
日本語技法	3	2	★	①	★	★
情報処理実習Ⅰ	1	1	★		★	★
選択必修科目(2単位以上)						
統計基礎	2	2	★	①		
統計実習Ⅰ	2	1	★			
統計実習Ⅱ	1	1	★			
選択科目						
日本語技法演習(基礎)	2					
日本語技法演習(応用)	2			①		
情報処理実習Ⅱ	1				★	★
必修科目(3単位)						
英語ⅠA	3	1	★		★	★
英語ⅠB	1	1	★	①	★	★
英語演習	1	1	★			
選択科目						
英語Ⅱ	1					
英語Ⅲ	1					
英会話Ⅰ	1					
英会話Ⅱ	1			②		
海外語学研修	1					
ドイツ語	1					
中国語	1					
一般教育科目(12単位以上)						
人文科学(2科目4単位以上)						
文学	2					
宗教学	2					
倫理学	2			①		
文化論	2					
哲学	2					
歴史学	2					
社会科学(2科目4単位以上)						
社会学	2					
経済学	2					
法学	2			①		
政治学	2					
日本国憲法	2				★	★
自然科学(2科目4単位以上)						
数学	2					
生物学	2					
心理学	2			①		
物理	2					
化学	2					
20						

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許
専門基礎科目(必修39単位/選択必修3単位/計42単位以上)						
必修講義科目(27単位)						
スポーツ社会学	2	2	★		★	★
機能解剖学	2	2	★		★	★
スポーツ生理学Ⅰ	2	2	★	①	★	★
体カトレーニング論・同実習	3	3	★		★	★
スポーツ測定評価	2	2	★		★	★
スポーツ史	2	2	★		★	★
スポーツ経営学	2	2	★		★	★
スポーツ心理学	2	2	★		★	★
スポーツ栄養学	2	2	★	②	★	★
スポーツ医学	2	2	★		★	★
バイオメカニクス	2	2	★		★	★
運動学	2	2	★		★	★
体育原論	2	2	★	③	★	★
必修実技科目(12単位以上)						
陸上競技Ⅰ	2	2	★		★	★
器械運動Ⅰ	2	2	★	①	★	★
水泳Ⅰ	2	2	★		★	★
レクリエーションⅠ	2	2	★		★	★
バスケットボールⅠ	1	1	★		★	★
バレーボールⅠ	1	1	★	②	★	★
サッカーⅠ	1	1	★		★	★
テニスⅠ	1	1	★		★	★
選択必修実技科目(2単位以上)						
ダンスⅠA	1	1			★	★
柔道ⅠA	1	1	★	②	★	★
剣道ⅠA	1	1			★	★
ダンスⅠB	1	1			★	★
柔道ⅠB	1	1	★	②	★	★
剣道ⅠB	1	1			★	★
選択必修実習科目(1単位)						
スキー実習	1	1		①		
キャンプ実習A	1	1		②		
海洋スポーツキャンプ実習	1	1				
臨海実習	1	1	★	③		
ゴルフ実習	1	1				
キャンプ実習B	1	1		④		
野外活動基礎実習	1	1				
42						

※柔道ⅠA、剣道ⅠAの両方は履修できません。
また、柔道ⅠB・剣道ⅠBは、それぞれ柔道ⅠA・剣道ⅠAの単位を取得した者のみ履修可。(ただし、担当教員が認めた場合はその限りでない)。
※専門基礎科目における選択必修実習科目においては、複数履修しても卒業所要単位としてカウントされるのは1単位のみ。

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許
応用科目(各コース14単位)						
コーチ教育コース						
講義・実習科目(10単位)						
コーチング論	2	2	★			
スポーツ文化論	2	2	★			
トレーナー論	2	2	★	③		
コーチング法	2	2	★			
トレーナー実習	1	1	★			
コーチング実習	1	1	★			
選択講義科目(4単位以上)						
スポーツ技術・戦術論	2	2				
コーチングの心理学	2	2				
競技スポーツ論	2	2				
武道・稽古・修行論	2	2				
トレーニング計画	2	2				
動作分析法	2	2				
体育科教育コース						
必修講義科目(10単位)						
体育科教育学	2	2	★			
授業研究ⅠA(体育)	2	2	★			
授業研究ⅠB(保健)	2	2	★	③		
教育カウンセリングⅡ	2	2	★			
保健体育教職特講	1	1	★			
インターンシップA	1	1	★			
実技科目(4単位)						
教職ダンス	2	2	★			
柔道ⅠAB	2	2	★	③		
剣道ⅠAB	2	2	★			
スポーツ心理・カウンセリングコース						
必修講義科目(12単位)						
認知・行動分析論	2	2	★			
運動学習論	2	2	★			
コミュニティダンス論	2	2	★	③		
コーチングの心理学	2	2	★			
教育カウンセリングⅡ	2	2	★			
スポーツ心理学実験実習	2	2	★			
必修科目(2単位)						
インターンシップB	2	2	★	③		
14						
キャリア教育科目(必修1単位以上)						
必修科目(1単位)						
キャリアデザインⅠ	1	1	★	②		
選択科目						
キャリアデザインⅡ	1	1		③		
1						

【記号について】

- 「取得」は最低必要単位数を記載
- 「★」は必修科目
- 「★」は選択必修科目
- 「配当」
- ①→1~4年次生が受講できる
- ②→2~4年次生が受講できる
- ③→3~4年次生が受講できる
- ④→4年次生が受講できる

【履修制限 48単位/年】

科目名	→ 48単位に含む
科目名	→ 48単位に含まない

【卒業要件単位 124単位】

単位数	→ 124単位に含む
単位数	→ 124単位に含まない

発展科目(必修/計20単位)						
必修講義科目(10単位)						
スポーツ教育学	2	2	★			
国際スポーツ論	2	2	★	②		
スポーツメンタルトレーニング指導論	10	2	★			
発育発達論	2	2	★			
スポーツ科学とコーチング	2	2	★	③		
必修演習科目(8単位)						
スポーツ教育学演習Ⅰ	4	4	★	③		
スポーツ教育学演習Ⅱ	4	4	★	④		
必修実技科目(2単位)						
ハンドボールⅠ	1	1	★			
ラグビーⅠ(男子のみ)	2	1	★	②		
ソフトボール(女子のみ)	1	1	★			
20						

【免許について】

- 「★」・・・教職必修
- 「☆」・・・教職選択科目
- 「★」は選択必修科目
- ※教員免許以外の資格については「Ⅱ 体育学部で取得できる各種資格」を確認してください。

【GPA対象科目】

- 卒業要件科目が対象ですが、下記科目は対象外です。
- 日本語技法
- 統計基礎、統計実習Ⅰ・Ⅱ
- 日本語技法演習(基礎)
- スポーツ教育学演習Ⅰ・Ⅱ

科目名	取得単位	必修	配当	免高	許中
関連科目(選択必修13単位以上)					
選択必修講義科目(10単位以上)					
運動部指導実践論	2		①		
障害者スポーツ概論	2				
スポーツと人類学	2		②		
スポーツカウンセリング	2				
スポーツ演習	4				
野外教育論	2				
衛生学(公衆衛生学を含む)	2			★	★
アスレティックリハビリテーション基礎	2				
スポーツ事故法律論	2				
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全を含む)	2			★	★
救急処置 I	2			★	★
手話実習	2				
初級ピアノ実習	2		③		
レジャー・レクリエーション概論	2				
トレーニング計画	2				
教育史	2			☆	☆
スポーツメディア論	2				
トレーナー実習	1				
健康スポーツ心理学	2				
企業フィットネス論	2				
英語講読	2				
人権教育	2			☆	☆
舞踊論	2				
武道論	2		④		
身体表現とコミュニケーション	2				
卒業論文	4				
選択講義科目					
教師論	2		①	★	★
保健体育科教育法A	2		②	★	★
保健体育科教育法B	2			★	★
保健体育科学習指導論	2		③	★	★
選択必修実技科目(3単位以上)					
卓球	1				
ソフトテニス	1				
バドミントン	1				
ソフトボール(男子のみ)	1				
ラグビー(女子のみ)	1				
ゴルフ	1				
体づくり運動	1				
リズムダンス	1		③		
障害者スポーツ	1				
レジスタンストレーニング	1				
武道の形	2				
なぎなたA	1				
なぎなたB	1				
野球	1				
実践英語実技	1				
レクリエーション II *	2				
ダンス II	2				
テニス II	2				
サッカー II	2				
バレーボール II	2				
バスケットボール II	2				
ハンドボール II *	2				
ラグビー II	2		④		
陸上競技 II	2				
器械運動 II	2				
水泳 II	2				
柔道 II	2				
剣道 II	2				
	13				

「教育史」「人権教育」は教職必修ではないが、受講することが望ましい。

選択必修講義科目の10単位には含まない。「保健体育科学習指導論」は「教育実習 I」の前提科目のため、高校免許のみの取得の場合でも単位取得の必要あり。

教職に関する専門科目の「体育実技指導法」に読み替えられる実技科目。

* 「〇〇 II」の科目(「ダンス II」を除く)は、3年次までに各実技「〇〇 I」科目の単位を修得した者のみ履修可。(ただし担当教員が認めた場合はその限りでない)

科目名	単位	配当	免高	許中
教職に関する専門科目				
教育原理	2	①	★	★
教育心理学	2		★	★
特別支援教育概論	2		★	★
教育課程編成論	2	②	★	★
道德教育の理論と実践	2			★
教育行政	2		★	★
特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2		★	★
教育方法論	2	③	★	★
生徒・進路指導論	2		★	★
教育カウンセリング I	2		★	★
教育実習 I	5		★	★
教職実践演習(中・高)	2	④	★	★
体育実技指導法	2			★

資格関連科目				
レクリエーション指導実習	1			
介護技術講義	2	③		★
障がい者スポーツ指導法	2			
コーチング論	2			
レクリエーション III	2			
特別演習(サッカー)	2	④		
特別演習(テニス)	2			
特別演習(水泳)	2			

自由科目				
フレッシュマンセミナー	1			
スポーツ科学特別演習 I	2	①		
スポーツ科学特別演習 II	2			
スポーツ科学特別演習 III	2	②		

P47 参照

科目区分	最低修得単位数
【卒業要件】	
教養科目	20
基礎教育科目	8
基礎教育 必修	6
基礎教育 選択必修	2
一般教育科目	12
人文 選択必修	4
社会 選択必修	4
自然 選択必修	4
専門基礎科目	42
講義 必修	27
実技	14
必修	12
選択必修	2
実習 選択必修	1
発展科目	20
講義 必修	10
演習 必修	8
実技 必修	2
応用科目	14
・コーチ教育コース	14
講義・実習 必修	10
講義 選択必修	4
・体育科教育コース	14
講義 必修	10
実技 選択必修	4
・スポーツ心理・カウンセリングコース	14
講義 必修	12
実習 必修	2
キャリア教育科目	1
講義 必修	1
関連科目	13
講義 選択必修	10
実技 選択必修	3
教養科目、関連科目、キャリア教育科目、専門基礎科目(選択必修実技科目)及び応用科目(選択講義科目:コーチ教育コースのみ)及び単位互換科目より選択し履修	14
合計(卒業要件単位)	124

2021年度入学生 健康・スポーツマネジメント学科

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許中高
教養科目(必修6単位/選択14単位/計20単位以上)						
基礎教育科目(8単位以上)						
必修科目(3単位)						
日本語技法	3	2	★			
情報処理実習Ⅰ	1	1	★	①	★	★
選択必修科目(2単位以上)						
統計基礎	2	2	②			
統計実習Ⅰ	1	1		①		
統計実習Ⅱ	1	1				
選択科目						
日本語技法演習(基礎)	2	2				
日本語技法演習(応用)	2	2		①		
情報処理実習Ⅱ	1	1			★	★
必修科目(3単位)						
英語ⅠA	3	1	★		★	★
英語ⅠB	3	1	★	①	★	★
英語演習	1	1	★			
選択科目						
英語Ⅱ	1	1				
英語Ⅲ	1	1				
英会話Ⅰ	1	1				
英会話Ⅱ	1	1		②		
海外語学研修	1	1				
ドイツ語	1	1				
中国語	1	1				
一般教育科目(12単位以上)						
人文学科(2科目4単位以上)						
文学	2	2				
宗教学	2	2				
倫理学	2	2		①		
文化論	2	2				
哲学	2	2				
歴史学	2	2				
社会科学(2科目4単位以上)						
社会学	2	2				
経済学	2	2				
法学	4	2		①		
政治学	2	2				
日本国憲法	2	2				★
自然科学(2科目4単位以上)						
数学	2	2				
生物学	2	2				
心理学	4	2		①		
物理学	2	2				
化学	2	2				
20						

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許中高
専門基礎科目(必修39単位/選択必修3単位/計42単位以上)						
必修講義科目(27単位)						
スポーツ社会学	2	2	★		★	★
機能解剖学	2	2	★		★	★
スポーツ生理学Ⅰ	2	2	★	①	★	★
体カトレーニング論・同実習	3	3	★		★	★
スポーツ測定評価	2	2	★		★	★
スポーツ史	2	2	★		★	★
スポーツ経営学	2	2	★		★	★
スポーツ心理学	2	2	★		★	★
スポーツ栄養学	2	2	★	②		
スポーツ医学	2	2	★		★	★
バイオメカニクス	2	2	★		★	★
運動学	2	2	★		★	★
体育原論	2	2	★	③	★	★
必修実技科目(12単位)						
陸上競技Ⅰ	2	2	★		★	★
器械運動Ⅰ	2	2	★	①	★	★
水泳Ⅰ	2	2	★		★	★
レクリエーションⅠ	2	2	★			
バスケットボールⅠ	1	1	★		★	★
バレーボールⅠ	1	1	★		★	★
サッカーⅠ	1	1	★	②	★	★
テニスⅠ	1	1	★		★	★
選択必修実技科目(2単位以上)						
ダンスⅠA	1	1	★	②	★	★
柔道ⅠA	1	1	★	②	★	★
剣道ⅠA	1	1	★	③	★	★
ダンスⅠB	1	1	★			
柔道ⅠB	1	1	★	②		
剣道ⅠB	1	1	★			
選択必修実習科目(1単位)						
スキー実習	1	1		①		
キャンプ実習A	1	1		②		
海洋スポーツキャンプ実習	1	1				
臨海実習	1	1	★	③		
ゴルフ実習	1	1				
キャンプ実習B	1	1				
野外活動基礎実習	1	1		④		
42						

※柔道ⅠA、剣道ⅠAの両方は履修できません。また、柔道ⅠB・剣道ⅠBは、それぞれ柔道ⅠA・剣道ⅠAの単位を取得した者のみ履修可。(ただし、担当教員が認めた場合はその限りでない)。

※専門基礎科目における選択必修実習科目においては、複数履修しても卒業所要単位としてカウントされるのは1単位のみ。

※スポーツマネジメントコースは「海洋スポーツキャンプ実習」が必修となります。

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許中高
応用科目(各コース14単位)						
スポーツマネジメントコース						
必修講義・実習科目(14単位)						
スポーツマーケティング	2	2	★			
スポーツプログラム開発論	2	2	★			
スポーツ施設管理運営論	2	2	★			
マーケティング・リサーチ法	14	2	★	③		
地域スポーツ経営論	2	2	★			
スポーツマネジメント実践論	2	2	★			
インターンシップB	2	2	★			
アスレティックトレーニングコース						
必修講義科目(10単位)						
臨床スポーツ医学A(内科)	2	2	★			
臨床スポーツ医学B(整形外科)	2	2	★			
ストレッチ・コンディショニング理論	10	2	★	③		
実践トレーニング科学理論	2	2	★			
アスレティックリハビリテーション基礎	2	2	★			
必修実習科目(3単位)						
体力科学実験実習	3	2	★	③		
テーピング実習	1	1	★			
選択必修実習科目(1単位)						
実践トレーニング指導実習	1	1		③		
インターンシップA	1	1			③	
健康スポーツコース						
必修講義科目(10単位)						
臨床スポーツ医学A(内科)	2	2	★			
臨床スポーツ医学B(整形外科)	2	2	★			
健康指導管理論	10	2	★	③		
栄養管理	2	2	★			
スポーツ生理学Ⅱ	2	2	★			
必修実技科目(2単位)						
健康スポーツ実技A	2	1	★	③		
健康スポーツ実技B	2	1	★			
選択必修実習科目(2単位)						
運動プログラム作成法	2	2		③		
インターンシップB	2	2			③	
14						
キャリア教育科目(必修1単位以上)						
必修科目(1単位)						
キャリアデザインⅠ	1	1	★	②		
選択科目						
キャリアデザインⅡ	1	1		③		
1						

※健康スポーツコースは「インターンシップA」(資格関連科目)又は、「インターンシップB」のいずれかが必修です。

【免許について】

- 「★」・・・教職必修
- 「☆」・・・教職選択科目
- 「②」は選択必修科目

※教員免許以外の資格については「II 体育学部で取得できる各種資格」を確認してください。

【GPA対象科目】

- 卒業要件科目が対象ですが、下記科目は対象外です。
- 日本語技法
 - 統計基礎、統計実習Ⅰ・Ⅱ
 - 日本語技法演習(基礎)
 - 健康・スポーツマネジメント学演習Ⅰ・Ⅱ

【記号について】

- 「取得」は最低必要単位数を記載
 「★」は必修科目
 「②」は選択必修科目
 「配当」
 ①→1~4年次生が受講できる
 ②→2~4年次生が受講できる
 ③→3~4年次生が受講できる
 ④→4年次生が受講できる

【履修制限 48単位/年】

科目名	→ 48単位に含む
科目名	→ 48単位に含まない

【卒業要件単位 124単位】

単位数	→ 124単位に含む
単位数	→ 124単位に含まない

発展科目(必修22単位)						
必修講義科目(10単位)						
生涯スポーツ概論	2	2	★	①		
レジャー・レクリエーション概論	2	2	★			
健康・スポーツ産業論	10	2	★		②	
アスレティックトレーニング概論	2	2	★			
発育発達と老化	2	2	★			
必修演習科目(8単位)						
健康・スポーツマネジメント学演習Ⅰ	8	4	★	③		
健康・スポーツマネジメント学演習Ⅱ	4	4	★	④		
必修実技科目(4単位)						
トレーニング実技	4	1	★	②		
スポーツコンディショニング実習	4	1	★			
レクリエーションⅡ	2	2	★	③		
22						

科目名	取得	単位	必修	配当	免高	許中
関連科目(選択必修11単位以上)						
選択必修講義科目(8単位以上)						
運動部指導実践論		2		①		
障害者スポーツ概論		2				
スポーツと人類学		2		②		
スポーツカウンセリング		2				
スポーツ演習		4				
野外教育論		2				
衛生学(公衆衛生学を含む)		2			★	★
栄養管理		2				
アスレティックリハビリテーション基礎		2				
スポーツ事故法律論		2				
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全を含む)		2			★	★
救急処置 I		2			★	★
手話実習	8	2		③		
初級ピアノ実習		2				
教育史		2			☆	☆
スポーツメディア論		2				
体表解剖学		2				
健康スポーツ心理学		2				
スポーツ外傷・障害評価法		2				
企業フィットネス論		2				
英語講読		2				
人権教育		2			☆	☆
舞踊論		2		④		
身体表現とコミュニケーション		2				
卒業論文		4				
選択講義科目						
教師論		2		①	★	★
保健体育科教育法A		2		②	★	★
保健体育科教育法B		2			★	★
保健体育科学習指導論		2		③	★	★
選択必修実技科目(3単位以上)						
卓球		1				
ソフトテニス		1				
バドミントン		1				
ソフトボール		1				
ゴルフ		1				
体づくり運動		1		③		
エアロビックダンス		1				
障害者スポーツ		1				
レジスタンストレーニング		1				
なぎなたA		1				
なぎなたB		1				
野球		1				
実践英語実技		1				
ハンドボール		2				
ラグビー		2				
ダンスⅡ		2				
テニスⅡ		2				
サッカーⅡ		2				
バレーボールⅡ		2		④		
バスケットボールⅡ		2				
陸上競技Ⅱ	*	2				
器械運動Ⅱ		2				
水泳Ⅱ		2				
柔道Ⅱ		2				
剣道Ⅱ		2				
		11				

「教育史」
「人権教育」は教職
必修ではないが、
受講することが望
ましい。

選択必修講義科
目」の8単位には
含まない。
「保健体育科学習
指導論」は「教育
実習Ⅰ」の前提科
目のため、高校免
許のみの取得の
場合でも単位取得
の必要あり。

教職に関する専
門科目の「体育実
技指導法」に読み
替えられる実技科
目。

* 「〇〇Ⅱ」の科目(「ダンスⅡ」を除く)は、3年次
までに各実技「〇〇Ⅰ」科目の単位を修得した者
のみ履修可。
(ただし担当教員が認めた場合はその限りでない)

科目名	単位	配当	免高	許中
教職に関する専門科目				
教育原理	2	①	★	★
教育心理学	2		★	★
特別支援教育概論	2		★	★
教育課程編成論	2	②	★	★
道徳教育の理論と実践	2		★	★
教育行政	2		★	★
特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2		★	★
教育方法論	2	③	★	★
生徒・進路指導論	2		★	★
教育カウンセリングⅠ	2		★	★
教育実習Ⅰ	5		★	★
教職実践演習(中・高)	2	④	★	★
体育実技指導法	2		★	★

科目名	単位	配当	免高	許中
資格関連科目				
スポーツ教育学	2	②		
介護技術講義	2			★
労働概論	2			
労働法規	2			
レクリエーション指導実習	1			
アスレティックトレーニング実習	2			
アスレティックリハビリテーション理論	2	③		
アスレティックリハビリテーション実習	1			
健康運動指導演習	1			
インターンシップA	1			
障がい者スポーツ指導法	2			
コーチング論	2			
労働衛生	2			
救急処置Ⅱ	2			
スポーツコンディショニング実習Ⅱ	1			
スポーツ医学特講	1	④		
レクリエーションⅢ	2			
特別演習(テニス)	2			
特別演習(水泳)	2			

科目名	単位	配当	免高	許中
自由科目				
フレッシュマンセミナー	1			
スポーツ科学特別演習Ⅰ	2	①		
スポーツ科学特別演習Ⅱ	2			
スポーツ科学特別演習Ⅲ	2	②		

P47
参照

科目区分	最低修得単位数
【卒業要件】	
教養科目	20
基礎教育科目	8
基礎教育 必修	6
基礎教育 選択必修	2
一般教育科目	12
人文科学	4
社会科学	4
自然科学	4
専門基礎科目	42
講義 必修	27
実技	14
必修	12
選択必修	2
実習 選択必修	1
発展科目	22
講義 必修	10
演習 必修	8
実技 必修	4
応用科目	14
・スポーツマネジメントコース	14
講義・実習 必修	14
・アスレティックトレーニングコース	14
講義 必修	10
実習 必修	3
実習 選択必修	1
・健康スポーツコース	14
講義 必修	10
実技 必修	2
実習 選択必修	2
キャリア教育科目	1
講義 必修	1
関連科目	11
講義 選択必修	8
実技 選択必修	3
教養科目、関連科目、キャリア教育科 目、専門基礎科目(選択必修実技科 目)及び単位互換科目より選択し履修	14
合計(卒業要件単位)	124

2020年度入学生 スポーツ教育学科

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	高中
教養科目(必修6単位/選択14単位/計20単位以上)						
基礎教育科目(8単位以上)						
必修科目(3単位)						
日本語技法	3	2	★	①		
情報処理実習 I		1	★		★	★
選択必修科目(2単位以上)						
統計基礎	2	2				
統計実習 I	2	1	★	①		
統計実習 II		1				
選択科目						
日本語技法演習(基礎)		2				
日本語技法演習(応用)		2		①		
情報処理実習 II		1			★	★
必修科目(3単位)						
英語 I A	3	1	★		★	★
英語 I B		1	★	①	★	★
英語演習		1	★			
選択科目						
英語 II		1				
英語 III		1				
英会話 I		1				
英会話 II		1		②		
海外語学研修		1				
ドイツ語		1				
中国語		1				
一般教育科目(12単位以上)						
人文科学(2科目4単位以上)						
文学		2				
宗教学		2				
倫理学	4	2		①		
文化論		2				
哲学		2				
歴史学		2				
社会科学(2科目4単位以上)						
社会学		2				
経済学		2				
法学	4	2		①		
政治学		2				
日本国憲法		2			★	★
自然科学(2科目4単位以上)						
数学		2				
生物学		2				
心理学	4	2		①		
物理		2				
化学		2				
	20					

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	高中
専門基礎科目(必修39単位/選択必修3単位/計42単位以上)						
必修講義科目(27単位)						
スポーツ社会学		2	★		★	★
機能解剖学		2	★		★	★
スポーツ生理学 I		2	★	①	★	★
体カトレーニング論・同実習		3	★		★	★
スポーツ測定評価		2	★		★	★
スポーツ史		2	★		★	★
スポーツ経営学	27	2	★			
スポーツ心理学		2	★		★	★
スポーツ栄養学		2	★	②		
スポーツ医学		2	★		★	★
バイオメカニクス		2	★		★	★
運動学		2	★		★	★
体育原論		2	★	③	★	★
必修実技科目(12単位)						
陸上競技 I		2	★		★	★
器械運動 I		2	★	①	★	★
水泳 I		2	★		★	★
レクリエーション I	12	2	★			
バスケットボール I		1	★		★	★
バレーボール I		1	★	②	★	★
サッカー I		1	★		★	★
テニス I		1	★		★	★
選択必修実技科目(2単位以上)						
ダンス I A		1	1		★	★
柔道 I A		1	1	②	★	★
剣道 I A		1	1		★	★
ダンス I B		1	1			
柔道 I B		1	1	②		
剣道 I B		1	1			
選択必修実習科目(1単位)						
スキー実習		1		①		
キャンプ実習 A		1		②		
海洋スポーツキャンプ実習		1				
臨海実習	1	1	★	③		
ゴルフ実習		1				
キャンプ実習 B		1		④		
野外活動基礎実習		1				
	42					

※柔道 I A、剣道 I Aの両方は履修できません。
 また、柔道 I B・剣道 I Bは、それぞれ柔道 I A・
 剣道 I Aの単位を取得した者のみ履修可。(ただし、
 担当教員が認めた場合はその限りでない)。
 ※専門基礎科目における選択必修実習科目にお
 いては、複数履修しても卒業所要単位としてカウ
 ントされるのは1単位のみ。

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	高中
応用科目(各コース14単位)						
コーチ教育コース						
講義・実習科目(10単位)						
コーチング論		2	★			
スポーツ文化論		2	★			
トレーナー論	10	2	★	③		
コーチング法		2	★			
トレーナー実習		1	★			
コーチング実習		1	★			
選択講義科目(4単位以上)						
スポーツ技術・戦術論		2				
コーチングの心理学		2				
競技スポーツ論		2				
武道・稽古・修行論	4	2		③		
トレーニング計画		2				
動作分析法		2				
体育科教育コース						
必修講義科目(10単位)						
体育科教育学		2	★			
授業研究 I A(体育)		2	★			
授業研究 I B(保健)	10	2	★	③		
教育カウンセリング II		2	★			
保健体育教職特講		1	★			
インターンシップ A		1	★			
実技科目(4単位)						
教職ダンス		2	★			
柔道 I AB	4	2	★	③		
剣道 I AB		2	★			
スポーツ心理・カウンセリングコース						
必修講義科目(12単位)						
認知・行動分析論		2	★			
運動学習論		2	★			
コミュニティダンス論	12	2	★	③		
コーチングの心理学		2	★			
教育カウンセリング II		2	★			
スポーツ心理学実験実習		2	★			
必修科目(2単位)						
インターンシップ B		2	★	③		
	14					

キャリア教育科目(必修1単位以上)						
必修科目(1単位)						
キャリアデザイン I	1	1	★	②		
選択科目						
キャリアデザイン II		1		③		
	1					

【記号について】

- 「取得」は最低必要単位数を記載
- 「★」は必修科目
- 「☆」は選択必修科目
- 「⊕」は配当
- ①→1~4年次生が受講できる
- ②→2~4年次生が受講できる
- ③→3~4年次生が受講できる
- ④→4年次生が受講できる

【履修制限 48単位/年】

科目名	→48単位に含む
科目名	→48単位に含まない

【卒業要件単位 124単位】

単位数	→124単位に含む
単位数	→124単位に含まない

【発展科目(必修/計20単位)】

必修講義科目(10単位)						
スポーツ教育学		2	★			
国際スポーツ論		2	★	②		
スポーツメンタルトレーニング指導論	10	2	★			
発育発達論		2	★			
スポーツ科学とコーチング		2	★	③		
必修演習科目(8単位)						
スポーツ教育学演習 I		4	★	③		
スポーツ教育学演習 II	8	4	★	④		
必修実技科目(2単位)						
ハンドボール I		1	★			
ラグビー I(男子のみ)	2	1	★	②		
ソフトボール(女子のみ)		1	★			
	20					

【免許について】

- 「★」・・・教職必修
- 「☆」・・・教職選択科目
- 「⊕」は選択必修科目
- ※教員免許以外の資格については「II 体育学部で取得できる各種資格」を確認してください。

【GPA対象科目】

- 卒業要件科目が対象ですが、下記科目は対象外です。
- 日本語技法
- 統計基礎、統計実習 I・II
- 日本語技法演習(基礎)
- スポーツ教育学演習 I・II

科目名	取得	単位	必修	配当	免高	許中
関連科目(選択必修13単位以上)						
選択必修講義科目(10単位以上)						
運動部指導実践論		2		①		
障害者スポーツ概論		2				
スポーツと人類学		2		②		
スポーツカウンセリング		2				
スポーツ演習		4				
野外教育論		2				
衛生学(公衆衛生学を含む)		2			★	★
アスレティックリハビリテーション基礎		2				
スポーツ事故法律論		2				
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全を含む)		2			★	★
救急処置 I		2			★	★
手話実習		2		③		
初級ピアノ実習		2				
レジャー・レクリエーション概論	10	2				
トレーニング計画		2				
教育史		2			☆	☆
スポーツメディア論		2				
トレーナー実習		1				
健康スポーツ心理学		2				
企業フィットネス論		2				
英語講読		2				
人権教育		2			☆	☆
舞踊論		2				
武道論		2		④		
身体表現とコミュニケーション		2				
卒業論文		4				
選択講義科目						
教師論		2		①	★	★
保健体育科教育法A		2		②	★	★
保健体育科教育法B		2			★	★
保健体育科学習指導論		2		③	★	★
選択必修実技科目(3単位以上)						
卓球		1				
ソフトテニス		1				
バドミントン		1				
ソフトボール(男子のみ)		1				
ラグビー(女子のみ)		1				
ゴルフ		1				
体づくり運動		1				
リズムダンス		1		③		
障害者スポーツ		1				
レジスタンストレーニング		1				
武道の形		2				
なぎなたA		1				
なぎなたB		1				
野球	3	1				
レクリエーションII *		2				
ダンスII		2				
テニスII		2				
サッカーII		2				
バレーボールII		2				
バスケットボールII		2				
ハンドボールII *		2		④		
ラグビーII		2				
陸上競技II		2				
器械運動II		2				
水泳II		2				
柔道II		2				
剣道II		2				
		13				

「教育史」「人権教育」は教職必修ではないが、受講することが望ましい。

選択必修講義科目の10単位には含まない。「保健体育科学習指導論」は「教育実習I」の前提科目のため、高校免許のみの取得の場合でも単位取得の必要あり。

教職に関する専門科目の「体育実技指導法」に読み替えられる実技科目。

* 「〇〇II」の科目(「ダンスII」を除く)は、3年次までに各実技「〇〇I」科目の単位を修得した者のみ履修可。(ただし担当教員が認めた場合はその限りでない)

科目名	単位	配当	免高	許中
教職に関する専門科目				
教育原理	2	①	★	★
教育心理学	2		★	★
特別支援教育概論	2		★	★
教育課程編成論	2	②	★	★
道德教育の理論と実践	2		★	★
教育行政	2		★	★
特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2		★	★
教育方法論	2	③	★	★
生徒・進路指導論	2		★	★
教育カウンセリング I	2		★	★
教育実習 I	5		★	★
教職実践演習(中・高)	2	④	★	★
体育実技指導法	2		★	★

資格関連科目				
レクリエーション指導実習	1			
介護技術講義	2	③		★
障がい者スポーツ指導法	2			
レクリエーションIII	2			
特別演習(サッカー)	2		④	
特別演習(テニス)	2			
特別演習(水泳)	2			

自由科目				
フレッシュマンセミナー	1			
スポーツ科学特別演習 I	2	①		
スポーツ科学特別演習 II	2			
スポーツ科学特別演習 III	2	②		

P47参照

【卒業要件】

科目区分	最低修得単位数
教養科目	20
基礎教育科目	8
基礎教育 必修	6
基礎教育 選択必修	2
一般教育科目	12
人文 選択必修	4
社会 選択必修	4
自然 選択必修	4
専門基礎科目	42
講義 必修	27
実技	14
必修	12
選択必修	2
実習 選択必修	1
発展科目	20
講義 必修	10
演習 必修	8
実技 必修	2
応用科目	14
・コーチ教育コース	14
講義・実習 必修	10
講義 選択必修	4
・体育科教育コース	14
講義 必修	10
実技 選択必修	4
・スポーツ心理・カウンセリングコース	14
講義 必修	12
実習 必修	2
キャリア教育科目	1
講義 必修	1
関連科目	13
講義 選択必修	10
実技 選択必修	3
教養科目、関連科目、キャリア教育科目、専門基礎科目(選択必修実技科目)及び応用科目(選択講義科目:コーチ教育コースのみ)及び単位互換科目より選択し履修	14
合計(卒業要件単位)	124

2020年度入学生 健康・スポーツマネジメント学科

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許
教養科目(必修6単位/選択14単位/計20単位以上)						
基礎教育科目(8単位以上)						
必修科目(3単位)						
日本語技法	3	2	★	①		
情報処理実習Ⅰ		1	★		★	★
選択必修科目(2単位以上)						
統計基礎	2	2	④			
統計実習Ⅰ	2	1	①			
統計実習Ⅱ		1				
選択科目						
日本語技法演習(基礎)		2				
日本語技法演習(応用)		2	①			
情報処理実習Ⅱ		1			★	★
必修科目(3単位)						
英語ⅠA	3	1	★		★	★
英語ⅠB		1	★	①		★
英語演習		1	★			
選択科目						
英語Ⅱ		1				
英語Ⅲ		1				
英会話Ⅰ		1				
英会話Ⅱ		1	②			
海外語学研修		1				
ドイツ語		1				
中国語		1				
一般教育科目(12単位以上)						
人文科学(2科目4単位以上)						
文学	2					
宗教学	2					
倫理学	2		①			
文化論	2					
哲学	2					
歴史学	2					
社会科学(2科目4単位以上)						
社会学	2					
経済学	2					
法学	2		①			
政治学	2					
日本国憲法	2				★	★
自然科学(2科目4単位以上)						
数学	2					
生物学	2					
心理学	2		①			
物理	2					
化学	2					
20						

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許
専門基礎科目(必修39単位/選択必修3単位/計42単位以上)						
必修講義科目(27単位)						
スポーツ社会学	2	2	★		★	★
機能解剖学	2	2	★		★	★
スポーツ生理学Ⅰ	2	2	★	①	★	★
体カトレーニング論・同実習	3	2	★		★	★
スポーツ測定評価	2	2	★		★	★
スポーツ史	2	2	★		★	★
スポーツ経営学	2	2	★		★	★
スポーツ心理学	2	2	★		★	★
スポーツ栄養学	2	2	★	②		
スポーツ医学	2	2	★		★	★
バイオメカニクス	2	2	★		★	★
運動学	2	2	★		★	★
体育原論	2	2	★	③	★	★
必修実技科目(12単位)						
陸上競技Ⅰ	2	2	★		★	★
器械運動Ⅰ	2	2	★	①	★	★
水泳Ⅰ	2	2	★		★	★
レクリエーションⅠ	2	2	★			
バスケットボールⅠ	1	1	★		★	★
バレーボールⅠ	1	1	★		★	★
サッカーⅠ	1	1	★	②	★	★
テニスⅠ	1	1	★		★	★
選択必修実技科目(2単位以上)						
ダンスⅠA	1	1	★		★	★
柔道ⅠA	1	1	★	②	★	★
剣道ⅠA	1	1	★		★	★
ダンスⅠB	1	1	★			
柔道ⅠB	1	1	★	②		
剣道ⅠB	1	1	★			
選択必修実習科目(1単位)						
スキー実習	1	1		①		
キャンプ実習A	1	1		②		
海洋スポーツキャンプ実習	1	1				
臨海実習	1	1	★	③		
ゴルフ実習	1	1				
キャンプ実習B	1	1				
野外活動基礎実習	1	1		④		
42						

※柔道ⅠA、剣道ⅠAの両方は履修できません。また、柔道ⅠB・剣道ⅠBは、それぞれ柔道ⅠA・剣道ⅠAの単位を取得した者のみ履修可。(ただし、担当教員が認めた場合はその限りでない)。

※専門基礎科目における選択必修実習科目においては、複数履修しても卒業所要単位としてカウントされるのは1単位のみ。

※スポーツマネジメントコースは「海洋スポーツキャンプ実習」が必修となります。

科目名	取得	単位	必修	配当	免許	許
応用科目(各コース14単位)						
スポーツマネジメントコース						
必修講義・実習科目(14単位)						
スポーツマーケティング	2	2	★			
スポーツプログラム開発論	2	2	★			
スポーツ施設管理運営論	2	2	★			
マーケティング・リサーチ法	14	2	★	③		
地域スポーツ経営論	2	2	★			
スポーツマネジメント実践論	2	2	★			
インターンシップB	2	2	★			
アスレティックトレーニングコース						
必修講義科目(10単位)						
臨床スポーツ医学A(内科)	2	2	★			
臨床スポーツ医学B(整形外科)	2	2	★			
ストレンクス・コンディショニング理論	10	2	★	③		
実践トレーニング科学理論	2	2	★			
アスレティックリハビリテーション基礎	2	2	★			
必修実習科目(3単位)						
体カ科学実験実習	3	2	★	③		
テーピング実習	1	1	★			
選択必修実習科目(1単位)						
実践トレーニング指導実習	1	1		③		
インターンシップA	1	1				
健康スポーツコース						
必修講義科目(10単位)						
臨床スポーツ医学A(内科)	2	2	★			
臨床スポーツ医学B(整形外科)	2	2	★			
健康指導管理論	10	2	★	③		
栄養管理	2	2	★			
スポーツ生理学Ⅱ	2	2	★			
必修実技科目(2単位)						
健康スポーツ実技A	2	1	★	③		
健康スポーツ実技B	1	1	★			
選択必修実習科目(2単位)						
運動プログラム作成法	2	2		③		
インターンシップB	2	2				
14						

キャリア教育科目(必修1単位以上)						
必修科目(1単位)						
キャリアデザインⅠ	1	1	★	②		
選択科目						
キャリアデザインⅡ		1		③		
1						

※健康スポーツコースは「インターンシップA」(資格関連科目)又は、「インターンシップB」のいずれかが必修です。

【免許について】

- 「★」・・・教職必修
- 「☆」・・・教職選択科目
- 「④」は選択必修科目

※教員免許以外の資格については「Ⅱ 体育学部で取得できる各種資格」を確認してください。

【GPA対象科目】

卒業要件科目が対象ですが、下記科目は対象外です。

- 日本語技法
- 統計基礎、統計実習Ⅰ・Ⅱ
- 日本語技法演習(基礎)
- 健康・スポーツマネジメント学演習Ⅰ・Ⅱ

【記号について】

「取得」は最低必要単位数を記載

「★」は必修科目

「④」は選択必修科目

「配当」

- ①→1～4年次生が受講できる
- ②→2～4年次生が受講できる
- ③→3～4年次生が受講できる
- ④→4年次生が受講できる

【履修制限 48単位/年】

科目名	→ 48単位に含む
科目名	→ 48単位に含まない

【卒業要件単位 124単位】

単位数	→ 124単位に含む
単位数	→ 124単位に含まない

発展科目(必修22単位)						
必修講義科目(10単位)						
生涯スポーツ概論	2	2	★	①		
レジャー・レクリエーション概論	2	2	★			
健康・スポーツ産業論	10	2	★		②	
アスレティックトレーニング概論	2	2	★			
発育発達と老化	2	2	★			
必修演習科目(8単位)						
健康・スポーツマネジメント学演習Ⅰ	8	4	★	③		
健康・スポーツマネジメント学演習Ⅱ	4	4	★	④		
必修実技科目(4単位)						
トレーニング実技	4	1	★		②	
スポーツコンディショニング実習	1	1	★			
レクリエーションⅡ	2	2	★	③		
22						

科目名	取得	単位	必修	配当	免高	許中
関連科目(選択必修11単位以上)						
選択必修講義科目(8単位以上)						
運動部指導実践論		2		①		
障害者スポーツ概論		2				
スポーツと人類学		2		②		
スポーツカウンセリング		2				
スポーツ演習		4				
野外教育論		2				
衛生学(公衆衛生学を含む)		2			★	★
栄養管理		2				
アスレティックリハビリテーション基礎		2				
スポーツ事故法律論		2				
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全を含む)		2			★	★
救急処置 I		2		③	★	★
手話実習	8	2				
初級ピアノ実習		2				
教育史		2			☆	☆
スポーツメディア論		2				
体表解剖学		2				
健康スポーツ心理学		2				
スポーツ外傷・障害評価法		2				
企業フィットネス論		2				
英語講読		2				
人権教育		2			☆	☆
舞踊論		2		④		
身体表現とコミュニケーション		2				
卒業論文		4				
選択必修実技科目(3単位以上)						
卓球		1				
ソフトテニス		1				
バドミントン		1				
ソフトボール		1				
ゴルフ		1				
体づくり運動		1		③		
エアロビックダンス		1				
障害者スポーツ		1				
レジスタンストレーニング		1				
なぎなたA		1				
なぎなたB		1				
野球	3	1				
ハンドボール		2				
ラグビー		2				
ダンスⅡ		2				
テニスⅡ		2				
サッカーⅡ		2				
バレーボールⅡ		2		④		
バスケットボールⅡ		2				
陸上競技Ⅱ	*	2				
器械運動Ⅱ		2				
水泳Ⅱ		2				
柔道Ⅱ		2				
剣道Ⅱ		2				
		11				

「教育史」
「人権教育」は教職
必修ではないが、
受講することが望
ましい。

選択必修講義科
目の8単位には含
まない。
「保健体育科学習
指導論」は「教育
実習Ⅰ」の前提科
目のため、高校免
許のみの取得の
場合でも単位取得
の必要あり。

教職に関する専門
科目の「体育実技
指導法」に読み替
えられる実技科
目。

* 「〇〇Ⅱ」の科目(「ダンスⅡ」を除く)は、3年次
までに各実技「〇〇Ⅰ」科目の単位を修得した者
のみ履修可。
(ただし担当教員が認めた場合はその限りでない)

科目名	単位	配当	免高	許中
教職に関する専門科目				
教育原理	2		★	★
教育心理学	2	①	★	★
特別支援教育概論	2		★	★
教育課程編成論	2	②	★	★
道徳教育の理論と実践	2		★	★
教育行政	2		★	★
特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2		★	★
教育方法論	2	③	★	★
生徒・進路指導論	2		★	★
教育カウンセリングⅠ	2		★	★
教育実習Ⅰ	5		★	★
教職実践演習(中・高)	2	④	★	★
体育実技指導法	2		★	★

資格関連科目				
介護技術講義	2			★
労働概論	2			
労働法規	2			
レクリエーション指導実習	1			
アスレティックトレーニング実習	2		③	
アスレティックリハビリテーション理論	2			
アスレティックリハビリテーション実習	1			
健康運動指導演習	1			
インターンシップA	1			
障がい者スポーツ指導法	2			
労働衛生	2			
救急処置Ⅱ	2			
スポーツコンディショニング実習Ⅱ	1			
スポーツ医学特講	1	④		
レクリエーションⅢ	2			
特別演習(テニス)	2			
特別演習(水泳)	2			

自由科目				
フレッシュマンセミナー	1			
スポーツ科学特別演習Ⅰ	2	①		
スポーツ科学特別演習Ⅱ	2			
スポーツ科学特別演習Ⅲ	2	②		

P47
参照

【卒業要件】

科目区分	最低修得単位数
教養科目	20
基礎教育科目	8
基礎教育 必修	6
基礎教育 選択必修	2
一般教育科目	12
人文科学	4
社会科学	4
自然科学	4
専門基礎科目	42
講義 必修	27
実技	14
必修	12
選択必修	2
実習 選択必修	1
発展科目	22
講義 必修	10
演習 必修	8
実技 必修	4
応用科目	14
・スポーツマネジメントコース	14
講義・実習 必修	14
・アスレティックトレーニングコース	14
講義 必修	10
実習 必修	3
実習 選択必修	1
・健康スポーツコース	14
講義 必修	10
実技 必修	2
実習 選択必修	2
キャリア教育科目	1
講義 必修	1
関連科目	11
講義 選択必修	8
実技 選択必修	3
教養科目、関連科目、キャリア教育科 目、専門基礎科目(選択必修実技科 目)及び単位互換科目より選択履修	14
合計(卒業要件単位)	124

第2部(体育学部)

~ MEMO ~

IV 教育学部での履修

1 教育学部の目的・教育目標

教育学部は、幼稚園、小学校、中学校（保健体育）、高等学校（保健体育）、特別支援学校の教員養成を行う学部です。

教育学部の教育目標は次のとおりです。

教育学部では、幅広い教養と教育に関する専門的な知識及び技能に基づき、未来を担う幼児、児童生徒の豊かな人間性、確かな学力、健やかな身体をはぐくみ、変化の激しい時代を生き抜く力を身につけさせることができる教員の養成を目標とし、以下のとおり定める。

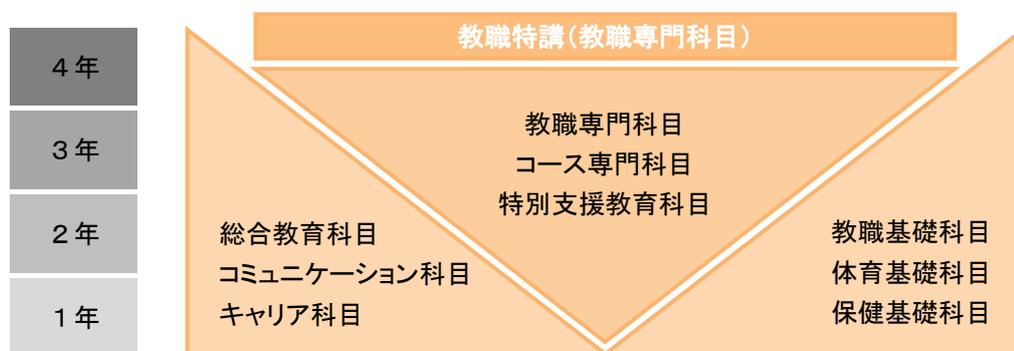
- (1) 豊かな教養を修め、広い見識を持つ。
- (2) 教職に必要な基礎的・専門的知識と技能を身につける。
- (3) 幼児、児童生徒の理解を踏まえた実践的な指導力を身につける。
- (4) 教育への熱意と使命感、責任感、学び続ける意欲を養う。
- (5) 豊かな人間性と社会性、倫理観を養う。

2 カリキュラムの構成

教育学部の授業科目は次の区分で構成し、基礎から専門を4年間で学びます。授業科目の受講は、学年やコースごとに指定していますので、履修登録に際しては注意してください。

【科目区分】

- (1) [基礎科目] 総合教育科目、コミュニケーション科目、教職基礎科目、体育基礎科目、保健基礎科目
- (2) [専門科目] 教職専門科目、小学校教育・保健体育教育・幼児教育・特別支援教育コース専門科目、共通基礎科目、共通専門科目
- (3) [キャリア科目] キャリア科目



教育学部のカリキュラムは、教員として必要な知識や技術が修得できるよう、それぞれの科目が内容の濃いものとなっています。このため、予習や復習を行わないとついていけない場合がありますのでしっかり学習をするように心掛けてください。

※「教育実習A」のように科目名の後ろにつくA、B、Cは、Aは小学校、Bは中学校・高等学校（保健体育）、Cは特別支援教育に関する科目であることを表しています。（2021年度以前入学生）

※「国語科概論Ⅰ」「国語科概論Ⅱ」のⅠ、Ⅱや「英語Ⅰa」「英語Ⅰb」のa、bは科目の順序性を示しています。Ⅰの科目とⅡの科目、aの科目とbの科目は前提科目ではありませんが、Ⅰ又はaの内容を修得していないとⅡ又はbの授業内容がわからなくなる場合がありますので、しっかり学習して修得するように心掛けてください。（2022年度以前入学生）

（一部の科目は前提科目となっています。P101 参照）

※実習・実技科目及び外国語に関する科目の授業時間数は30時間の授業をもって1単位としています。

3 卒業要件

教育学部教育学科の卒業単位は124単位ですが、科目区分ごとの最低修得単位数も修得していなければなりません(コースにより単位数が異なります)。詳細は次のとおりですので注意してください。

(1) 卒業には次の2つの条件を満たしていることが必要となります。

- ① 本学に4年間在学していること(休学期間は含まれません)
- ② 卒業に必要な単位数を修得していること

(2) 卒業所要単位に含まれない科目は、以下の通りです。

「音楽実技」「書写実技」「図画工作実技」「学校インターンシップA」「学校インターンシップB」「学校インターンシップC」「キャリアデザインI」「キャリアデザインII」「学校インターンシップ(初等)」「学校インターンシップ(中等)」「学校インターンシップ(特別支援)」

【小学校教育コース】

[2023年度入学生]

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位(以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	2	—	—	—	2
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	22	—	10	—	32
専門科目	教職専門科目	12	—	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	40	40
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	幼児教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	特別支援教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	2	—	—	—	2
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	22	—	—	40	62	
基礎科目及び専門科目の選択科目及び単位互換科目から修得が必要な単位数		—	—	—	28	28
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

【保健体育教育コース】

[2023 年度入学生]

科目区分		必修	選択 必修	選択	コース 必修	最低修得単位 (以上)
基礎 科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	2	—	—	—	2
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	22	—	10	—	32
専門 科目	教職専門科目	12	—	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	保健体育教育コース専門科目	—	6	—	18	24
	幼児教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	特別支援教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	2	—	—	—	2
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	22	6	—	18	46	
基礎科目及び専門科目の選択科目及び単位互換科目から修得が必要な単位数		—	—	—	44	44
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		1 2 4 単位				

【幼児教育コース】

[2023 年度入学生]

科目区分		必修	選択 必修	選択	コース 必修	最低修得単位 (以上)
基礎 科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	2	—	—	—	2
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	22	—	10	—	32
専門 科目	教職専門科目	10	—	—	—	10
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	幼児教育コース専門科目	—	—	—	24	24
	特別支援教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	2	—	—	—	2
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	20	—	—	24	44	
基礎科目及び専門科目の選択科目及び単位互換科目から修得が必要な単位数		—	—	—	46	46
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		1 2 4 単位				

【小学校教育コース】

[2022年度入学生]

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位 (以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	2	—	4	—	6
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	22	—	14	—	36
専門科目	教職専門科目	12	—	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	48	48
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	特別支援教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	4	—	—	—	4
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	24	—	—	48	72	
基礎科目及び専門科目の選択科目及び単位互換科目から修得が必要な単位数		—	—	—	14	14
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

【保健体育教育コース】

[2022年度入学生]

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位 (以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	2	—	4	—	6
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	22	—	14	—	36
専門科目	教職専門科目	12	—	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	28	28
	特別支援教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	4	—	—	—	4
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	24	—	—	28	52	
基礎科目及び専門科目の選択科目及び単位互換科目から修得が必要な単位数		—	—	—	34	34
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

【小学校教育コース】

[2021年度入学生]

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位 (以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	2	—	4	—	6
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	22	—	14	—	36
専門科目	教職専門科目	4	8	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	48	48
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	特別支援教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	4	—	—	—	4
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	16	8	—	48	72	
基礎科目及び専門科目の選択科目及び単位互換科目から修得が必要な単位数		—	—	—	14	14
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

【保健体育教育コース】

[2021年度入学生]

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位 (以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	2	—	4	—	6
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	22	—	14	—	36
専門科目	教職専門科目	4	8	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	28	28
	特別支援教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	4	—	—	—	4
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	16	8	—	28	52	
基礎科目及び専門科目の選択科目及び単位互換科目から修得が必要な単位数		—	—	—	34	34
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

【小学校教育コース】

[2019・2020年度入学生]

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位 (以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	8	1	—	—	9
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	28	1	10	—	39
専門科目	教職専門科目	4	8	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	48	48
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	特別支援教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	4	—	—	—	4
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	16	8	—	48	72	
基礎科目及び専門科目の選択科目及び単位互換科目から修得が必要な単位数		—	—	—	11	11
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

【保健体育教育コース】

[2019・2020年度入学生]

科目区分		必修	選択必修	選択	コース必修	最低修得単位 (以上)
基礎科目	総合教育科目	4	—	4	—	8
	コミュニケーション科目	4	—	2	—	6
	教職基礎科目	12	—	—	—	12
	体育基礎科目	8	1	—	—	9
	保健基礎科目	—	—	4	—	4
	計	28	1	10	—	39
専門科目	教職専門科目	4	8	—	—	12
	小学校教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	保健体育教育コース専門科目	—	—	—	28	28
	幼児教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	特別支援教育コース専門科目	—	—	—	—	—
	共通基礎科目	4	—	—	—	4
	共通専門科目	8	—	—	—	8
計	16	8	—	28	52	
基礎科目及び専門科目の選択科目及び単位互換科目から修得が必要な単位数		—	—	—	31	31
キャリア科目		2	—	—	—	2
卒業所要単位		124単位				

4 コース選択

- ・2年次に小学校教育、保健体育教育、幼児教育（2023年度入学生のみ）のいずれかのコースを選択します。
- ・さらに、特別支援学校教諭一種免許状の取得を希望する学生には特別支援教育コースで学びを深めることができます。
- ・詳細については別途案内します。

5 履修登録の上限

1年間に履修できる単位数の上限（CAP）は48単位です。履修登録にあたっては4年間の履修計画を立て、間違いのないよう注意してください。

ただし、前年度成績（GPA）が3.0以上である場合、当該年度の1年間に履修できる単位数を52単位とします。

CAP対象外科目は以下のとおりですので、48単位を超えてこれらの科目は履修できません。

「音楽実技」「書写実技」「図画工作実技」「学校インターンシップ」「学校インターンシップA」「学校インターンシップB」「学校インターンシップC」「キャリアデザインI」「キャリアデザインII」「野外活動実習I（夏季）」「野外活動実習II（冬季）」「アダプテッド・スポーツ実習」「介護等体験（事前事後指導を含む）」「教育実習A」「教育実習B」「教育実習C」「教職実践演習（初等・中等）」「基礎演習I」「基礎演習II」「専門演習I」「専門演習II（卒業論文を含む）」「学校インターンシップ（初等）」「学校インターンシップ（中等）」「学校インターンシップ（特別支援）」「基礎演習」「教育実習（初等）」「教育実習（中等）」「教育実習（幼稚園）」「教育実習（特別支援）」「保育実習I（施設）」「保育実習指導I（施設）」「保育実習I（保育所）」「保育実習指導I（保育所）」「保育実習II」「保育実習指導II」「保育実習III」「保育実習指導III」「社会的養護演習」「保育実践演習」「教職実践演習（幼稚園・初等・中等）」

6 前提科目

科目を履修するにあたり、その前の学期までに既に単位を修得しているか、履修登録をしていなければ受講できない科目があり、これを前提科目とといいます。

教育学部では次の科目に前提科目を設けていますので注意してください。変更、追加があれば別途掲示します。

科 目	前提科目
中国語 b	中国語 a を修得していること
手話 b	手話 a を修得していること
応用実技（陸上競技Ⅱ）、（水泳Ⅱ）、（器械運動Ⅱ）、（柔道Ⅱ）、（剣道Ⅱ）、（ダンスⅡ）	それぞれ体育実技の（陸上競技Ⅰ）、（水泳Ⅰ）、（器械運動Ⅰ）、（柔道Ⅰ）、（剣道Ⅰ）、（ダンスⅠ）を修得していること
学校インターンシップ A、B、C 学校インターンシップ（初等）、（中等）、（特別支援）	学校インターンシップを修得していること
教育実習 A、B、C 教育実習（初等）、（中等）、（幼稚園）（特別支援）	P108～P124 参照
保育実習Ⅰ（施設）、（保育所） 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	それぞれの保育実習指導を履修していること

7 GPAの活用対象外科目

GPA (Grade Point Average) の対象外科目は以下のとおりです。

「音楽実技」「書写実技」「図画工作実技」「学校インターンシップA」「学校インターンシップB」「学校インターンシップC」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「教育実習A」「教育実習B」「教育実習C」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ (卒業論文を含む)」「学校インターンシップ (初等)」「学校インターンシップ (中等)」「学校インターンシップ (特別支援)」「基礎演習」「教育実習 (初等)」「教育実習 (中等)」「教育実習 (幼稚園)」「教育実習 (特別支援)」「保育実習Ⅰ (施設)」「保育実習指導Ⅰ (施設)」「保育実習Ⅰ (保育所)」「保育実習指導Ⅰ (保育所)」「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅲ」「保育実習指導Ⅲ」「社会的養護演習」「保育実践演習」

GPAは、学業優秀者表彰や、履修人数に制限がある科目の履修者選考の参考にする場合があるので、高い水準を獲得できるよう努めてください。

8 副専攻免許

保幼小連携、小中連携や中高一貫、通常学級での特別支援教育の必要性が課題になっている中で、教育学部は、複数の免許が取得できることを特色のひとつにしている全国でも数少ない私立大学の学部です。

(1) 小学校教育コース

主専攻免許の小学校教諭一種免許状のほか、副専攻免許として幼稚園教諭一種免許状 (2023年度入学生のみ)・中学校教諭一種免許状 (保健体育)・高等学校教諭一種免許状 (保健体育)・特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者領域・肢体不自由者領域・病弱者領域 (身体虚弱者を含む。)) (以下「知・肢・病」という。) を取得することができます。

(2) 保健体育教育コース

主専攻免許の中学校教諭一種免許状 (保健体育)・高等学校教諭一種免許状 (保健体育) のほか、副専攻免許として幼稚園教諭一種免許状 (2023年度入学生のみ)・小学校教諭一種免許状 (2023年度入学生のみ)・特別支援学校教諭一種免許状 (知・肢・病) を取得することができます。

(3) 幼児教育コース ※2023年度入学生

主専攻免許の幼稚園教諭一種免許状のほか、副専攻免許として小学校教諭一種免許状・中学校教諭一種免許状 (保健体育)・高等学校教諭一種免許状 (保健体育)・特別支援学校教諭一種免許状 (知・肢・病) を取得することができます。

(4) 特別支援教育コース ※2021年度以降入学生

小学校教育コース、保健体育教育コースまたは幼児教育コース (2023年度入学生のみ) を選択したうえで、副専攻免許として、特別支援学校教諭一種免許状 (知・肢・病) を取得することができます。

(5) 受講の条件

【2019年度以降入学生】

副専攻免許科目の取得を希望する者は、2年次終了までに「教職論」「教育原論」「学校教育心理学」を含む講義科目を16単位以上修得した者に限り履修を許可します。

9 履修における留意事項

(1) 出席の重要性

本学では、授業の出席状況を重視しています。全15回出席（通年科目の場合は30回）が原則ですが、欠席が多くなると単位を修得できないこともありますので注意してください。

(2) 授業の欠席限度（成績評価の対象となる出席率）

教育学部では、幼・小・中・高・特別支援学校の教員に必要な知識及び指導法等の修得を目的とし、1回1回の授業が教員になるために必要な内容となっています。

このため成績評価では、出席状況を重視するとともに、授業だけでなく、実技ノートの作成や、予習・復習にも積極的に取り組み、意欲的に学ぶことが重要ですので、つぎの事項に十分留意し、併せて、科目担当教員からの注意事項をよく聞き受講してください。

①単位修得に必要な出席率は実施授業回数の80%以上としています。

各学期（前期・後期）で80%を下回った時、直ちに授業担当教員のもとに出向き、指示を受けてください。

②遅刻・早退・見学は次のとおりとします。

遅刻・・・授業開始後20分までを遅刻として取扱い、0.5の出席とする。

それ以降の受講は認めない。

早退・・・0.5の出席とする。

見学・・・0.5の出席とする。（長期の場合は診断書を提出すること）

(3) その他の理由により履修が困難な場合

心身の状態により、履修不可能な状態となった場合は、教学部教務担当まで相談に来てください。

(4) 授業時に服装を指定されている場合は必ず着用してください。他の服装の場合は、授業担当教員の許可を得てください。

10 試験

試験については第1部（大阪体育大学学修要領）で記載していますが、定期試験期間以外に授業内で行う小テストやレポートなどがありますので、やむを得ず欠席した場合には担当教員に相談し、指導を受けるようにしてください。

(1) 追試験

定期試験及び授業内試験を受験できなかった場合、次の各号に該当する場合は教授会の承認を得たうえで追試験を受けることができます。

①2親等以内の親族の死亡（父母、祖父母、兄弟姉妹）

②病気・ケガにより受験できなかった者

③教授会が許可した実習、研修会及び競技会等にレギュラーメンバー及び役員として出場する者

④その他やむを得ない事由により受験できなかった者

追試験を受けようとする者は、事前に次の書類を添えた「追試験願」を教学部教務担当に提出してください。ただし、やむを得ない時は試験終了後、7日以内に教学部教務担当に提出してください。

①の場合は担任教員の事由承認印のあるもの

②の場合は医師の診断書又は担任教員の事由承認印のあるもの

③の場合は部長又は監督の承認印のあるもの

④の場合は担任教員の事由承認印のあるもの

1 1 年間15単位未満修得者の取扱

教育学部では、進級条件は設けていません。学業不振の場合、学則第35条第6号で「当該年度に履修した授業科目につき15単位以上を修得できない者は、除籍する」と規定していますが、教育学部では次のとおり取り扱いますので注意してください。

(1) 1、2年次生

- ①学年終了時に15単位以上を修得できない場合、当該学生並びに保証人あてに「除籍警告書」の文書を送付します。
- ②「除籍警告書」を受け取った学生は、学修を継続する意思がある場合、指定する日までに本人と保証人連署の「誓約書」を作成した上、クラス担任に「誓約書」を提出し、クラス担任の面談を受けてください。
- ③面談の結果、クラス担任が学修継続を確認した上、教務委員会が履修継続を承認した場合は、学修を継続することができます。
- ④「誓約書」を提出しない場合は、学則の規定に則り除籍手続を行います。

(2) 3年次生

- 1、2年次生と同様に取り扱います。
- 「誓約書」の提出及び面談者は「専門演習Ⅰ」の担当教員とします。

(3) 4年次生

- 15単位以上修得できない場合の除籍規定の適用は、原則として行いません。

1 2 自習室、ピアノ自習室等の利用について

- (1) P号館（P002、P004、P503）に自習室を設置していますので、積極的に利用してください。
- (2) C号館1階にピアノ自習室（C104）を6室設けていますので、希望する学生は教学部教務担当に申し込んでください。
※各室ごとに利用時間等が異なりますので注意してください。

13 履修登録の方法

履修登録の方法には、次の2つがありますので注意してください。

- (1) 時間割表を読み、受講する科目を自分でWEB登録するもの
 教学部教務担当が登録する科目以外はすべて自分でWEB登録します。
- (2) クラス・グループ指定科目等で教学部教務担当が入力するもの
 1年次必修の「言語活動」「英語Ⅰa」「英語Ⅰb」「基礎体育Ⅰ」「基礎体育Ⅱ」「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」、2年次必修の「英語Ⅱa」「英語Ⅱb」、小学校教育コースの各科概論および各科教育法、その他実技科目などは、あらかじめ教学部教務担当で入力しますので注意してください。
 なお、履修登録単位数が上限に達していたり、同じ時間帯に他科目を登録するとエラーになります。

(登録の際に注意が必要な科目)

	科目	配当年次	備考
講 義	言語活動	1年次配当	指定(教学部教務担当入力)
	情報処理Ⅰ		
	情報処理Ⅱ		
	英語Ⅰa		
	英語Ⅰb		
	各科概論(Ⅰ・Ⅱ)	1・2年次配当	
	各科概論	2年次配当	
	各科教育法	2・3年次配当	
	英語Ⅱa	2年次配当	
英語Ⅱb			
実 技	基礎体育Ⅰ	1年次配当	指定(教学部教務担当入力)
	基礎体育Ⅱ		
	体育実技(陸上競技Ⅰ)		事前に履修希望調査を実施 (教学部教務担当入力)
	体育実技(水泳Ⅰ)		
	体育実技(器械運動Ⅰ)		
	体育実技(柔道Ⅰ)		
	体育実技(剣道Ⅰ)		
	応用実技(陸上競技Ⅱ)		
	応用実技(水泳Ⅱ)		
	応用実技(器械運動Ⅱ)		
	体育実技(ダンスⅠ)	2年次配当	事前に履修希望調査を実施 (教学部教務担当入力)
	球技(バレーボール)		
	球技(バスケットボール)		
	応用実技(柔道Ⅱ)		
	応用実技(剣道Ⅱ)		
応用実技(ダンスⅡ)			

*上記は変更になることがあります。

※教学部教務担当で履修登録(追加・変更・取消)した科目について、その内容が反映されているかをポータルサイトで必ず確認してください。

もし、反映されていない場合は、早急に教学部教務担当まで確認に来るようにしてください。

V 教育学部で取得できる各種資格

1 教育職員免許状 (幼稚園、小学校、中学校・高等学校(保健体育)、特別支援学校教諭一種免許状)

教育職員免許状(以下「教員免許状」という)を取得するためには、卒業に必要な単位を修得(学士の学位を有する)するほかに、教育職員免許法及び同施行規則(以下「免許法」という)に定められている科目を履修し単位を修得しなければなりません。

本学は学部学科ごとに文部科学省の課程認定を受け、これに基づく科目を開講しています。体育大学にふさわしい質の高い教員養成を行うため免許法に定められている科目・単位数以上に修得する必要があります。免許法の改正に伴い、入学年度によって履修科目・単位数が異なります。

複数の教員免許状の取得を希望する場合は、4年間の履修計画をしっかりと立てておかないと取得できないこともありますので注意してください。

■教育学部で取得できる教員免許状の種類と教科

学科	教員免許状の種類	教科等
教育学科	幼稚園教諭一種免許状	
	小学校教諭一種免許状	
	中学校教諭一種免許状	保健体育
	高等学校教諭一種免許状	保健体育
	特別支援学校教諭一種免許状	知的障害者に関する教育の領域 肢体不自由者に関する教育の領域 病弱者(身体虚弱者を含む。)に関する教育の領域

※幼稚園教諭一種免許状(以下「幼一種免」)、小学校教諭一種免許状(以下「小一種免」)、中学校教諭一種免許状(以下「中一種免」)、高等学校教諭一種免許状(以下「高一種免」)、特別支援学校教諭一種免許状(以下「特支一種免」)という。

※幼一種免は2023年度入学生から取得可能です。

所属するコースによって、取得可能な教員免許状は異なります。

◎主専攻免許として取得可能 ○副専攻免許として取得可能

コース	2022年度以前入学生				2023年度入学生				
	小 一種免	中 一種免	高 一種免	特支 一種免	幼 一種免	小 一種免	中 一種免	高 一種免	特支 一種免
小学校教育コース	◎	○	○	○	○	◎	○	○	○
保健体育教育コース	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○
幼児教育コース	○	○	○	○	◎	○	○	○	○
特別支援教育コース	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○

*1 2022年度以前入学生は副専攻免許を1つを選択できます。

*2 2023年度入学生は副専攻免許を2つまで選択できます。

*3 特支一種免を取得するためには、基礎免許として幼一種免、小一種免、中一種免又は高一種免のいずれかの免許を取得しなければなりません。

(注) 特別支援教育コースは2021年度入学生からです。

1. 教員免許状取得に必要な科目と必要単位数

教員免許状取得に必要な科目および最低修得単位数は、教員免許状の種類ごとに免許法に定める科目区分で次のように定められています。この区分ごとの必要単位数と、基礎資格として学士の学位を取得することで教員免許状の取得が可能となります。

なお、小一種免及び中一種免を取得する場合には、介護等体験が必要です。ただし、特支一種免を取得する者は、介護等体験は免除されます。しかし、特支一種免が取得できなければこの免除は適用されず、小一種免及び中一種免の取得に必要な単位をすべて取得していたとしてもいずれの教員免許状も取得はできません。

	最低修得単位数				
	幼一種免	小一種免	中一種免 (保健体育)	高一種免 (保健体育)	特支一種免
①教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目	8単位	8単位	8単位	8単位	
②教科及び教科の指導法に 関する科目		30単位	28単位	24単位	
③領域及び保育内容の指導法 に関する科目	16単位				
④教育の基礎的理解に 関する科目等	21単位	27単位	27単位	23単位	
⑤大学が独自に設定する科目	14単位	2単位	4単位	12単位	
⑥特別支援教育に関する科目					26単位
②～⑥合計	59単位	59単位	59単位	59単位	26単位

※免許法で定められた単位数であり、本学の教育学部が課程認定を受けた単位数とは異なります。

※幼一種免は2023年度入学生から取得可能です。

2. 教育学部における開講科目と教育実習（入学年度・校種別）

教育学部では、教育職員免許法の定めに沿って免許状ごとに科目を開講しています。教員免許状の取得に必要な科目数は、質の高い教員養成を行うために免許法に定められた単位数以上に開設しています。

次の(1)～(9)の表にある「履修方法」の必修・選択は教員免許状取得のもので、卒業のための必修とは異なります。

(1) 幼稚園教諭一種免許状【2023年度入学生】

1) 教員免許取得に必要な科目と必要単位数

●必修 ◎選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分			法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法	配当学年			
							1年	2年	3年	4年
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	16	幼児と健康	2	●	*			
		人間関係		幼児と人間関係	2	●		*		
		環境		幼児と環境	2	●	*			
		言葉		幼児と言葉	2	●		*		
		表現		図画工作実技(幼児と造形表現)	2	●		*		
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			幼児と音楽表現	2	●		*		
				保育内容総論	2	●	*			
				健康領域指導法	2	●		*		
				人間関係領域指導法	2	●			*	
				環境領域指導法	2	●			*	
				言葉領域指導法	2	●			*	
				表現(造形)領域指導法	1	●			*	
				表現(音楽)領域指導法	1	●			*	
		教育の基礎的理解に関する科目等		教育の基礎的理解に関する科目		10	教育原論 ※1	2	●	*
教職論 ※1	2		●		*					
教育行政学 ※1	2		●					*		
学校教育心理学 ※1	2		●		*					
特別ニーズ教育論 ※1	2		●		*					
教育課程論 ※1	2		●				*			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目			教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む) ※1	2	●			*		
	幼児理解		2	●	*					
	教育相談 ※1		2	●			*			
	教育実践に関する科目		5	●			*			
	2	●				*				
大学が独自に設定する科目		14	学校インターンシップ	2	●	*				
		2	道徳教育の指導法 ※1	2	●	*				
める科目 規則第66条の6に定	教育職員免許法施行	2	日本国憲法	2	●	*				
	体育	2	基礎体育Ⅰ	1	●	*				
		1	基礎体育Ⅱ	1	●	*				
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅱa	1	●		*			
		1	英語Ⅱb	1	●		*			
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	1	●	*				
1		情報処理Ⅱ	1	●	*					

法定最低単位数を超えて修得した単位は、『大学が独自に設定する科目』に充当します。(66条の6に定める科目を除く)

※1 これらの科目は、幼一種免、小一種免、中一種免、高一種免の共通科目です。

※2 「教育実習(幼稚園)」を履修するためには、履修要件を満たす必要があります。(次頁で確認してください。)

※3 「教職実践演習(幼稚園・初等・中等)」の履修は教育実習修得済み又は参加見込みの者だけです。

2) 教育実習の時期及び期間、履修要件

①時期及び期間

教育実習は原則として主専攻免許は3年次の後期、副専攻免許は4年次の前期に行います。

教育実習期間は、15日間となります。ただし、実習園により期間が延長される場合があります。

②履修要件

「教育実習（幼稚園）」を履修するためには、原則として次の要件を満たさなければなりません。
この要件を満たさない場合、在学中の教育実習への参加はできません。

- i. ★の科目を教育実習前年度末までに修得していること。
- ii. ○の科目を教育実習前までに修得または教育実習当該年度で履修登録していること。
- iii. 教育実習時に「学校インターンシップ」を履修済みであることが望ましい。
- iv. 「履修カルテ」を毎年度登録していること。（毎年2月頃詳細案内）

履修年次	領域に関する専門的事項			保育内容の指導法に関する科目			教育の基礎的理解に関する科目等 又は、大学が独自に設定する科目		
1年次	幼児と健康	2	★	保育内容総論	2	★	教育原論	2	★
	幼児と環境	2					教職論	2	★
							学校教育心理学	2	★
							特別ニーズ教育論	2	
							幼児理解	2	★
							学校インターンシップ	2	
							道徳教育の指導法	2	
2年次	幼児と人間関係	2	○	健康領域指導法	2	○	教育課程論	2	
	幼児と言葉	2	○						
	図画工作実技 (幼児と造形表現)	2	○						
	幼児と音楽表現	2	○						
3年次				人間関係領域指導法	2		教育行政学	2	
				環境領域指導法	2		教育相談	2	
				言葉領域指導法	2		教育方法・技術論 (情報通信技術の活用含む)	2	○
				表現(造形)領域指導法	1				
				表現(音楽)領域指導法	1				

(2) 小学校教諭一種免許状【2021年度以前入学生】

1) 教員免許状取得に必要な科目と必要単位数

●必修 ○選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分		法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法	配当学年			
						1年	2年	3年	4年
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国語(書写を含む。)	2	●	*			
			国語科概論Ⅱ(書写実習を含む)	2	●		*		
			社会	2	●	*			
			社会科概論Ⅰ	2	●		*		
			社会科概論Ⅱ	2	●		*		
			算数	2	●	*			
			算数科概論Ⅰ	2	●		*		
			算数科概論Ⅱ	2	●		*		
			理科	2	●	*			
			理科概論Ⅰ	2	●		*		
			理科概論Ⅱ	2	●		*		
			生活	2	●		*		
	生活科概論	2	●		*				
	音楽	2	●		*				
	音楽科概論	2	●		*				
	器楽演習	2	○	*					
	図画工作	2	●		*				
	図画工作科概論	2	●		*				
	家庭	2	●		*				
	家庭科概論	2	●		*				
体育	2	●		*					
体育科概論	2	●		*					
外国語	2	●		*					
英語科概論	2	●		*					
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	教科教育法(国語)	2	●		*				
	教科教育法(社会)	2	●		*				
	教科教育法(算数)	2	●		*				
	教科教育法(理科)	2	●		*				
	教科教育法(生活)	2	●			*			
	教科教育法(音楽)	2	●			*			
	教科教育法(図画工作)	2	●			*			
	教科教育法(家庭)	2	●			*			
	教科教育法(体育)	2	●		*				
	教科教育法(英語)	2	●			*			
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原論 ※1	2	●	*			
			教職論 ※1	2	●	*			
			教育行政学 ※1	2	●		*		
			学校教育心理学 ※1	2	●	*			
			特別ニーズ教育論 ※1	2	●	*			
	教育課程論 ※1	2	●		*				
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳教育の指導法 ※1	2	●	*			
			特別活動・総合的な学習の時間の指導法A	2	●		*		
			教育方法・技術論A	2	●			*	
			生徒指導論・進路指導論A	2	●			*	
教育実践に関する科目	5	教育実習A ※2	5	●			*		
	2	教職実践演習(初等・中等) ※3	2	●			*		
大学が独自に設定する科目		2							
める規則第66条の6に定める科目	教育職員免許法施行	2	日本国憲法	2	●	*			
			体育	2	●	*			
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅱa	1	●		*		
			英語Ⅱb	1	●		*		
	情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	1	●	*			
			情報処理Ⅱ	1	●	*			

法定最低単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当します。(66条の6に定める科目を除く)

※1 これらの科目は、小一種免、中一種免、高一種免の共通科目です。

※2 「教育実習A」を履修するためには、履修要件を満たす必要があります。(次頁で確認してください。)

※3 「教職実践演習(初等・中等)」の履修は教育実習修得済み又は参加見込みの者だけです。

2) 教育実習の時期及び期間、履修要件

①時期及び期間

教育実習は原則として主専攻免許は3年次の後期に行います。

小学校の教育実習期間は、20日間となります。ただし、実習校により期間が延長される場合があります。

②履修要件

「教育実習A」を履修するためには、原則として次の要件を満たさなければなりません。この要件を満たさない場合、在学中の教育実習への参加はできません。

- i. ★の科目を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- ii. ★と☆の科目を合わせて8単位以上を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- iii. □の科目を修得または教育実習当該年度で履修登録していること。
- iv. ◎の科目のうち、12単位以上を当該年度の前期までに履修していること。
- v. *の科目のうち、18単位以上を修得していること。(実習前年度末までに修得)
- vi. 「介護等体験(事前事後指導を含む)」を履修済みであること。ただし、特支一種免を取得する者を除く。
- vii. 教育実習時に「学校インターンシップA」を履修済みであることが望ましい。
- viii. 「履修カルテ」を毎年度登録していること。(毎年2月頃詳細案内)

[2021年度以前入学生]

履修年次	授業科目	単位数		授業科目	単位数	
1年次	教職論	2	★	国語科概論Ⅰ	2	*
	教育原論	2	★	社会科概論Ⅰ	2	*
	学校教育心理学	2	★	算数科概論Ⅰ	2	*
	道德教育の指導法	2	☆	理科概論Ⅰ	2	*
	特別ニーズ教育論	2	☆			
2年次	特別活動・総合的な学習の時間の指導法A	2	☆	国語科概論Ⅱ(書写実習を含む)	2	*
	教育課程論	2		社会科概論Ⅱ	2	*
	教科教育法(国語)	2	◎	算数科概論Ⅱ	2	*
	教科教育法(社会)	2	◎	理科概論Ⅱ	2	*
	教科教育法(算数)	2	◎	生活科概論	2	*
	教科教育法(理科)	2	◎	音楽科概論	2	*
	教科教育法(体育)	2	◎	図画工作科概論	2	*
				家庭科概論	2	*
				体育科概論	2	*
				英語科概論	2	*
3年次	教科教育法(生活)	2	◎			
	教科教育法(音楽)	2	◎			
	教科教育法(図画工作)	2	◎			
	教科教育法(家庭)	2	◎			
	教科教育法(英語)	2	◎			
	教育方法・技術論A	2	□			
	教育行政学	2	□			
	生徒指導論・進路指導論A	2				
	教育相談A	2				
	教育実習A	5				

(3) 小学校教諭一種免許状 【2022 年度入学生】

1) 教員免許状取得に必要な科目と必要単位数

●必修 ○選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分		法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法	配当学年			
						1年	2年	3年	4年
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国語(書写を含む。)	2	●	*			
			国語科概論Ⅰ	2	●	*			
			国語科概論Ⅱ(書写実習を含む)	2	●		*		
			社会	2	●	*			
			社会科概論Ⅰ	2	●		*		
			社会科概論Ⅱ	2	●		*		
			算数	2	●	*			
			算数科概論Ⅰ	2	●		*		
			算数科概論Ⅱ	2	●		*		
			理科	2	●	*			
			理科概論Ⅰ	2	●		*		
			理科概論Ⅱ	2	●		*		
			生活	2	●		*		
	生活科概論	2	●		*				
	音楽	2	●		*				
	音楽科概論	2	●		*				
	器楽演習	2	○	*					
	図画工作	2	●		*				
	図画工作科概論	2	●		*				
	家庭	2	●		*				
家庭科概論	2	●		*					
体育	2	●		*					
体育科概論	2	●		*					
外国語	2	●		*					
英語科概論	2	●		*					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	教科教育法(国語)	2	●		*				
	教科教育法(社会)	2	●		*				
	教科教育法(算数)	2	●		*				
	教科教育法(理科)	2	●		*				
	教科教育法(生活)	2	●			*			
	教科教育法(音楽)	2	●			*			
	教科教育法(図画工作)	2	●			*			
	教科教育法(家庭)	2	●			*			
	教科教育法(体育)	2	●		*				
	教科教育法(英語)	2	●			*			
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原論 ※1	2	●	*			
			教職論 ※1	2	●	*			
			教育行政学 ※1	2	●			*	
			学校教育心理学 ※1	2	●	*			
			特別ニーズ教育論 ※1	2	●	*			
			教育課程論 ※1	2	●		*		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳教育の指導法 ※1	2	●	*			
			特別活動・総合的な学習の時間の指導法※1	2	●		*		
			教育方法・技術論(情報通信技術の活用を含む)※1	2	●			*	
			生徒指導論・進路指導論 ※1	2	●			*	
	教育実践に関する科目	5	教育実習(初等) ※2	5	●			*	
			2	教職実践演習(初等・中等) ※3	2	●			*
大学が独自に設定する科目		2							
める科目 規則第66条の6に定	日本国憲法	2	日本国憲法	2	●	*			
	体育	2	基礎体育Ⅰ	1	●	*			
			基礎体育Ⅱ	1	●	*			
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅱa	1	●		*		
			英語Ⅱb	1	●		*		
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	1	●	*			
情報処理Ⅱ			1	●	*				

法定最低単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当します。(66条の6に定める科目を除く)

※1 これらの科目は、小一種免、中一種免、高一種免の共通科目です。

※2 「教育実習(初等)」を履修するためには、履修要件を満たす必要があります。(次頁で確認してください。)

※3 「教職実践演習(初等・中等)」の履修は教育実習修得済み又は参加見込みの者だけです。

2) 教育実習の時期及び期間、履修要件

①時期及び期間

教育実習は原則として3年次の後期に行います。

小学校の教育実習期間は、20日間となります。ただし、実習校により期間が延長される場合があります。

②履修要件

「教育実習(初等)」を履修するためには、原則として次の要件を満たさなければなりません。この要件を満たさない場合、在学中の教育実習への参加はできません。

- i. ★の科目を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- ii. ★と☆の科目を合わせて8単位以上を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- iii. □の科目を修得または教育実習当該年度で履修登録していること。
- iv. ◎の科目のうち、12単位以上を当該年度の前期までに履修していること。
- v. *の科目のうち、18単位以上を修得していること。(実習前年度末までに修得)
- vi. 「介護等体験(事前事後指導を含む)」を受講済みであることが望ましい。ただし、小学校又は中学校免許の取得には介護等体験が必要である。 ※特支一種免を取得する者を除く。
- vii. 教育実習時に「学校インターンシップ(初等)」を履修済みであることが望ましい。
- viii. 「履修カルテ」を毎年度登録していること。(毎年2月頃詳細案内)

[2022年度入学生]

履修年次	授業科目	単位数	授業科目	単位数
1年次	教職論	2 ★	国語科概論Ⅰ	2 *
	教育原論	2 ★	社会科概論Ⅰ	2 *
	学校教育心理学	2 ★	算数科概論Ⅰ	2 *
	道德教育の指導法	2 ☆	理科概論Ⅰ	2 *
	特別ニーズ教育論	2 ☆		
2年次	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2 ☆	国語科概論Ⅱ (書写実習を含む)	2 *
	教育課程論	2	社会科概論Ⅱ	2 *
	教科教育法(国語)	2 ◎	算数科概論Ⅱ	2 *
	教科教育法(社会)	2 ◎	理科概論Ⅱ	2 *
	教科教育法(算数)	2 ◎	生活科概論	2 *
	教科教育法(理科)	2 ◎	音楽科概論	2 *
	教科教育法(体育)	2 ◎	図画工作科概論	2 *
			家庭科概論	2 *
			体育科概論	2 *
		英語科概論	2 *	
3年次	教科教育法(生活)	2 ◎		
	教科教育法(音楽)	2 ◎		
	教科教育法(図画工作)	2 ◎		
	教科教育法(家庭)	2 ◎		
	教科教育法(英語)	2 ◎		
	教育方法・技術論 (情報通信技術の活用を含む)	2 □		
	教育行政学	2 □		
	生徒指導論・進路指導論	2		
	教育相談	2		
	教育実習(初等)	5		

(4) 小学校教諭一種免許状 【2023 年度入学生】

1) 教員免許状取得に必要な科目と必要単位数

●必修 ◎選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分		法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法	配当学年			
						1年	2年	3年	4年
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国語(書写を含む。)	国語科概論(書写実習を含む)	2	●	*		
			社会	社会科概論	2	●	*		
			算数	算数科概論	2	●	*		
			理科	理科概論	2	●	*		
			生活	生活科概論	2	●	*		
			音楽	音楽科概論	2	●	*		
			器楽演習	器楽演習	2	○	*		
			図画工作	図画工作科概論	2	●	*		
			家庭	家庭科概論	2	●	*		
			体育	体育科概論	2	●	*		
	外国語	英語科概論	2	●	*				
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	教科教育法(国語)	2	●	*				
		教科教育法(社会)	2	●	*				
		教科教育法(算数)	2	●	*				
		教科教育法(理科)	2	●	*				
		教科教育法(生活)	2	●		*			
		教科教育法(音楽)	2	●		*			
		教科教育法(図画工作)	2	●		*			
		教科教育法(家庭)	2	●		*			
		教科教育法(体育)	2	●		*			
教科教育法(英語)		2	●		*				
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原論 ※1	2	●	*			
			教職論 ※1	2	●	*			
			教育行政学 ※1	2	●		*		
			学校教育心理学 ※1	2	●	*			
			特別ニーズ教育論 ※1	2	●	*			
			教育課程論 ※1	2	●		*		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳教育の指導法 ※1	2	●	*			
			特別活動・総合的な学習の時間の指導法※1	2	●		*		
			教育方法・技術論(情報通信技術の活用を含む)※1	2	●		*		
			生徒指導論・進路指導論 ※1	2	●		*		
			教育相談 ※1	2	●		*		
	教育実践に関する科目	5	教育実習(初等) ※2	5	●		*		
			2	教職実践演習(幼稚園・初等・中等) ※3	2	●			*
大学が独自に設定する科目		2							
める規 則第 66 条の 6に 定 る科 目	日本国憲法	2	日本国憲法	2	●	*			
	体育	2	基礎体育Ⅰ	1	●	*			
			基礎体育Ⅱ	1	●	*			
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅱa	1	●		*		
			英語Ⅱb	1	●		*		
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	1	●	*			
情報処理Ⅱ			1	●	*				

法定最低単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当します。(66条の6に定める科目を除く)

※1 これらの科目は、小一種免、中一種免、高一種免の共通科目です。

※2 「教育実習(初等)」を履修するためには、履修要件を満たす必要があります。(次頁で確認してください。)

※3 「教職実践演習(幼稚園・初等・中等)」の履修は教育実習修得済み又は参加見込みの者だけです。

2) 教育実習の時期及び期間、履修要件

①時期及び期間

教育実習は原則として主専攻免許は3年次の後期、副専攻免許は4年次前期に行います。
 小学校の教育実習期間は、20日間となります。ただし、実習校により期間が延長される場合があります。

②履修要件

「教育実習(初等)」を履修するためには、原則として次の要件を満たさなければなりません。この要件を満たさない場合、在学中の教育実習への参加はできません。

- i. ★の科目を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- ii. ★と☆の科目を合わせて8単位以上を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- iii. □の科目を修得または教育実習当該年度で履修登録していること。
- iv. ◎の科目のうち、12単位以上を当該年度の前期までに履修していること。
- v. ○の科目のうち、4科目8単位以上を修得していること。(実習前年度末までに修得)
 ●の科目のうち、4科目8単位以上を修得していること。(実習前年度末までに修得)
- vi. 「介護等体験(事前事後指導を含む)」を受講済みであることが望ましい。ただし、小学校又は中学校免許の取得には介護等体験が必要である。 ※特支一種免を取得する者を除く。
- vii. 教育実習時に「学校インターンシップ(初等)」を履修済みであることが望ましい。
- viii. 「履修カルテ」を毎年度登録していること。(毎年2月頃詳細案内)

[2023年度入学生]

履修年次	授業科目	単位数	授業科目	単位数
1年次	教職論	2 ★		
	教育原論	2 ★		
	学校教育心理学	2 ★		
	道德教育の指導法	2 ☆		
	特別ニーズ教育論	2 ☆		
2年次	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2 ☆	国語科概論(書写実習を含む)	2 ○
	教育課程論	2	社会科概論	2 ○
	教科教育法(国語)	2 ◎	算数科概論	2 ○
	教科教育法(社会)	2 ◎	理科概論	2 ○
	教科教育法(算数)	2 ◎	体育科概論	2 ○
	教科教育法(理科)	2 ◎	音楽科概論	2 ●
	教科教育法(体育)	2 ◎	図画工作科概論	2 ●
			家庭科概論	2 ●
			生活科概論	2 ●
		英語科概論	2 ●	
3年次	教科教育法(生活)	2 ◎		
	教科教育法(音楽)	2 ◎		
	教科教育法(図画工作)	2 ◎		
	教科教育法(家庭)	2 ◎		
	教科教育法(英語)	2 ◎		
	教育方法・技術論 (情報通信技術の活用を含む)	2 □		
	教育行政学	2 □		
	生徒指導論・進路指導論	2		
	教育相談	2		
教育実習(初等)	5			

(5) 中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)【2021年度以前入学生】

1) 教員免許取得に必要な科目と必要単位数

●必修 ◎選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分		法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法		配当学年			
					中免	高免	1年	2年	3年	4年
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	28 (24)	体育実技(陸上競技Ⅰ)	1	●	●	*			
			体育実技(水泳Ⅰ)	1	●	●	*			
			体育実技(器械運動Ⅰ)	1	●	●	*			
			体育実技(柔道Ⅰ)	1	◎	◎	*			
			体育実技(剣道Ⅰ)	1	◎	◎	*			
			体育実技(ダンスⅠ)	1	●	●		*		
			球技(バレーボール)	1	●	●		*		
			球技(バスケットボール)	1	●	●		*		
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	体育原理	2	●	●	*				
		体育心理学	2	●	●		*			
		体育経営論	2	●	●			*		
		体育社会学	2	●	●			*		
		体育史	2	●	●			*		
		運動学・運動方法学	2	●	●		*			
		生理学(運動生理学を含む。)	2	●	●	*				
		衛生学・公衆衛生学	2	●	●		*			
		学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	2	●	●		*			
		精神保健学	2	●	●			*		
		運動療法(救急処置を含む)	2	●	●		*			
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保健体育科教育法Ⅰ	2	●	●		*		
保健体育科教育法Ⅱ	2		●	●		*				
保健体育科教育法Ⅲ	2		●	●		*				
保健体育科教育法Ⅳ	2		●				*			
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原論 ※1	2	●	●	*			
			教職論 ※1	2	●	●	*			
			教育行政学 ※1	2	●	●			*	
			学校教育心理学 ※1	2	●	●	*			
			特別ニーズ教育論 ※1	2	●	●	*			
			教育課程論 ※1	2	●	●		*		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、進路指導、教育相談等に関する科目	10 (8)	道徳教育の指導法 ※2	2	●		*			
			特別活動・総合的な学習の時間の指導法B	2	●	●		*		
			教育方法・技術論B	2	●	●			*	
			生徒指導論・進路指導論B	2	●	●			*	
	教育実践に関する科目	5 (3)	教育実習B ※3	5	●	●			*	
			教職実践演習(初等・中等) ※4	2	●	●			*	
	大学が独自に設定する科目		4 (12)	道徳教育の指導法 ※1 ※2	2		●	*		
に定める科目 行規則第66条の6 教育職員免許法施行規則第6条の6	日本国憲法	2	日本国憲法	2	●	●	*			
	体育	2	基礎体育Ⅰ	1	●	●	*			
			基礎体育Ⅱ	1	●	●	*			
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅱa	1	●	●		*		
			英語Ⅱb	1	●	●		*		
	情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	1	●	●	*			
情報処理Ⅱ			1	●	●	*				

法定最低単位数の()は、高一種免の単位。(中一種免と異なる場合のみ記載)

法定最低単位数を超えて修得した単位は、『大学が独自に設定する科目』に充当します。(66条の6に定める科目を除く)

※1 これらの科目は、小一種免、中一種免、高一種免の共通科目です。

※2 「道徳教育の指導法」は中一種免のみ必修ですが、高一種免では『大学が独自に設定する科目』の必修です。

※3 「教育実習B」を履修するためには、履修要件を満たす必要があります。(次頁で確認してください。)

※4 「教職実践演習(初等・中等)」の履修は教育実習修得済み又は参加見込みの者だけです。

2) 教育実習の時期及び期間、履修要件

①時期及び期間

教育実習は原則として主専攻免許は3年次の後期、副専攻免許は4年次の前期に行います。
教育実習期間は、15日間となります。ただし、実習校により期間が延長される場合があります。

②履修要件

「教育実習B」を履修するためには、原則として次の要件を満たさなければなりません。この要件を満たさない場合、在学中の教育実習への参加はできません。

- i. ★の科目を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- ii. ★と☆の科目を合わせて8単位以上を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- iii. ●の科目を修得していること。(実習前年度末までに修得)
- iv. □の科目を修得または教育実習当該年度で履修登録していること。
- v. 「教科に関する講義科目」のうち、◎の科目を含む14単位以上を履修していること。
- vi. 「実技科目」のうち、*を含む5単位以上を履修していること。
- vii. 「介護等体験(事前事後指導を含む)」を履修済みであること。ただし、特支一種免を取得する者を除く。
- viii. 教育実習時に「学校インターンシップB」を履修済みであることが望ましい。
- ix. 「履修カルテ」を毎年度登録していること。(毎年2月頃詳細案内)

[2021年度以前入学生]

履修年次	教職関係科目			教科に関する講義科目			実技科目		
1年次	教職論	2	★	体育原理	2	◎	体育実技(陸上競技I)	1	*
	教育原論	2	★	生理学 (運動生理学を含む)	2		体育実技(水泳I)	1	*
	学校教育心理学	2	★				体育実技(器械運動I)	1	
	道德教育の指導法	2	☆				体育実技(柔道I)	1	
	特別ニーズ教育論	2	☆				体育実技(剣道I)	1	
2年次	特別活動・総合的な学習の時間の指導法B	2	☆	運動学・運動方法学	2		体育実技(ダンスI)	1	
	教育課程論	2		衛生学・公衆衛生学	2		球技(バレーボール)	1	
	保健体育科教育法I	2	●	学校保健(小児保健・学校安全を含む)	2		球技(バスケットボール)	1	
	保健体育科教育法II	2	●	体育心理学	2	◎			
	保健体育科教育法III	2	●	運動療法 (救急処置を含む)	2				
3年次	教育方法・技術論B	2	□	体育経営論	2				
	保健体育科教育法IV	2		体育社会学	2				
	教育行政学	2	□	体育史	2				
	生徒指導論・進路指導論B	2		精神保健学	2				
	教育相談B	2							
	教育実習B	5							

(6) 中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)【2022年度入学生】

1) 教員免許取得に必要な科目と必要単位数

●必修 ◎選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分		法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法		配当学年					
					中免	高免	1年	2年	3年	4年		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	28 (24)	体育実技(陸上競技Ⅰ)	1	●	●	*					
			体育実技(水泳Ⅰ)	1	●	●	*					
			体育実技(器械運動Ⅰ)	1	●	●	*					
			体育実技(柔道Ⅰ)	1	2科目より1科目を選択	◎	◎	*				
			体育実技(剣道Ⅰ)			◎	◎	*				
			体育実技(ダンスⅠ)	1	●	●		*				
			球技(バレーボール)	1	●	●		*				
			球技(バスケットボール)	1	●	●		*				
			体育原理	2	●	●	*					
			体育心理学	2	●	●		*				
	体育経営論	2	●	●			*					
	体育社会学	2	●	●			*					
	体育史	2	●	●			*					
	運動学・運動方法学	2	●	●		*						
	生理学(運動生理学を含む。)	2	●	●	*							
	衛生学・公衆衛生学	2	●	●		*						
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	2	●	●		*						
	精神保健学	2	●	●			*					
	運動療法(救急処置を含む)	2	●	●		*						
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	保健体育科教育法Ⅰ	2	●	●		*					
保健体育科教育法Ⅱ		2	●	●		*						
保健体育科教育法Ⅲ		2	●	●		*						
保健体育科教育法Ⅳ		2	●	●			*					
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原論 ※1	2	●	●	*					
			教職論 ※1	2	●	●	*					
			教育行政学 ※1	2	●	●			*			
			学校教育心理学 ※1	2	●	●	*					
			特別ニーズ教育論 ※1	2	●	●	*					
	教育課程論 ※1	2	●	●		*						
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10 (8)	道徳教育の指導法 ※1 ※2	2	●	●	*					
			特別活動・総合的な学習の時間の指導法※1	2	●	●		*				
			教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)※1	2	●	●			*			
			生徒指導論・進路指導論 ※1	2	●	●			*			
教育相談 ※1	2	●	●			*						
教育実践に関する科目	5 (3)	教育実習(中等) ※3	5	●	●			*				
		教職実践演習(初等・中等) ※4	2	●	●				*			
大学が独自に設定する科目	4 (12)	道徳教育の指導法 ※1 ※2	2		●	*						
に定める科目 行規則第66条の6 教育職員免許法施行 6	日本国憲法	2	日本国憲法	2	●	●	*					
	体育	基礎体育Ⅰ	1	●	●	*						
		基礎体育Ⅱ	1	●	●	*						
	外国語コミュニケーション	英語Ⅱa	1	●	●		*					
		英語Ⅱb	1	●	●		*					
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理Ⅰ	1	●	●	*							
	情報処理Ⅱ	1	●	●	*							

法定最低単位数の()は、高一種免の単位。(中一種免と異なる場合のみ記載)

法定最低単位数を超えて修得した単位は、『大学が独自に設定する科目』に充当します。(66条の6に定める科目を除く)

※1 これらの科目は、小一種免、中一種免、高一種免の共通科目です。

※2 「道徳教育の指導法」は中一種免のみ必修ですが、高一種免では『大学が独自に設定する科目』の必修です。

※3 「教育実習(中等)」を履修するためには、履修要件を満たす必要があります。(次頁で確認してください。)

※4 「教職実践演習(初等・中等)」の履修は教育実習修得済み又は参加見込みの者だけです。

2) 教育実習の時期及び期間、履修要件

①時期及び期間

教育実習は原則として主専攻免許は3年次の後期、副専攻免許は4年次の前期に行います。
教育実習期間は、中学校、高等学校は15日間となります。ただし、実習校により期間が延長される場合があります。

②履修要件

「教育実習(中等)」を履修するためには、原則として次の要件を満たさなければなりません。この要件を満たさない場合、在学中の教育実習への参加はできません。

- i. ★の科目を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- ii. ★と☆の科目を合わせて8単位以上を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- iii. ●の科目を修得していること。(実習前年度末までに修得)
- iv. □の科目を修得または教育実習当該年度で履修登録していること。
- v. 「教科に関する講義科目」のうち、◎の科目を含む14単位以上を履修していること。
- vi. 「実技科目」のうち、*を含む5単位以上を履修していること。
- vii. 「介護等体験(事前事後指導を含む)」を受講済みであることが望ましい。ただし、小学校又は中学校免許の取得には介護等体験が必要である。 ※特支一種免を取得する者を除く。
- viii. 教育実習時に「学校インターンシップ(中等)」を履修済みであることが望ましい。
- ix. 「履修カルテ」を毎年度登録していること。(毎年2月頃詳細案内)

[2022年度入学生]

履修年次	教職関係科目			教科に関する講義科目			実技科目		
	科目名	単位数	要件	科目名	単位数	要件	科目名	単位数	要件
1年次	教職論	2	★	体育原理	2	◎	体育実技(陸上競技Ⅰ)	1	*
	教育原論	2	★	生理学(運動生理学を含む)	2		体育実技(水泳Ⅰ)	1	*
	学校教育心理学	2	★				体育実技(器械運動Ⅰ)	1	
	道德教育の指導法	2	☆				体育実技(柔道Ⅰ)	1	
	特別ニーズ教育論	2	☆				体育実技(剣道Ⅰ)	1	
2年次	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	☆	運動学・運動方法学	2		体育実技(ダンスⅠ)	1	
	教育課程論	2		衛生学・公衆衛生学	2		球技(バレーボール)	1	
	保健体育科教育法Ⅰ	2	●	学校保健(小児保健・学校安全を含む)	2		球技(バスケットボール)	1	
	保健体育科教育法Ⅱ	2	●	体育心理学	2	◎			
	保健体育科教育法Ⅲ	2	●	運動療法(救急処置を含む)	2				
3年次	教育方法・技術論(情報通信技術の活用を含む)	2	□	体育経営論	2				
	保健体育科教育法Ⅳ	2		体育社会学	2				
	教育行政学	2	□	体育史	2				
	生徒指導論・進路指導論	2		精神保健学	2				
	教育相談	2							
	教育実習(中等)	5							

(7) 中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)【2023年度入学生】

1) 教員免許取得に必要な科目と必要単位数

●必修 ○選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分	法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法		配当学年				
				中免	高免	1年	2年	3年	4年	
教科及び教科の指導法に関する科目	28 (24)	体育実技(陸上競技Ⅰ)	1	●	●	*				
		体育実技(水泳Ⅰ)	1	●	●	*				
		体育実技(器械運動Ⅰ)	1	●	●	*				
		体育実技(柔道Ⅰ)	1	2科目より1科目 を選択	○	○	*			
		体育実技(剣道Ⅰ)			○	○	*			
		体育実技(ダンスⅠ)	1	●	●		*			
		球技(バレーボール)	1	●	●		*			
		球技(バスケットボール)	1	●	●		*			
		体育原理	2				*			
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	2	5科目より3科目 を選択	○	○		*		
		体育心理学	2					*		
		体育経営論	2					*		
		体育社会学	2					*		
		体育史	2				*			
		運動学・運動方法学	2	●	●		*			
		生理学(運動生理学を含む。)	2	●	●	*				
		衛生学・公衆衛生学	2	●	●		*			
		学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	2	●	●		*			
		精神保健学	2	●	●			*		
		運動療法(救急処置を含む)	2	●	●		*			
		保健体育科教育法Ⅰ	2	●	●		*			
		保健体育科教育法Ⅱ	2	●	●		*			
		保健体育科教育法Ⅲ	2	●	●		*			
		保健体育科教育法Ⅳ	2	●	●			*		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	2	●	●		*			
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	2	●	●		*			
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	2	●	●		*			
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	2	●	●			*		
	教育の基礎的理解に関する科目等	10	教育の基礎的理解に関する科目	2	●	●	*			
			教育原論 ※1	2	●	●	*			
			教職論 ※1	2	●	●	*			
			教育行政学 ※1	2	●	●			*	
			学校教育心理学 ※1	2	●	●	*			
			特別ニーズ教育論 ※1	2	●	●	*			
10 (8)		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	2	●	●		*			
		道徳教育の指導法 ※1 ※2	2	●	●		*			
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法 ※1	2	●	●		*			
		教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む) ※1	2	●	●			*		
5 (3)	教育実践に関する科目	2	●	●			*			
	教育実習(中等) ※3	5	●	●			*			
2	教職実践演習(幼稚園・初等・中等) ※4	2	●	●				*		
	教職実践演習(幼稚園・初等・中等) ※4	2	●	●				*		
大学が独自に設定する科目	4 (12)	道徳教育の指導法 ※1 ※2	2		●	*				
に定める科目 66条の6	日本国憲法	2	日本国憲法	2	●	●	*			
	体育	基礎体育Ⅰ	2	基礎体育Ⅰ	1	●	●	*		
		基礎体育Ⅱ	2	基礎体育Ⅱ	1	●	●	*		
	外国語コミュニケーション	英語Ⅱa	2	英語Ⅱa	1	●	●		*	
		英語Ⅱb	2	英語Ⅱb	1	●	●		*	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	2	情報処理Ⅰ	1	●	●	*		
	情報処理Ⅱ	2	情報処理Ⅱ	1	●	●	*			

法定最低単位数の()は、高一種免の単位。(中一種免と異なる場合のみ記載)

法定最低単位数を超えて修得した単位は、『大学が独自に設定する科目』に充当します。(66条の6に定める科目を除く)

※1 これらの科目は、幼一種免、小一種免、中一種免、高一種免の共通科目です。

※2 「道徳教育の指導法」は中一種免のみ必修ですが、高一種免では『大学が独自に設定する科目』の必修です。

※3 「教育実習(中等)」を履修するためには、履修要件を満たす必要があります。(次頁で確認してください。)

※4 「教職実践演習(幼稚園・初等・中等)」の履修は教育実習修得済み又は参加見込みの者だけです。

2) 教育実習の時期及び期間、履修要件

①時期及び期間

教育実習は原則として主専攻免許は3年次の後期、副専攻免許は4年次の前期に行います。
教育実習期間は、中学校、高等学校は15日間となります。ただし、実習校により期間が延長される場合があります。

②履修要件

「教育実習(中等)」を履修するためには、原則として次の要件を満たさなければなりません。この要件を満たさない場合、在学中の教育実習への参加はできません。

- i. ★の科目を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- ii. ★と☆の科目を合わせて8単位以上を教育実習前までに修得していること。(実習前年度末までに修得)
- iii. ●の科目を修得していること。(実習前年度末までに修得)
- iv. □の科目を修得または教育実習当該年度で履修登録していること。
- v. 「教科に関する講義科目」のうち、14単位以上を履修していること。
- vi. 「実技科目」のうち、*を含む5単位以上を履修していること。
- vii. 「介護等体験(事前事後指導を含む)」を受講済みであることが望ましい。ただし、小学校又は中学校免許の取得には介護等体験が必要である。 ※特支一種免を取得する者を除く。
- viii. 教育実習時に「学校インターンシップ(中等)」を履修済みであることが望ましい。
- ix. 「履修カルテ」を毎年度登録していること。(毎年2月頃詳細案内)

[2023年度入学生]

履修年次	教職関係科目			教科に関する講義科目			実技科目		
1年次	教職論	2	★	体育原理	2		体育実技(陸上競技Ⅰ)	1	*
	教育原論	2	★	生理学(運動生理学を含む)	2		体育実技(水泳Ⅰ)	1	*
	学校教育心理学	2	★				体育実技(器械運動Ⅰ)	1	
	道德教育の指導法	2	☆				体育実技(柔道Ⅰ)	1	
	特別ニーズ教育論	2	☆				体育実技(剣道Ⅰ)	1	
2年次	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	☆	運動学・運動方法学	2		体育実技(ダンスⅠ)	1	
	教育課程論	2		衛生学・公衆衛生学	2		球技(バレーボール)	1	
	保健体育科教育法Ⅰ	2	●	学校保健(小児保健・学校安全を含む)	2		球技(バスケットボール)	1	
	保健体育科教育法Ⅱ	2	●	体育心理学	2				
	保健体育科教育法Ⅲ	2	●	運動療法(救急処置を含む)	2				
3年次	教育方法・技術論(情報通信技術の活用を含む)	2	□	体育経営論	2				
	保健体育科教育法Ⅳ	2		体育社会学	2				
	教育行政学	2	□	体育史	2				
	生徒指導論・進路指導論	2		精神保健学	2				
	教育相談	2							
	教育実習(中等)	5							

(8) 特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病の領域)【2021年度以前入学生】

1) 教員免許取得に必要な科目と必要単位数

小学校教育コース、保健体育教育コースとも副専攻免許として特別支援学校教諭一種免許状を取得することが可能です。また、副専攻免許が必要でなくても授業を受けたいという場合は、教育実習Cを除く科目を履修することができます。

●必修 ◎選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分	法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法	配当学年			
					1年	2年	3年	4年
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育論	2	●	*			
特別支援教育領域に関する科目	16	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理	2	●	*		
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2	●		*		
		病弱者の心理・生理・病理	2	●		*		
		知的障害者の発達と心理	2	●		*		
		障害児の教育課程	2	●		*		
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害教育指導法	2	●			*
		肢体不自由教育指導法	2	●			*	
病弱教育指導法	2	●			*			
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	重複障害教育総論	2	●			*
			言語障害教育総論	2	●			*
			感覚障害教育総論	2	●			*
			発達障害教育総論	2	●		*	
			情緒障害教育総論	2	○			
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	教育実習C ※1	3	●				*

※1 「教育実習C」を履修するためには、履修要件を満たす必要があります。(次頁で確認してください。)

2) 教育実習の時期及び期間、履修要件

①時期及び期間

教育実習は原則として4年次の前期に行います。

教育実習期間は10日間となります。ただし、実習校により期間が延長される場合があります。

②履修要件

「教育実習C」を履修するためには、原則として次の要件を満たさなければなりません。この要件を満たさない場合、在学中の教育実習への参加はできません。

- i. ☆の科目を含む16単位以上を修得していること。(実習前年度末までに修得)
- ii. ★の科目を実習前年度までに履修済であること。
- iii. 小学校又は中学校、高等学校の教員免許状を取得見込みであること。

[2021年度以前入学生]

履修年次	特別支援教育に関する科目	単位	
1年次	特別支援教育論	2	☆
	知的障害者の心理・生理・病理	2	
2年次	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	
	病弱者の心理・生理・病理	2	
	知的障害者の発達と心理	2	
	障害児の教育課程	2	☆
	発達障害教育総論	2	
3年次	知的障害教育指導法	2	★
	肢体不自由教育指導法	2	★
	病弱教育指導法	2	★
	重複障害教育総論	2	
	言語障害教育総論	2	
	感覚障害教育総論	2	
4年次	情緒障害教育総論	2	
	教育実習C	3	

(9) 特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病の領域)【2022・2023 年度入学生】

1) 教員免許取得に必要な科目と必要単位数

幼児教育コース、小学校教育コース、保健体育教育コースとも副専攻免許として特別支援学校教諭一種免許状を取得することが可能です。また、副専攻免許が必要でなくても授業を受けたいという場合は、教育実習（特別支援）を除く科目を履修することができます。

●必修 ◎選択必修 ○選択

免許法施行規則に定める科目区分		法定最低単位数	本学における開設授業科目	単位	履修方法	配当学年			
						1年	2年	3年	4年
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	特別支援教育論	2	● *				
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	知的障害者の心理・生理・病理	2	● *				
			肢体不自由者の心理・生理・病理	2	● *				
			病弱者の心理・生理・病理	2	● *				
			知的障害者の発達と心理	2	● *				
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		障害児の教育課程	2	● *				
			知的障害教育指導法	2	● *				
			肢体不自由教育指導法	2	● *				
			病弱教育指導法	2	● *				
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 	5	重複障害教育総論	2	● *				
			言語障害教育総論	2	● *				
			感覚障害教育総論	2	● *				
			発達障害教育総論	2	● *				
			情緒障害教育総論	2	○ *				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	3	● *						

※1 「教育実習（特別支援）」を履修するためには、履修要件を満たす必要があります。（次頁で確認してください。）

2) 教育実習の時期及び期間、履修要件

①時期及び期間

教育実習は原則として4年次の前期に行います。

教育実習期間は10日間となります。ただし、実習校により期間が延長される場合があります。

②履修要件

「教育実習(特別支援)」を履修するためには、原則として次の要件を満たさなければなりません。
この要件を満たさない場合、在学中の教育実習への参加はできません。

- i. ☆の科目を含む16単位以上を修得していること。(実習前年度末までに修得)
- ii. ★の科目を実習前年度までに履修済みであること。
- iii. 小学校又は中学校、高等学校の教員免許状を取得見込みであること。

[2022・2023年度入学生]

履修年次	特別支援教育に関する科目	単位	
1年次	特別支援教育論	2	☆
	知的障害者の心理・生理・病理	2	
2年次	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	
	病弱者の心理・生理・病理	2	
	知的障害者の発達と心理	2	
	障害児の教育課程	2	☆
	発達障害教育総論	2	
3年次	知的障害教育指導法	2	★
	肢体不自由教育指導法	2	★
	病弱教育指導法	2	★
	重複障害教育総論	2	
	言語障害教育総論	2	
	感覚障害教育総論	2	
4年次	情緒障害教育総論	2	
	教育実習(特別支援)	3	

【全入学年度生共通】

3. 介護等体験

小学校及び中学校教諭免許状を取得するためには、免許法で定められた科目の単位修得以外に「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る特例等に関する法律」により、「介護等体験」が必要となります。ただし、特別支援学校の教員免許状を取得する者は「介護等体験」は免除されます。しかし、特別支援学校の教員免許状が取得できなかった場合は、この免除は適用されず、小一種免及び中一種免の取得に必要な単位を全て修得していたとしてもいずれの免許状も取得できなくなります。

3年次に「介護等体験（事前事後指導を含む）」を履修したうえで、体験先ごとの事前ガイダンスに出席した者が「介護等体験」への参加が認められます。

特別支援学校は大阪府教育委員会が、社会福祉施設は大阪府社会福祉協議会が管轄しており、介護等体験先や体験時期については、それぞれの管轄機関から大学に配当されますので、個人で体験先や体験時期を指定することはできません。また、介護等体験には別途費用がかかります。介護等体験の種類と日数は次のとおりです。

特別支援学校：2日間 社会福祉施設：5日間 計7日間

※2年次の10月頃に開催するガイダンスで申請手続きを行うので必ず出席してください。

4. 教員免許状の申請

教員免許状は、基礎資格（学士の学位を有すること＝大学を卒業する）を有し、教員免許状取得に必要な全ての単位を修得した者が各都道府県教育委員会に申請をして教員免許状が授与されます。本学における教員免許状申請要件を満たした者を一括して大阪府教育委員会に教員免許状の授与申請を行います。（教員免許状は、都道府県教育委員会が授与するものであって、大学が授与するものではありません。）

教員免許取得希望者は、4年次に開催する2回のガイダンス（7月・10月）に必ず出席してください。ガイダンスの無断欠席や申請書類の提出遅れは認めませんので注意してください。

※教員免許状一括申請に関する窓口は教職支援センターとなります。

①申請方法（4年次）

申請方法		対象者
一括申請	大学がまとめて大阪府教育委員会に申請する	次の要件を満たしていること ・後期成績発表時に「卒業確定」となった者 ・教員免許状取得に必要な単位を全て修得した者
個人申請	卒業後に各自の居住地の都道府県教育委員会に自分で申請をする	・一括申請の要件が満たさなかった者 ・科目等履修生

②申請手続きの流れ（4年次）

	内 容	日 程
1	第1回目 教員免許状一括申請ガイダンス	7月初旬
2	申請書類の提出	第1回ガイダンスで周知する
3	第2回目 教員免許状一括申請ガイダンス	10月中下旬
4	・申請書類の提出 ・申請費用の納入	第2回ガイダンスで周知する
5	教員免許状一括申請者の確定	2月中旬（後期成績発表日）
6	大学より大阪府教育委員会に 教員免許状授与申請	2月下旬
7	一括申請取下げ者に申請費用の返金	2月下旬～3月上旬
8	教員免許状の発送	卒業式後に本人指定の住所宛に郵送

5. 卒業時に教員免許状を取得できない場合

卒業時に教員免許状取得に必要な単位を修得できない場合でも、科目等履修生制度を利用して卒業後に教員免許状を取得することができます。詳しくは、教職支援センターへ相談してください。

6. 教員免許状を取得するための4年間のスケジュール

	1年次	2年次	3年次	4年次	
4月	麻疹抗体検査*1	教育実習準備ガイダンス(主免)	・教育実習準備ガイダンス(主免・副免) ・「介護等体験」を受講 ・第2回介護等体験ガイダンス(特別支援学校体験申込)	実習校種による「教育実習」受講	
5月		3年次教育実習内諾依頼期間	事前ガイダンス ・介護等体験 ・体験先別の体験	4年次教育実習内諾依頼期間	
6月					教育実習
7月					
8月					教育実習事前指導(主免)
9月		「教育実習内諾書」提出期限	・「教育実習」の受講 ・「教育実習内諾書」提出期限	「教職実践演習」を受講	
10月		・第1回介護等体験ガイダンス(社会福祉施設申込) ・介護等体験費納入	主免教育実習	・第2回教員免許状一括申請ガイダンス ・免許状申請費用の納入	
11月				教育実習	
12月					
1月					
2月				・卒業成績発表 ・教員免許状申請判定	
3月	1年次履修カルテ登録	・2年次履修カルテ登録 ・受講判定「教育実習」*3 副専攻免許科目受講許可判定*2	・3年次履修カルテ登録 ・受講判定「教育実習」*3	教員免許状の交付(郵送)	

*1 「麻疹抗体検査」は本学入学時に実施する健康診断項目に含まれています。教育実習や介護等体験に参加するためには、麻疹抗体検査結果が「陽性」であることが必要です。教職履修者で「陽性」でない場合は、教職支援センターから連絡をするので速やかに対応してください。

*2 副専攻免許科目の受講の条件が修得できているか判定を行います。

*3 「教育実習」の受講要件(教育実習参加要件)が修得できているか判定を行います。

※ 各スケジュールは変更する場合があります。詳細はGメールまたはポータルサイトで確認してください。

2 公益財団法人日本レクリエーション協会 レクリエーション指導者資格

余暇時代、生涯スポーツの時代といわれている現在、レクリエーションの理念や手法を身につけた指導者の必要性が広く認識されるようになっていきます。体育・スポーツとレクリエーションの結びつきは強く、地域社会や学校、健康産業などあらゆる職域分野で活躍を希望する者にとって必要な資格となっています。

教育学部は公益財団法人日本レクリエーション協会の養成課程認定校に指定され、レクリエーション・インストラクター、スポーツ・レクリエーション指導者資格を取得することができます。

(2018年度以前の入学生は対象外です。)

なお、資格取得後も2年ごとに更新登録(有料)が必要となります。

【レクリエーション・インストラクター】

卒業所要単位及びつぎの表(教育学部開講科目)の単位を修得すれば、レクリエーション・インストラクター資格を取得できます。

講習科目	時間数	教育学部開講科目	単位
レクリエーション理論	15H	レクリエーション教育論	2単位
レクリエーション実技	36H	レクリエーション教育実技	1単位
		ニュースポーツ	1単位
現場実習	9H	教育実習A、教育実習(初等) 教育実習B、教育実習(中等) 教育実習(幼稚園) アダプテッド・スポーツ実習	5単位 5単位 5単位 1単位
		いずれか1科目 ※学外のレクリエーション事業に2回以上参加 対象となる事業は、つぎの通り 日本レクリエーション協会、都道府県または市町村 レクリエーション協会に関係する事業、または学内 資格認定審査会の認めたレクリエーションに関連 の深い団体の事業 ※事業参加記録カードによる証明が必要になります。	

【スポーツ・レクリエーション指導者】

上記のレクリエーション・インストラクターの単位及びつぎの表(教育学部開講科目)の単位を修得すれば、スポーツ・レクリエーション指導者の資格を取得できます。

講習科目	教育学部開講科目	単位
理論	レクリエーション教育論	2単位
	体育経営論	2単位
	生理学(運動生理学を含む)	2単位
	体育心理学	2単位
現場実習	ニュースポーツ	1単位
	レクリエーション教育実技	1単位

3 公益財団法人日本パラスポーツ協会 パラスポーツ指導員資格

パラスポーツの振興と競技力向上にあたる指導者の資質と指導力向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立するための資格で、資格認定は（公財）日本パラスポーツ協会が行います。

障がいのある人のスポーツ参加を支援する中で、パラスポーツ指導者に求められる役割は年々大きくなっています。

初級パラスポーツ指導員資格は下表に定められた科目を履修し単位を修得することで取得できます。

中級パラスポーツ指導員は初級パラスポーツ指導員の科目と中級パラスポーツ指導員の科目の両方の科目を履修し単位を修得し、活動実績証明書を提出することで資格を取得できます。

なお、資格取得後も毎年協会への更新登録（有料）が必要となります。

※資格申請についてのガイダンスは4年次に行います。

（1）初級パラスポーツ指導員

主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツのきっかけ作りを支援します。

指導員は、障がいの基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践にあたっては、健康や安全また、スポーツの喜びや楽しさを伝えることを重視した指導を行います。

【2020年度以降入学生】

基準カリキュラム	時間数	体育学部開講科目	単位
スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	1.5H	アダプテッド・スポーツ指導法	2単位
障がい者スポーツの意義と理念	1.5H	アダプテッド・スポーツ論 体育社会学	2単位 2単位
コミュニケーションスキルの基礎	1.5H	アダプテッド・スポーツ指導法	2単位
障がいのある人との交流	1.5H	アダプテッド・スポーツ実習	1単位
障がい者スポーツ推進の取り組み	1.5H	アダプテッド・スポーツ指導法	2単位
障がい者スポーツに関する諸施策	1.5H	アダプテッド・スポーツ論	2単位
安全管理	1.5H	アダプテッド・スポーツ論	2単位
各障がいの理解	6H	アダプテッド・スポーツ論	2単位
各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	3H	アダプテッド・スポーツ実技	1単位
全国障害者スポーツ大会の概要	1.5H	アダプテッド・スポーツ論	2単位

(2) 中級パラスポーツ指導員

地域におけるパラスポーツのリーダーとしての役割を持ち、指導現場では十分な知識、技術に基づいた指導ができ、指導員の模範となる者です。

指導員は、地域のスポーツ大会や行事の企画・運営に参加するとともに、全国障害者スポーツ大会に参加する選手団のコーチとして、選手選考やその強化・育成の役割を担います。

さらに指導員の組織化や運営にも関わり、地域のパラスポーツ振興を進めます。

なお、中級パラスポーツ指導員資格には、各科目の履修と活動実績が必要となります。

【2020年度以降入学生】

基準カリキュラム	時間数	体育学部開講科目	単位
スポーツの意義と価値	3H	体育社会学	2 単位
障がい者スポーツ指導員としてのキャリア形成	3H	アダプテッド・スポーツ指導法	2 単位
地域における障がい者スポーツ振興	1.5H	アダプテッド・スポーツ指導法	2 単位
身体の仕組みと体力づくり	3H	生理学（運動生理学を含む） 体力づくり論	2 単位 2 単位
救急処置法	3H	運動療法（救急処置を含む）	2 単位
リスクマネジメント	1.5H	アダプテッド・スポーツ指導法	2 単位
スポーツ心理学 I	1.5H	体育心理学	2 単位
障がい各論	12H	肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 知的障害者の心理・生理・病理 精神保健学	2 単位 2 単位 2 単位 2 単位
障がい者のスポーツ指導における留意点	4.5H	アダプテッド・スポーツ指導法	2 単位
全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則	12H	アダプテッド・スポーツ実技 体育実技（水泳 I）	1 単位 1 単位
全国障害者スポーツ大会の歴史と目的と意義	1.5H	アダプテッド・スポーツ指導法	2 単位
全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分	3H	アダプテッド・スポーツ指導法	2 単位
全国障害者スポーツ大会選手団の編成とスタッフの役割	1.5H	アダプテッド・スポーツ論	2 単位
補装具の理解	1.5H	アダプテッド・スポーツ論 アダプテッド・スポーツ指導法	2 単位 2 単位
発育・発達に応じた指導法	3H	生理学（運動生理学を含む） 体力づくり論	2 単位 2 単位
最重度障がい者のスポーツの実際 （重症心身障がい児・者を含む）	1.5H	アダプテッド・スポーツ実技 肢体不自由教育指導法	1 単位 2 単位
活動実績	80H 以上	活動実績証明書（10日以上）	

4 保育士資格

保育士資格を取得するためには、厚生労働省告示に系列および教科目で定められています。系列ごとの必要単位数の修得と、基礎資格として学士の学位を取得することで保育士資格の取得が可能となります。

※資格申請についてのガイダンスは4年次に行います。

1. 教育学部における開講科目

卒業所要単位及びつぎの表（1）（2）（3）の単位を修得すれば、保育士資格を取得できます。

【2023年度入学生】

（1）教養科目

●必修

系列	教科目	単 位	本学開講科目	単 位	履修 方法	配当年次			
						1年	2年	3年	4年
教養 科目	外国語、体育以外 の科目	6	言語活動	2	●	*			
			情報処理Ⅰ	1	●	*			
			情報処理Ⅱ	1	●	*			
			日本国憲法	2	●	*			
	外国語	2	英語Ⅱ a	1	●		*		
			英語Ⅱ b	1	●		*		
	体 育	2	基礎体育Ⅰ	1	●	*			
			基礎体育Ⅱ	1	●	*			
合 計 10 単位			必修 10 単位						

（2）必修科目

●必修

系列	教科目	単 位	本学開講科目	単 位	履修 方法	配当年次			
						1年	2年	3年	4年
保育の 本質・ 目的に 関する 科目	保育原理	2	保育原理	2	●	*			
	教育原理	2	教育原論	2	●	*			
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	●	*			
	社会福祉	2	現代社会と福祉	2	●	*			
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	●		*		
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護	2	●			*	
	保育者論	2	教職論	2	●	*			
保育の 対象の 理解に 関する 科目	保育の心理学	2	学校教育心理学	2	●	*			
	子ども家庭支援の 心理学	2	子どもの家庭支援の 心理学	2	●			*	
	子どもの理解と 援助	1	幼児理解	2	●	*			
	子どもの保健	2	学校保健（小児保健・学校 安全を含む）	2	●		*		
	子どもの食と栄養	2	栄養教育	2	●			*	
保育の 内容・ 方法に 関する 科目	保育の計画と評価	2	保育計画論	2	●		*		
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	●	*			
	保育内容演習	5	健康領域指導法	2	●		*		
			人間関係領域指導法	2	●			*	
			環境領域指導法	2	●			*	
			言葉領域指導法	2	●			*	
			表現（造形）領域指導法	2	●			*	
表現（音楽）領域指導法	2	●			*				

	保育内容の理解と方法	4	幼児と健康	2	●	*			
			幼児と音楽表現	2	●		*		
			図画工作実技（幼児と造形表現）	2	●		*		
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	●		*		
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	●			*	
	子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全	1	●		*		
	障害児保育	2	障害児の教育課程	2	●		*		
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護演習	1	●			*	
子育て支援	1	教育相談	2	●			*		
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（施設）	2	●		*		
			保育実習Ⅰ（保育所）	2	●			*	
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（施設）	1	●		*		
			保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	●			*	
総合演習	保育実習演習	2	保育実践演習	4	●			*	
合計 51 単位			必修 61 単位						

(3) 選択必修科目

◎選択必修

系列	科目名	単位	本学開講科目	単位	履修方法	配当年次			
						1年	2年	3年	4年
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	開講科目の合計6単位以上	教育行政学	2	◎			*	
保育の対象の理解に関する科目			特別ニーズ教育論	2	◎	*			
			精神保健学	2	◎			*	
			発達障害教育総論	2	◎		*		
			情緒障害教育総論	2	◎				*
保育の内容・方法に関する科目			教育方法・技術論(情報通信技術の活用を含む)	2	◎			*	
			道徳教育の指導法	2	◎	*			
保育実習			保育実習Ⅱ	Ⅱ・Ⅲいずれか3単位以上	保育実習Ⅱ	2	◎		
	保育実習指導Ⅱ	1				*			
	保育実習Ⅲ	2	◎					*	
	保育実習指導Ⅲ	1						*	
最低修得単位数 9 単位			必修 8 単位、選択必修 3 単位						

2. 保育実習について

保育実習は原則として、以下の通り行います。

保育実習期間は、各科目それぞれ10日間以上です。また実習先により土日祝祭日を含む場合があります。

また、保育実習には費用がかかります。詳細は別途連絡します。

	本学開講科目名	単位	必修・選択	時期
保育実習 事前事後指導	保育実習指導Ⅰ（施設）	1	必修	2年次 後期
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	必修	3年次 前期
	保育実習指導Ⅱ	1	いずれか1科目	3年次 後期
	保育実習指導Ⅲ	1	選択必修	4年次 前期
保育実習	保育実習Ⅰ（施設）	2	必修	2年次 後期
	保育実習Ⅰ（保育所）	2	必修	3年次 前期
	保育実習Ⅱ	2	いずれか1科目	3年次 後期
	保育実習Ⅲ	2	選択必修	4年次 前期

【選択必修科目について】

・保育実習Ⅱを選択した場合

保育実習指導Ⅰ（施設） → 保育実習Ⅰ（施設） → 保育実習指導Ⅰ（保育所） →
保育実習Ⅰ（保育所） → 保育実習指導Ⅱ → 保育実習Ⅱ

・保育実習Ⅲを選択した場合

保育実習指導Ⅰ（施設） → 保育実習Ⅰ（施設） → 保育実習指導Ⅰ（保育所） →
保育実習Ⅰ（保育所） → 保育実習指導Ⅲ → 保育実習Ⅲ

3. 事前事後指導について

各保育実習を履修する場合、それぞれの実習指導科目（保育実習指導Ⅰ（施設）（保育所）・Ⅱ・Ⅲ）において事前事後指導を計15回実施し、実習に関する知識や技能について学びます。

また、実習指導の一環として実習前には実習直前オリエンテーションを実施し、実習後には実習報告会を開催します。さらに、一人ひとりの実習に関する課題を明確にすることを目的とした個人面談を実施し、実習後の学習に役立てます。

実習に参加する（参加を希望する）学生は、これらの授業およびオリエンテーション、報告会、個人面談などに、全て出席しなければなりません。正当な理由なく欠席した場合、実習参加や単位修得できない場合もあるので注意すること。

4. 保育士資格の申請

保育士資格取得希望者は、4年次に開催する保育士登録申請説明会に必ず出席してください。

ガイダンスの無断欠席や申請書類の提出遅れは認めませんので注意してください。

※保育士資格に関する窓口は教育学部教務担当となります。

VI 2023年度教育学部開講科目一覧

2023年度入学生 教育学部 教育学科

基礎科目	配当	単位	卒業必修	免許種別						
				小学	中学	高校	幼稚園	特支	保育士	
総合教育科目（必修4／選択4以上／計8単位以上）										
言語活動	1	2	○							○
基礎数学	1	2								
基礎理科	1	2								
法学	1	2								
経済学	1	2								
家庭と社会	1	2								
生命の尊厳と倫理	1	2								
現代社会と教育	2	2								
情報処理 I	1	1	○	○	○	○	○			○
情報処理 II	1	1	○	○	○	○	○			○
コミュニケーション科目（必修4／選択2以上／計6単位以上）										
英語 I a	1	1	○							
英語 I b	1	1	○							
英語 II a	2	1	○	○	○	○	○			○
英語 II b	2	1	○	○	○	○	○			○
英語 III a	2	1								
英語 III b	2	1								
中国語 a	2	1								
中国語 b	2	1								
手話 a	2	1								
手話 b	2	1								
海外語学研修	2	1								
教職基礎科目（必修12／計12単位）										
教職論	1	2	○	○	○	○	○	○	○	○
教育原論	1	2	○	○	○	○	○	○	○	○
学校教育心理学	1	2	○	○	○	○	○	○	○	○
教育行政学	3	2	○	○	○	○	○	○	○	▲
日本国憲法	1	2	○	○	○	○	○	○	○	○
特別ニーズ教育論	1	2	○	○	○	○	○	○	○	▲
体育基礎科目（必修2／計2単位）										
基礎体育 I	1	1	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎体育 II	1	1	○	○	○	○	○	○	○	○
体育実技（陸上競技 I）	1	1			○	○				
体育実技（水泳 I）	1	1			○	○				
体育実技（器械運動 I）	1	1			○	○				
体育実技（柔道 I）	1	1			●	●				
体育実技（剣道 I）	1	1			●	●				
体育実技（ダンス I）	2	1			○	○				
球技（バレーボール）	2	1			○	○				
球技（バスケットボール）	2	1			○	○				
アダブテッド・スポーツ実技	2	1								
ニュースポーツ	3	1								
野外活動実習 I（夏季）	1	1								
野外活動実習 II（冬季）	1	1								
保健基礎科目（選択4以上／計4単位以上）										
体力測定評価	1	2								
機能解剖学	2	2								
精神保健学	3	2			○	○				▲
栄養教育	3	2								○

専門科目	配当	単位	卒業必修			免許種別						
			小学校	保健体育	幼児教育	小学	中学	高校	幼稚園	特支	保育士	
教職専門科目（小学校・保健体育：必修12単位／幼児教育：必修10単位）												
教育課程論	2	2	○	○	○	○	○	○	○			
道徳教育の指導法	1	2	○	○	○	○	○	○	○		▲	
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2	○	○		○	○	○	○			
教育方法・技術論（情報通信技術の活用を含む）	3	2	○	○	○	○	○	○	○		▲	
生徒指導論・進路指導論	3	2	○	○		○	○	○	○			
幼児理解	1	2			○				○		○	
教育相談	3	2	○	○	○	○	○	○	○		○	
教育実習（幼稚園）	3	5							○			
教育実習（初等）	3	5				○						
教育実習（中等）	3	5					○	○				
教育実習（特別支援）	4	3									○	
教職実践演習（幼稚園・初等・中等）	4	2				○	○	○	○			
人権教育	3	2										
教育法規	3	2										
教職特講（学習評価論）	4	2										
教職特講（学級経営）	4	2										
教職特講（教育課題研究）	4	2										
教職特講（ICT活用教材研究）	4	2										
教職特講（小学校英語）	4	2										
介護等体験（事前事後指導を含む）	3	2				○	○					
発達障害教育総論	2	2									○ ▲	
情緒障害教育総論	4	2									△ ▲	
共通基礎科目（必修2／計2単位）												
基礎演習	1	2	○	○	○							
共通専門科目（必修8／計8単位）												
専門演習 I	3	4	○	○	○							
専門演習 II（卒業論文を含む）	4	4	○	○	○							
幼児教育コース専門科目（幼児教育：必修24単位）												
幼児と健康	1	2			○				○		○	
幼児と環境	1	2			○				○			
保育原理	1	2									○	
子ども家庭福祉	1	2									○	
現代社会と福祉	1	2									○	
保育内容総論	1	2			○				○		○	
幼児と言葉	2	2			○				○			
幼児と音楽表現	2	2			○				○		○	
図画工作実技（幼児と造形表現）	2	2			○				○		○	
幼児と人間関係	2	2			○							
健康領域指導法	2	2			○				○		○	
子ども家庭支援論	2	2									○	
乳児保育 I	2	2									○	
子どもの健康と安全	2	1									○	
保育計画論	2	2									○	
保育実習 I（施設）	2	2									○	
保育実習指導 I（施設）	2	1									○	
人間関係領域指導法	3	2			○				○		○	
環境領域指導法	3	2			○				○		○	
言葉領域指導法	3	2			○				○		○	
表現（造形）領域指導法	3	1			○				○		○	
表現（音楽）領域指導法	3	1			○				○		○	
社会的養護	3	2									○	
子どもの家庭支援の心理学	3	2									○	
乳児保育 II	3	1									○	
保育実習 I（保育所）	3	2									○	
保育実習指導 I（保育所）	3	1									○	
保育実習 II	3	2									■	
保育実習指導 II	3	1										
保育実習 III	4	2										
保育実習指導 III	4	1										
社会的養護演習	4	1									○	
保育実践演習	4	2									○	
子どもビジネス経営論	4	2										

専門科目	配当	単位	卒業必修			免許種別					
			小学校	保健体育	幼児教育	小学	中学	高校	幼稚園	特支	保育士
小学校教育コース専門科目 (小学校: 必修40単位)											
器楽演習	1	2				△					
国語科概論(書写実習を含む)	2	2	○			○					
社会科概論	2	2	○			○					
算数科概論	2	2	○			○					
理科概論	2	2	○			○					
生活科概論	2	2	○			○					
音楽科概論	2	2	○			○					
図画工作科概論	2	2	○			○					
家庭科概論	2	2	○			○					
体育科概論	2	2	○			○					
英語科概論	2	2	○			○					
教科教育法(国語)	2	2	○			○					
教科教育法(社会)	2	2	○			○					
教科教育法(算数)	2	2	○			○					
教科教育法(理科)	2	2	○			○					
教科教育法(生活)	3	2	○			○					
教科教育法(音楽)	3	2	○			○					
教科教育法(図画工作)	3	2	○			○					
教科教育法(家庭)	3	2	○			○					
教科教育法(体育)	2	2	○			○					
教科教育法(英語)	3	2	○			○					
書写実技	2	2									
音楽実技	3	2									
保健体育教育コース専門科目 (保健体育: 必修24単位)											
応用実技(陸上競技Ⅱ)	1	1									
応用実技(水泳Ⅱ)	1	1									
応用実技(器械運動Ⅱ)	1	1									
応用実技(柔道Ⅱ)	2	1									
応用実技(剣道Ⅱ)	2	1									
応用実技(ダンスⅡ)	2	1									
球技(サッカー)	3	1									
球技(ソフトボール)	3	1									
球技(ハンドボール)	3	1									
球技(テニス)	3	1									
体育原理	1	2									
体育心理学	2	2									
体育経営論	3	2	※			※	※				
体育社会学	3	2									
体育史	3	2									
運動学・運動方法学	2	2	○			○	○				
生理学(運動生理学を含む)	1	2	○			○	○				
衛生学・公衆衛生学	2	2	○			○	○				
学校保健(小児保健・学校安全を含む)	2	2	○			○	○			○	
運動療法(救急処置を含む)	2	2	○			○	○				
保健体育科教育法Ⅰ	2	2	○			○	○				
保健体育科教育法Ⅱ	2	2	○			○	○				
保健体育科教育法Ⅲ	2	2	○			○	○				
保健体育科教育法Ⅳ	3	2	○			○	○				
バイオメカニクス論	3	2									
アダプテッド・スポーツ論	1	2									
アダプテッド・スポーツ実習	3	1									
アダプテッド・スポーツ指導法	3	2									
レクリエーション教育論	1	2									
レクリエーション教育実技	2	1									
体力づくり論	3	2									
リトミック	3	1								▲	
特別支援教育コース専門科目											
特別支援教育論	1	2								○	
知的障害者の心理・生理・病理	1	2								○	
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2								○	
病弱者の心理・生理・病理	2	2								○	
知的障害者の発達と心理	2	2								○	
障害児の教育課程	2	2								○	○
知的障害教育指導法	3	2								○	
肢体不自由教育指導法	3	2								○	
病弱教育指導法	3	2								○	
重複障害教育総論	3	2								○	
言語障害教育総論	3	2								○	
感覚障害教育総論	3	2								○	
障害児アセスメント	4	2									
特別支援教育特講(自立活動)	4	2									

キャリア科目	配当	単位	卒業必修	免許種別						
				小学	中学	高校	幼稚園	特支	保育士	
キャリア科目(必修2/計2単位以上)										
学校インターンシップ	1	2	○					○		
学校インターンシップ(初等)	2	2								
学校インターンシップ(中等)	2	2								
学校インターンシップ(特別支援)	2	2								
キャリアデザインⅠ	2	2								
キャリアデザインⅡ	3	2								

○印 - 必修科目

●印 - 2科目より1科目を選択(保健体育免許必修)

※印 - 5科目より3科目を選択(保健体育免許必修)

△印 - 教職選択科目

▲印 - 保育士資格選択必修科目(6単位以上を選択)

■印 - 実習と実習指導Ⅱ・ⅢよりⅡ・Ⅲいずれかを選択

科目名(初等) - 小学校教育に関する科目
 科目名(中等) - 中学校・高等学校教育(保健体育)に関する科目
 科目名(特別支援) - 特別支援教育に関する科目

GPA対象外、履修制限対象外、卒業要件対象外科目についてはP95, 100, 101を参照

科目区分	最低修得単位数		
	小学校教育コース	保健体育教育コース	幼児教育コース
基礎科目	32	32	32
総合教育科目	8	8	8
総合教育 必修	4	4	4
総合教育 選択	4	4	4
コミュニケーション科目	6	6	6
コミュニケーション 必修	4	4	4
コミュニケーション 選択	2	2	2
教職基礎科目	12	12	12
教職基礎 必修	12	12	12
体育基礎科目	2	2	2
体育基礎 必修	2	2	2
体育基礎 選択			
保健基礎科目	4	4	4
保健基礎 選択	4	4	4
専門科目	62	46	44
教職専門科目	12	12	10
教職専門 必修	12	12	10
教職専門 選択必修			
教職専門 選択			
小学校教育コース専門科目	40		
小学校教育コース専門 必修	40		
小学校教育コース専門 選択			
保健体育教育コース専門科目		24	
保健体育教育コース専門 必修		18	
保健体育教育コース専門 選択		6	
特別支援教育コース専門科目			
特別支援教育 選択			
幼児教育コース専門科目			24
幼児教育コース専門 必修			24
幼児教育コース専門 選択			
共通基礎科目	2	2	2
共通基礎 必修	2	2	2
共通専門科目	8	8	8
共通専門 必修	8	8	8
キャリア専門科目	2	2	2
キャリア科目	2	2	2
キャリア 必修	2	2	2
基礎科目・専門科目	28	44	46
合計(卒業要件単位)	124	124	124

2022年度入学生 教育学部 教育学科

基礎科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
総合教育科目（必修4／選択4以上／計8単位以上）							
言語活動	1	2	○				
基礎数学	1	2					
基礎理科	1	2					
法学	1	2					
経済学	1	2					
家庭と社会	1	2					
生命の尊厳と倫理	1	2					
現代社会と教育	2	2					
情報処理Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
情報処理Ⅱ	1	1	○	○	○	○	
コミュニケーション科目（必修4／選択2以上／計6単位以上）							
英語Ⅰa	1	1	○				
英語Ⅰb	1	1	○				
英語Ⅱa	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅱb	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅲa	2	1					
英語Ⅲb	2	1					
中国語a	2	1					
中国語b	2	1					
手話a	2	1					
手話b	2	1					
海外語学研修	2	1					
教職基礎科目（必修12／計12単位）							
教職論	1	2	○	○	○	○	
教育原論	1	2	○	○	○	○	
学校教育心理学	1	2	○	○	○	○	
教育行政学	3	2	○	○	○	○	
日本国憲法	1	2	○	○	○	○	
特別ニーズ教育論	1	2	○	○	○	○	
体育基礎科目（必修2／選択4以上／計6単位以上）							
基礎体育Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
基礎体育Ⅱ	1	1	○	○	○	○	
体育実技（陸上競技Ⅰ）	1	1			○	○	
体育実技（水泳Ⅰ）	1	1			○	○	
体育実技（器械運動Ⅰ）	1	1			○	○	
体育実技（柔道Ⅰ）	1	1			●	●	
体育実技（剣道Ⅰ）	1	1			○	○	
体育実技（ダンスⅠ）	2	1			○	○	
球技（バレーボール）	2	1			○	○	
球技（バスケットボール）	2	1			○	○	
アダプテッド・スポーツ実技	2	1					
ニュースポーツ	3	1					
野外活動実習Ⅰ（夏季）	1	1					
野外活動実習Ⅱ（冬季）	1	1					
保健基礎科目（計4単位以上）							
体力測定評価	1	2					
機能解剖学	2	2					
精神保健学	3	2			○	○	
栄養教育	3	2					

専門科目	配当	単位	卒業必修		免許種別				
			小学校	保健体育	小学	中学	高校	特支	
教職専門科目（必修12／計12単位以上）									
教育課程論	2	2	○		○	○	○		
道徳教育の指導法	1	2	○		○	○	○		
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2	○		○	○	○		
教育方法・技術論（情報通信技術の活用を含む）	3	2	○		○	○	○		
生徒指導論・進路指導論	3	2	○		○	○	○		
教育相談	3	2	○		○	○	○		
教育実習（初等）	3	5			○				
教育実習（中等）	3	5				○	○		
教育実習（特別支援）	4	3							○
教職実践演習（初等・中等）	4	2			○	○	○		
人権教育	3	2							
教育法規	3	2							
教職特講（学習評価論）	4	2							
教職特講（学級経営）	4	2							
教職特講（教育課題研究）	4	2							
教職特講（ICT活用教材研究）	4	2							
教職特講（小学校英語）	4	2							
介護等体験（事前事後指導を含む）	3	2			○	○			
発達障害教育総論	2	2							○
情緒障害教育総論	4	2							△
共通基礎科目（必修4／計4単位）									
基礎演習Ⅰ	1	2	○						
基礎演習Ⅱ	2	2	○						
共通専門科目（必修8／計8単位）									
専門演習Ⅰ	3	4	○						
専門演習Ⅱ（卒業論文を含む）	4	4	○						
小学校教育コース専門科目									
国語科概論Ⅰ	1	2	○		○				
社会科概論Ⅰ	1	2	○		○				
算数科概論Ⅰ	1	2	○		○				
理科概論Ⅰ	1	2	○		○				
器楽演習	1	2			△				
国語科概論Ⅱ（書写実習を含む）	2	2	○		○				
社会科概論Ⅱ	2	2	○		○				
算数科概論Ⅱ	2	2	○		○				
理科概論Ⅱ	2	2	○		○				
生活科概論	2	2	○		○				
音楽科概論	2	2	○		○				
図画工作科概論	2	2	○		○				
家庭科概論	2	2	○		○				
体育科概論	2	2	○		○				
英語科概論	2	2	○		○				
教科教育法（国語）	2	2	○		○				
教科教育法（社会）	2	2	○		○				
教科教育法（算数）	2	2	○		○				
教科教育法（理科）	2	2	○		○				
教科教育法（生活）	3	2	○		○				
教科教育法（音楽）	3	2	○		○				
教科教育法（図画工作）	3	2	○		○				
教科教育法（家庭）	3	2	○		○				
教科教育法（体育）	2	2	○		○				
教科教育法（英語）	3	2	○		○				
音楽実技	3	2							
書写実技	2	2							
図画工作実技	2	2							

原則として保健体育教育コースの学生は履修できません。

専門科目	配当	単位	卒業必修		免許種別			
			小学校	保健体育	小学	中学	高校	特支
保健体育教育コース専門科目								
応用実技（陸上競技Ⅱ）	1	1						
応用実技（水泳Ⅱ）	1	1						
応用実技（器械運動Ⅱ）	1	1						
応用実技（柔道Ⅱ）	2	1						
応用実技（剣道Ⅱ）	2	1						
応用実技（ダンスⅡ）	2	1						
球技（サッカー）	3	1						
球技（ソフトボール）	3	1						
球技（テニス）	3	1						
体育原理	1	2		○		○	○	
体育心理学	2	2		○		○	○	
体育経営論	3	2		○		○	○	
体育社会学	3	2		○		○	○	
体育史	3	2		○		○	○	
運動学・運動方法学	2	2		○		○	○	
生理学（運動生理学を含む）	1	2		○		○	○	
衛生学・公衆衛生学	2	2		○		○	○	
学校保健（小児保健・学校安全を含む）	2	2		○		○	○	
運動療法（救急処置を含む）	2	2		○		○	○	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2		○		○	○	
保健体育科教育法Ⅱ	2	2		○		○	○	
保健体育科教育法Ⅲ	2	2		○		○	○	
保健体育科教育法Ⅳ	3	2		○		○	○	
バイオメカクス論	3	2						
アダプテッド・スポーツ論	1	2						
アダプテッド・スポーツ実習	3	1						
アダプテッド・スポーツ指導法	3	2						
レクリエーション教育論	1	2						
レクリエーション教育実技	2	1						
体カづくり論	3	2						
リトミック	3	1						
特別支援教育コース専門科目								
特別支援教育論	1	2						○
知的障害者の心理・生理・病理	1	2						○
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2						○
病弱者の心理・生理・病理	2	2						○
知的障害者の発達と心理	2	2						○
障害児の教育課程	2	2						○
知的障害教育指導法	3	2						○
肢体不自由教育指導法	3	2						○
病弱教育指導法	3	2						○
重複障害教育総論	3	2						○
言語障害教育総論	3	2						○
感覚障害教育総論	3	2						○
障害児アセスメント	4	2						
特別支援教育特講（自立活動）	4	2						

キャリア科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
キャリア科目（必修2）							
学校インターンシップ	1	2	○				
学校インターンシップ（初等）	2	2					
学校インターンシップ（中等）	2	2					
学校インターンシップ（特別支援）	2	2					
キャリアデザインⅠ	2	2					
キャリアデザインⅡ	3	2					

○印 - 必修科目
 ●印 - 2科目より1科目必修
 △印 - 教職選択科目
 GPA対象外、履修制限対象外、卒業要件対象外科目についてはP95、100、101を参照

科目区分	最低修得単位数	
	小学校教育コース	保健体育教育コース
基礎科目	36	36
総合教育科目	8	8
総合教育 必修	4	4
総合教育 選択	4	4
コミュニケーション科目	6	6
コミュニケーション 必修	4	4
コミュニケーション 選択	2	2
教職基礎科目	12	12
教職基礎 必修	12	12
体育基礎科目	6	6
体育基礎 必修	2	2
体育基礎 選択	4	4
保健基礎科目	4	4
保健基礎 選択	4	4
専門科目	72	52
教職専門科目	12	12
教職専門 必修	12	12
教職専門 選択必修		
教職専門 選択		
小学校教育コース専門科目	48	-
小学校教育コース専門 必修	48	-
小学校教育コース専門 選択		-
保健体育教育コース専門科目		28
保健体育教育コース専門 必修		28
保健体育教育コース専門 選択		
特別支援教育コース専門科目		
特別支援教育 選択		
共通基礎科目	4	4
共通基礎 必修	4	4
共通専門科目	8	8
共通専門 必修	8	8
キャリア専門科目	2	2
キャリア科目	2	2
キャリア 必修	2	2
基礎科目・専門科目	14	34
合計（卒業要件単位）	124	124

第2部（教育学部）

2021年度入学生 教育学部 教育学科

基礎科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
総合教育科目（必修4／選択4以上／計8単位以上）							
言語活動	1	2	○				
基礎数学	1	2					
基礎理科	1	2					
法学	1	2					
経済学	1	2					
家庭と社会	1	2					
生命の尊厳と倫理	1	2					
現代社会と教育	2	2					
情報処理Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
情報処理Ⅱ	1	1	○	○	○	○	
コミュニケーション科目（必修4／選択2以上／計6単位以上）							
英語Ⅰa	1	1	○				
英語Ⅰb	1	1	○				
英語Ⅱa	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅱb	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅲa	2	1					
英語Ⅲb	2	1					
中国語a	2	1					
中国語b	2	1					
手話a	2	1					
手話b	2	1					
海外語学研修	2	1					
教職基礎科目（必修12／計12単位）							
教職論	1	2	○	○	○	○	
教育原論	1	2	○	○	○	○	
学校教育心理学	1	2	○	○	○	○	
教育行政学	3	2	○	○	○	○	
日本国憲法	1	2	○	○	○	○	
特別ニーズ教育論	1	2	○	○	○	○	
体育基礎科目（必修2／選択4以上／計6単位以上）							
基礎体育Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
基礎体育Ⅱ	1	1	○	○	○	○	
体育実技（陸上競技Ⅰ）	1	1			○	○	
体育実技（水泳Ⅰ）	1	1			○	○	
体育実技（器械運動Ⅰ）	1	1			○	○	
体育実技（柔道Ⅰ）	1	1			●	●	
体育実技（剣道Ⅰ）	1	1			●	●	
体育実技（ダンスⅠ）	2	1			○	○	
球技（バレーボール）	2	1			○	○	
球技（バスケットボール）	2	1			○	○	
アダプテッド・スポーツ実技	2	1					
ニュースポーツ	3	1					
野外活動実習Ⅰ（夏季）	1	1					
野外活動実習Ⅱ（冬季）	1	1					
保健基礎科目（計4単位以上）							
体力測定評価	1	2					
機能解剖学	2	2					
精神保健学	3	2			○	○	
栄養教育	3	2					

専門科目	配当	単位	卒業必修		免許種別			
			小学校	保健体育	小学	中学	高校	特支
教職専門科目（必修4／選択必修8／計12単位以上）								
教育課程論	2	2	○		○	○	○	
道徳教育の指導法	1	2	○		○	○	○	
特別活動・総合的な学習の時間の指導法A	2	2		●	○			
特別活動・総合的な学習の時間の指導法B	2	2		●		○	○	
教育方法・技術論A	3	2		●	○			
教育方法・技術論B	3	2		●		○	○	
生徒指導論・進路指導論A	3	2		●	○			
生徒指導論・進路指導論B	3	2		●		○	○	
教育相談A	3	2		●	○			
教育相談B	3	2		●		○	○	
教育実習A	3	5			○			
教育実習B	3	5				○	○	
教育実習C	4	3						○
教職実践演習（初等・中等）	4	2			○	○	○	
人権教育	3	2						
教育法規	3	2						
教職特講（学習評価論）	4	2						
教職特講（学級経営）	4	2						
教職特講（教育課題研究）	4	2						
教職特講（ICT活用教材研究）	4	2						
教職特講（小学校英語）	4	2						
介護等体験（事前事後指導を含む）	3	2			○	○		
発達障害教育総論	2	2						○
情緒障害教育総論	4	2						△
共通基礎科目（必修4／計4単位）								
基礎演習Ⅰ	1	2	○					
基礎演習Ⅱ	2	2	○					
共通専門科目（必修8／計8単位）								
専門演習Ⅰ	3	4	○					
専門演習Ⅱ（卒業論文を含む）	4	4	○					
小学校教育コース専門科目								
国語科概論Ⅰ	1	2	○			○		
社会科概論Ⅰ	1	2	○			○		
算数科概論Ⅰ	1	2	○			○		
理科概論Ⅰ	1	2	○			○		
器楽演習	1	2				△		
国語科概論Ⅱ（書写実習を含む）	2	2	○			○		
社会科概論Ⅱ	2	2	○			○		
算数科概論Ⅱ	2	2	○			○		
理科概論Ⅱ	2	2	○			○		
生活科概論	2	2	○			○		
音楽科概論	2	2	○			○		
図画工作科概論	2	2	○			○		
家庭科概論	2	2	○			○		
体育科概論	2	2	○			○		
英語科概論	2	2	○			○		
教科教育法（国語）	2	2	○			○		
教科教育法（社会）	2	2	○			○		
教科教育法（算数）	2	2	○			○		
教科教育法（理科）	2	2	○			○		
教科教育法（生活）	3	2	○			○		
教科教育法（音楽）	3	2	○			○		
教科教育法（図画工作）	3	2	○			○		
教科教育法（家庭）	3	2	○			○		
教科教育法（体育）	2	2	○			○		
教科教育法（英語）	3	2	○			○		
音楽実技	3	2						
書写実技	2	2						
図画工作実技	2	2						

原則として保健体育教育コースの学生は履修できません。

専門科目	配当	単位	卒業必修		免許種別			
			小学校	保健体育	小学	中学	高校	特支
保健体育教育コース専門科目								
応用実技（陸上競技Ⅱ）	1	1						
応用実技（水泳Ⅱ）	1	1						
応用実技（器械運動Ⅱ）	1	1						
応用実技（柔道Ⅱ）	2	1						
応用実技（剣道Ⅱ）	2	1						
応用実技（ダンスⅡ）	2	1						
球技（サッカー）	3	1						
球技（ソフトボール）	3	1						
球技（ハンドボール）	3	1						
球技（テニス）	3	1						
体育原理	1	2		○		○	○	
体育心理学	2	2		○		○	○	
体育経営論	3	2		○		○	○	
体育社会学	3	2		○		○	○	
体育史	3	2		○		○	○	
運動学・運動方法学	2	2		○		○	○	
生理学（運動生理学を含む）	1	2		○		○	○	
衛生学・公衆衛生学	2	2		○		○	○	
学校保健（小児保健・学校安全を含む）	2	2		○		○	○	
運動療法（救急処置を含む）	2	2		○		○	○	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2		○		○	○	
保健体育科教育法Ⅱ	2	2		○		○	○	
保健体育科教育法Ⅲ	2	2		○		○	○	
保健体育科教育法Ⅳ	3	2		○		○	○	
バイオメカニクス論	3	2						
アダプテッド・スポーツ論	1	2						
アダプテッド・スポーツ実習	3	1						
アダプテッド・スポーツ指導法	3	2						
レクリエーション教育論	1	2						
レクリエーション教育実技	2	1						
体力づくり論	3	2						
リトミック	3	1						
特別支援教育コース専門科目								
特別支援教育論	1	2						○
知的障害者の心理・生理・病理	1	2						○
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2						○
病弱者の心理・生理・病理	2	2						○
知的障害者の発達と心理	2	2						○
障害児の教育課程	2	2						○
知的障害教育指導法	3	2						○
肢体不自由教育指導法	3	2						○
病弱教育指導法	3	2						○
重複障害教育総論	3	2						○
言語障害教育総論	3	2						○
感覚障害教育総論	3	2						○
障害児アセスメント	4	2						
特別支援教育特講（自立活動）	4	2						

キャリア科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
キャリア科目（必修2）							
学校インターンシップ	1	2	○				
学校インターンシップA	2	2					
学校インターンシップB	2	2					
学校インターンシップC	2	2					
キャリアデザインⅠ	2	2					
キャリアデザインⅡ	3	2					

○印 - 必修科目
●印 - 2科目より1科目必修
△印 - 教職選択科目
科目名 A - 小学校教育に関する科目
科目名 B - 中学校・高等学校教育（保健体育）に関する科目
科目名 C - 特別支援教育に関する科目
G P A 対象外、履修制限対象外、卒業要件対象外科目については P95, 100, 101 を参照

科目区分	最低修得単位数	
	小学校教育コース	保健体育教育コース
基礎科目	36	36
総合教育科目	8	8
総合教育 必修	4	4
総合教育 選択	4	4
コミュニケーション科目	6	6
コミュニケーション 必修	4	4
コミュニケーション 選択	2	2
教職基礎科目	12	12
教職基礎 必修	12	12
体育基礎科目	6	6
体育基礎 必修	2	2
体育基礎 選択	4	4
保健基礎科目	4	4
保健基礎 選択	4	4
専門科目	72	52
教職専門科目	12	12
教職専門 必修	4	4
教職専門 選択必修	8	8
教職専門 選択		
小学校教育コース専門科目	48	—
小学校教育コース専門 必修	48	—
小学校教育コース専門 選択		—
保健体育教育コース専門科目		28
保健体育教育コース専門 必修		28
保健体育教育コース専門 選択		
特別支援教育コース専門科目		
特別支援教育 選択		
共通基礎科目	4	4
共通基礎 必修	4	4
共通専門科目	8	8
共通専門 必修	8	8
キャリア専門科目	2	2
キャリア科目	2	2
キャリア 必修	2	2
基礎科目・専門科目	14	34
合計（卒業要件単位）	124	124

2020年度入学生 教育学部 小学校教育コース

基礎科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
総合教育科目（必修4／選択4以上／計8単位以上）							
言語活動	1	2	○				
基礎数学	1	2					
基礎理科	1	2					
法学	1	2					
経済学	1	2					
家庭と社会	1	2					
生命の尊厳と倫理	1	2					
現代社会と教育	2	2					
情報処理Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
情報処理Ⅱ	1	1	○	○	○	○	

コミュニケーション科目（必修4／選択2以上／計6単位以上）							
英語Ⅰa	1	1	○				
英語Ⅰb	1	1	○				
英語Ⅱa	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅱb	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅲa	2	1					
英語Ⅲb	2	1					
中国語a	2	1					
中国語b	2	1					
手話a	2	1					
手話b	2	1					
海外語学研修	2	1					

教職基礎科目（必修12／計12単位）							
教職論	1	2	○	○	○	○	
教育原論	1	2	○	○	○	○	
学校教育心理学	1	2	○	○	○	○	
教育行政学	3	2	○	○	○	○	
日本国憲法	1	2	○	○	○	○	
特別ニーズ教育論	1	2	○	○	○	○	

体育基礎科目（必修8／選択必修1／計9単位以上）							
基礎体育Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
基礎体育Ⅱ	1	1	○	○	○	○	
体育実技（陸上競技Ⅰ）	1	1	○		○	○	
体育実技（水泳Ⅰ）	1	1	○		○	○	
体育実技（器械運動Ⅰ）	1	1	○		○	○	
体育実技（柔道Ⅰ）	1	1	●	●	●		
体育実技（剣道Ⅰ）	1	1	●	●	●		
体育実技（ダンスⅠ）	2	1	○	○	○		
球技（バレーボール）	2	1	○	○	○		
球技（バスケットボール）	2	1	○	○	○		
ニュースポーツ	3	1					
野外活動実習Ⅰ（夏季）	1	1					
野外活動実習Ⅱ（冬季）	1	1					

保健基礎科目（計4単位以上）							
体力測定評価	1	2					
機能解剖学	2	2					
精神保健学	3	2		○	○		
栄養教育	3	2					

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
教職専門科目（必修4／選択必修8／計12単位以上）							
教育課程論	2	2	○	○	○	○	
道徳教育の指導法	1	2	○	○	○	○	
特別活動・総合的な学習の時間の指導法A	2	2	●	○			
特別活動・総合的な学習の時間の指導法B	2	2	●	○	○		
教育方法・技術論A	3	2	●	○			
教育方法・技術論B	3	2	●	○	○		
生徒指導論・進路指導論A	3	2	●	○			
生徒指導論・進路指導論B	3	2	●	○	○		
教育相談A	3	2	●	○			
教育相談B	3	2	●	○	○		
教育実習A	3	5		○			
教育実習B	3	5			○	○	
教育実習C	4	3					○
教職実践演習（初等・中等）	4	2		○	○	○	
人権教育	3	2					
教育法規	3	2					
教職特講（学習評価論）	4	2					
教職特講（学級経営）	4	2					
教職特講（教育課題研究）	4	2					
教職特講（ICT活用教材研究）	4	2					
教職特講（小学校英語）	4	2					
介護等体験（事前事後指導を含む）	3	2		○	○		
発達障害教育総論	2	2					○
情緒障害教育総論	4	2					△

小学校教育コース専門科目（必修48／計48単位以上）							
国語科概論Ⅰ	1	2	○	○			
国語科概論Ⅱ（書写実習を含む）	2	2	○	○			
社会科概論Ⅰ	1	2	○	○			
社会科概論Ⅱ	2	2	○	○			
算数科概論Ⅰ	1	2	○	○			
算数科概論Ⅱ	2	2	○	○			
理科概論Ⅰ	1	2	○	○			
理科概論Ⅱ	2	2	○	○			
生活科概論	2	2	○	○			
音楽科概論	2	2	○	○			
図画工作科概論	2	2	○	○			
家庭科概論	2	2	○	○			
体育科概論	2	2	○	○			
英語科概論	2	2	○	○			
教科教育法（国語）	2	2	○	○			
教科教育法（社会）	2	2	○	○			
教科教育法（算数）	2	2	○	○			
教科教育法（理科）	2	2	○	○			
教科教育法（生活）	3	2	○	○			
教科教育法（音楽）	3	2	○	○			
教科教育法（図画工作）	3	2	○	○			
教科教育法（家庭）	3	2	○	○			
教科教育法（体育）	2	2	○	○			
教科教育法（英語）	3	2	○	○			
器楽演習	1	2					△
音楽実技	3	2					
書写実技	2	2					
図画工作実技	2	2					

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
保健体育教育コース専門科目						
応用実技（陸上競技Ⅱ）	1	1				
応用実技（水泳Ⅱ）	1	1				
応用実技（器械運動Ⅱ）	1	1				
応用実技（柔道Ⅱ）	2	1				
応用実技（剣道Ⅱ）	2	1				
応用実技（ダンスⅡ）	2	1				
球技（サッカー）	3	1				
球技（ソフトボール）	3	1				
球技（ハンドボール）	3	1				
球技（テニス）	3	1				
体育原理	1	2		○	○	
体育心理学	2	2		○	○	
体育経営論	3	2		○	○	
体育社会学	3	2		○	○	
体育史	3	2		○	○	
運動学・運動方法学	2	2		○	○	
生理学（運動生理学を含む）	1	2		○	○	
衛生学・公衆衛生学	2	2		○	○	
学校保健（小児保健・学校安全を含む）	2	2		○	○	
運動療法（救急処置を含む）	2	2		○	○	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2		○	○	
保健体育科教育法Ⅱ	2	2		○	○	
保健体育科教育法Ⅲ	2	2		○	○	
保健体育科教育法Ⅳ	3	2		○		
バイオメカニクス論	3	2				
アダプテッド・スポーツ論	1	2				
アダプテッド・スポーツ実技	2	1				
アダプテッド・スポーツ実習	3	1				
アダプテッド・スポーツ指導法	3	2				
レクリエーション教育論	1	2				
レクリエーション教育実技	2	1				
体づくり論	3	2				
リトミック	3	1				

特別支援教育科目						
特別支援教育論	1	2				○
知的障害者の心理・生理・病理	1	2				○
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2				○
病弱者の心理・生理・病理	2	2				○
知的障害者の発達と心理	2	2				○
障害児の教育課程	2	2				○
知的障害教育指導法	3	2				○
肢体不自由教育指導法	3	2				○
病弱教育指導法	3	2				○
重複障害教育総論	3	2				○
言語障害教育総論	3	2				○
感覚障害教育総論	3	2				○
障害児アセスメント	4	2				
特別支援教育特講（自立活動）	4	2				

共通基礎科目（必修4／計4単位）						
基礎演習Ⅰ	1	2	○			
基礎演習Ⅱ	2	2	○			

共通専門科目（必修8／計8単位）						
専門演習Ⅰ	3	4	○			
専門演習Ⅱ（卒業論文を含む）	4	4	○			

キャリア科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
キャリア科目（必修2）						
学校インターンシップ	1	2	○			
学校インターンシップA	2	2				
学校インターンシップB	2	2				
学校インターンシップC	2	2				
キャリアデザインⅠ	2	2				
キャリアデザインⅡ	3	2				

○印 - 必修科目
●印 - 2科目より1科目必修
△印 - 選択科目
科目名 A - 小学校に関する科目
科目名 B - 中学校・高等学校（保健体育）に関する科目
科目名 C - 特別支援教育に関する科目
GPA対象外、履修制限対象外、卒業要件対象外科目についてはP95, 100, 101を参照

【卒業要件】

科目区分	最低修得単位数	39	124
基礎科目			
総合教育科目		8	39
総合教育 必修	4		
総合教育 選択	4		
コミュニケーション科目		6	
コミュニケーション 必修	4		
コミュニケーション 選択	2		
教職基礎科目		12	
教職基礎 必修	12		
体育基礎科目		9	
体育基礎 必修	8		
体育基礎 選択必修	1		
体育基礎 選択			
保健基礎科目		4	
保健基礎 選択	4		
専門科目			
教職専門科目		12	72
教職専門 必修	4		
教職専門 選択必修	8		
教職専門 選択			
小学校教育コース専門科目		48	
小学校教育コース 必修	48		
小学校教育コース 選択			
共通基礎科目		4	
共通基礎 必修	4		
共通専門科目		8	
共通専門 必修	8		
キャリア科目		2	
キャリア 必修	2		
基礎科目・専門科目		11	

2020年度入学生 教育学部 保健体育教育コース

基礎科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
総合教育科目（必修4／選択4以上／計8単位以上）						
言語活動	1	2	○			
基礎数学	1	2				
基礎理科	1	2				
法学	1	2				
経済学	1	2				
家庭と社会	1	2				
生命の尊厳と倫理	1	2				
現代社会と教育	2	2				
情報処理Ⅰ	1	1	○	○	○	
情報処理Ⅱ	1	1	○	○	○	

コミュニケーション科目（必修4／選択2以上／計6単位以上）						
英語Ⅰa	1	1	○			
英語Ⅰb	1	1	○			
英語Ⅱa	2	1	○	○	○	
英語Ⅱb	2	1	○	○	○	
英語Ⅲa	2	1				
英語Ⅲb	2	1				
中国語a	2	1				
中国語b	2	1				
手話a	2	1				
手話b	2	1				
海外語学研修	2	1				

教職基礎科目（必修12／計12単位）						
教職論	1	2	○	○	○	
教育原論	1	2	○	○	○	
学校教育心理学	1	2	○	○	○	
教育行政学	3	2	○	○	○	
日本国憲法	1	2	○	○	○	
特別ニーズ教育論	1	2	○	○	○	

体育基礎科目（必修8／選択必修1／計9単位以上）						
基礎体育Ⅰ	1	1	○	○	○	
基礎体育Ⅱ	1	1	○	○	○	
体育実技（陸上競技Ⅰ）	1	1	○	○	○	
体育実技（水泳Ⅰ）	1	1	○	○	○	
体育実技（器械運動Ⅰ）	1	1	○	○	○	
体育実技（柔道Ⅰ）	1	1				
体育実技（剣道Ⅰ）	1	1				
体育実技（ダンスⅠ）	2	1	○	○	○	
球技（バレーボール）	2	1	○	○	○	
球技（バスケットボール）	2	1	○	○	○	
ニュースポーツ	3	1				
野外活動実習Ⅰ（夏季）	1	1				
野外活動実習Ⅱ（冬季）	1	1				

保健基礎科目（計4単位以上）						
体力測定評価	1	2				
機能解剖学	2	2				
精神保健学	3	2		○	○	
栄養教育	3	2				

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
教職専門科目（必修4／選択必修8／計12単位以上）						
教育課程論	2	2	○	○	○	
道徳教育の指導法	1	2	○	○	○	
特別活動・総合的な学習の時間の指導法A	2	2		●		
特別活動・総合的な学習の時間の指導法B	2	2		○	○	
教育方法・技術論A	3	2		●		
教育方法・技術論B	3	2		○	○	
生徒指導論・進路指導論A	3	2		●		
生徒指導論・進路指導論B	3	2		○	○	
教育相談A	3	2		●		
教育相談B	3	2		○	○	
教育実習A	3	5				
教育実習B	3	5		○	○	
教育実習C	4	3				○
教職実践演習（初等・中等）	4	2		○	○	
人権教育	3	2				
教育法規	3	2				
教職特講（学習評価論）	4	2				
教職特講（学級経営）	4	2				
教職特講（教育課題研究）	4	2				
教職特講（ICT活用教材研究）	4	2				
教職特講（小学校英語）	4	2				
介護等体験（事前事後指導を含む）	3	2		○		
発達障害教育総論	2	2				○
情緒障害教育総論	4	2				△

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
保健体育教育コース専門科目（必修28／計28単位以上）						
応用実技（陸上競技Ⅱ）	1	1				
応用実技（水泳Ⅱ）	1	1				
応用実技（器械運動Ⅱ）	1	1				
応用実技（柔道Ⅱ）	2	1				
応用実技（剣道Ⅱ）	2	1				
応用実技（ダンスⅡ）	2	1				
球技（サッカー）	3	1				
球技（ソフトボール）	3	1				
球技（ハンドボール）	3	1				
球技（テニス）	3	1				
体育原理	1	2	○	○	○	
体育心理学	2	2	○	○	○	
体育経営論	3	2	○	○	○	
体育社会学	3	2	○	○	○	
体育史	3	2	○	○	○	
運動学・運動方法学	2	2	○	○	○	
生理学（運動生理学を含む）	1	2	○	○	○	
衛生学・公衆衛生学	2	2	○	○	○	
学校保健（小児保健・学校安全を含む）	2	2	○	○	○	
運動療法（救急処置を含む）	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅱ	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅲ	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅳ	3	2	○	○		
バイオメカニクス論	3	2				
アダプテッド・スポーツ論	1	2				
アダプテッド・スポーツ実技	2	1				
アダプテッド・スポーツ実習	3	1				
アダプテッド・スポーツ指導法	3	2				
レクリエーション教育論	1	2				
レクリエーション教育実技	2	1				
体かづくり論	3	2				
リトミック	3	1				

特別支援教育科目						
特別支援教育論	1	2				○
知的障害者の心理・生理・病理	1	2				○
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2				○
病弱者の心理・生理・病理	2	2				○
知的障害者の発達と心理	2	2				○
障害児の教育課程	2	2				○
知的障害教育指導法	3	2				○
肢体不自由教育指導法	3	2				○
病弱教育指導法	3	2				○
重複障害教育総論	3	2				○
言語障害教育総論	3	2				○
感覚障害教育総論	3	2				○
障害児アセスメント	4	2				
特別支援教育特講（自立活動）	4	2				

共通基礎科目（必修4／計4単位）						
基礎演習Ⅰ	1	2	○			
基礎演習Ⅱ	2	2	○			

共通専門科目（必修8／計8単位）						
専門演習Ⅰ	3	4	○			
専門演習Ⅱ（卒業論文を含む）	4	4	○			

キャリア科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
キャリア科目（必修2）						
学校インターンシップ	1	2	○			
学校インターンシップA	2	2				
学校インターンシップB	2	2				
学校インターンシップC	2	2				
キャリアデザインⅠ	2	2				
キャリアデザインⅡ	3	2				

○印	—	必修科目
●印	—	2科目より1科目必修
△印	—	選択科目
科目名 A	—	小学校に関する科目
科目名 B	—	中学校・高等学校（保健体育）に関する科目
科目名 C	—	特別支援教育に関する科目
GPA対象外、履修制限対象外、卒業要件対象外科目についてはP95, 100, 101を参照		

【卒業要件】

科目区分	最低修得単位数	39	124
基礎科目			
総合教育科目		8	124
総合教育 必修	4		
総合教育 選択	4		
コミュニケーション科目		6	
コミュニケーション 必修	4		
コミュニケーション 選択	2		
教職基礎科目		12	
教職基礎 必修	12		
体育基礎科目		9	
体育基礎 必修	8		
体育基礎 選択必修	1		
体育基礎 選択			
保健基礎科目		4	
保健基礎 選択	4		
専門科目			
教職専門科目		12	52
教職専門 必修	4		
教職専門 選択必修	8		
教職専門 選択			
保健体育教育コース専門科目		28	
保健体育教育コース 必修	28		
保健体育教育コース 選択			
共通基礎科目		4	
共通基礎 必修	4		
共通専門科目		8	
共通専門 必修	8		
キャリア科目		2	
キャリア 必修	2		
基礎科目・専門科目		31	

2019年度入学生 教育学部 小学校教育コース

基礎科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
総合教育科目（必修4／選択4以上／計8単位以上）							
言語活動	1	2	○				
基礎数学	1	2					
基礎理科	1	2					
法学	1	2					
経済学	1	2					
家庭と社会	1	2					
生命の尊厳と倫理	1	2					
現代社会と教育	2	2					
情報処理Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
情報処理Ⅱ	1	1	○	○	○	○	

コミュニケーション科目（必修4／選択2以上／計6単位以上）							
英語Ⅰa	1	1	○				
英語Ⅰb	1	1	○				
英語Ⅱa	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅱb	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅲa	2	1					
英語Ⅲb	2	1					
中国語a	2	1					
中国語b	2	1					
手話a	2	1					
手話b	2	1					

教職基礎科目（必修12／計12単位）							
教職論	1	2	○	○	○	○	
教育原論	1	2	○	○	○	○	
学校教育心理学	1	2	○	○	○	○	
教育行政学	3	2	○	○	○	○	
日本国憲法	1	2	○	○	○	○	
特別ニーズ教育論	1	2	○	○	○	○	

体育基礎科目（必修8／選択必修1／計9単位以上）							
基礎体育Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
基礎体育Ⅱ	1	1	○	○	○	○	
体育実技（陸上競技Ⅰ）	1	1	○		○	○	
体育実技（水泳Ⅰ）	1	1	○		○	○	
体育実技（器械運動Ⅰ）	1	1	○		○	○	
体育実技（柔道Ⅰ）	1	1	●	●	●		
体育実技（剣道Ⅰ）	1	1	●	●	●		
体育実技（ダンスⅠ）	2	1	○	○	○		
球技（バレーボール）	2	1	○	○	○		
球技（バスケットボール）	2	1	○	○	○		
ニュースポーツ	3	1					
野外活動実習Ⅰ（夏季）	1	1					
野外活動実習Ⅱ（冬季）	1	1					

保健基礎科目（計4単位以上）							
体力測定評価	1	2					
機能解剖学	2	2					
精神保健学	3	2		○	○		
栄養教育	3	2					

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
教職専門科目（必修4／選択必修8／計12単位以上）							
教育課程論	2	2	○	○	○	○	
道徳教育の指導法	1	2	○	○	○	○	
特別活動・総合的な学習の時間の指導法A	2	2	●	○			
特別活動・総合的な学習の時間の指導法B	2	2	●		○	○	
教育方法・技術論A	3	2	●	○			
教育方法・技術論B	3	2	●		○	○	
生徒指導論・進路指導論A	3	2	●	○			
生徒指導論・進路指導論B	3	2	●		○	○	
教育相談A	3	2	●	○			
教育相談B	3	2	●		○	○	
教育実習A	3	5		○			
教育実習B	3	5			○	○	
教育実習C	4	3					○
教職実践演習（初等・中等）	4	2		○	○	○	
人権教育	3	2					
教育法規	3	2					
教職特講（学習評価論）	4	2					
教職特講（学級経営）	4	2					
教職特講（教育課題研究）	4	2					
教職特講（ICT活用教材研究）	4	2					
教職特講（小学校英語）	4	2					
介護等体験（事前事後指導を含む）	3	2		○	○		
発達障害教育総論	2	2					○
情緒障害教育総論	4	2					△

小学校教育コース専門科目（必修48／計48単位以上）							
国語科概論Ⅰ	1	2	○	○			
国語科概論Ⅱ（書写実習を含む）	2	2	○	○			
社会科概論Ⅰ	1	2	○	○			
社会科概論Ⅱ	2	2	○	○			
算数科概論Ⅰ	1	2	○	○			
算数科概論Ⅱ	2	2	○	○			
理科概論Ⅰ	1	2	○	○			
理科概論Ⅱ	2	2	○	○			
生活科概論	2	2	○	○			
音楽科概論	2	2	○	○			
図画工作科概論	2	2	○	○			
家庭科概論	2	2	○	○			
体育科概論	2	2	○	○			
英語科概論	2	2	○	○			
教科教育法（国語）	2	2	○	○			
教科教育法（社会）	2	2	○	○			
教科教育法（算数）	2	2	○	○			
教科教育法（理科）	2	2	○	○			
教科教育法（生活）	3	2	○	○			
教科教育法（音楽）	3	2	○	○			
教科教育法（図画工作）	3	2	○	○			
教科教育法（家庭）	3	2	○	○			
教科教育法（体育）	2	2	○	○			
教科教育法（英語）	3	2	○	○			
器楽演習	1	2				△	
音楽実技	3	2					
書写実技	2	2					
図画工作実技	2	2					

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中	高	特支
保健体育教育コース専門科目						
応用実技（陸上競技Ⅱ）	1	1				
応用実技（水泳Ⅱ）	1	1				
応用実技（器械運動Ⅱ）	1	1				
応用実技（柔道Ⅱ）	2	1				
応用実技（剣道Ⅱ）	2	1				
応用実技（ダンスⅡ）	2	1				
球技（サッカー）	3	1				
球技（ソフトボール）	3	1				
球技（ハンドボール）	3	1				
球技（テニス）	3	1				
体育原理	1	2		○	○	
体育心理学	2	2		○	○	
体育経営論	3	2		○	○	
体育社会学	3	2		○	○	
体育史	3	2		○	○	
運動学・運動方法学	2	2		○	○	
生理学（運動生理学を含む）	1	2		○	○	
衛生学・公衆衛生学	2	2		○	○	
学校保健（小児保健・学校安全を含む）	2	2		○	○	
運動療法（救急処置を含む）	2	2		○	○	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2		○	○	
保健体育科教育法Ⅱ	2	2		○	○	
保健体育科教育法Ⅲ	2	2		○	○	
保健体育科教育法Ⅳ	3	2		○		
バイオメカニクス論	3	2				
アダプテッド・スポーツ論	1	2				
アダプテッド・スポーツ実技	2	1				
アダプテッド・スポーツ実習	3	1				
アダプテッド・スポーツ指導法	3	2				
レクリエーション教育論	1	2				
レクリエーション教育実技	2	1				
体力づくり論	3	2				
リトミック	3	1				

特別支援教育科目						
特別支援教育論	1	2				○
知的障害者の心理・生理・病理	1	2				○
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2				○
病弱者の心理・生理・病理	2	2				○
知的障害者の発達と心理	2	2				○
障害児の教育課程	2	2				○
知的障害教育指導法	3	2				○
肢体不自由教育指導法	3	2				○
病弱教育指導法	3	2				○
重複障害教育総論	3	2				○
言語障害教育総論	3	2				○
感覚障害教育総論	3	2				○
障害児アセスメント	4	2				
特別支援教育特講（自立活動）	4	2				

共通基礎科目（必修4／計4単位）						
基礎演習Ⅰ	1	2	○			
基礎演習Ⅱ	2	2	○			

共通専門科目（必修8／計8単位）						
専門演習Ⅰ	3	4	○			
専門演習Ⅱ（卒業論文を含む）	4	4	○			

キャリア科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中	高	特支
キャリア科目（必修2）						
学校インターンシップ	1	2	○			
学校インターンシップA	2	2				
学校インターンシップB	2	2				
学校インターンシップC	2	2				
キャリアデザインⅠ	2	2				
キャリアデザインⅡ	3	2				

○印 - 必修科目
●印 - 2科目より1科目必修
△印 - 選択科目
科目名 A - 小学校に関する科目
科目名 B - 中学校・高等学校（保健体育）に関する科目
科目名 C - 特別支援教育に関する科目
GPA対象外、履修制限対象外、卒業要件対象外科目についてはP95, 100, 101を参照

【卒業要件】

科目区分	最低修得単位数		
基礎科目			
総合教育科目		8	
総合教育 必修	4		
総合教育 選択	4		
コミュニケーション科目		6	
コミュニケーション 必修	4		
コミュニケーション 選択	2		
教職基礎科目		12	
教職基礎 必修	12		
体育基礎科目		9	
体育基礎 必修	8		
体育基礎 選択必修	1		
体育基礎 選択			
保健基礎科目		4	
保健基礎 選択	4		
専門科目		124	
教職専門科目			12
教職専門 必修	4		
教職専門 選択必修	8		
教職専門 選択			
小学校教育コース専門科目			48
小学校教育コース 必修	48		
小学校教育コース 選択			
共通基礎科目			4
共通基礎 必修	4		
共通専門科目			8
共通専門 必修	8		
キャリア科目		2	
キャリア 必修	2		
基礎科目・専門科目		11	

2019年度入学生 教育学部 保健体育教育コース

基礎科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
総合教育科目（必修4／選択4以上／計8単位以上）						
言語活動	1	2	○			
基礎数学	1	2				
基礎理科	1	2				
法学	1	2				
経済学	1	2				
家庭と社会	1	2				
生命の尊厳と倫理	1	2				
現代社会と教育	2	2				
情報処理Ⅰ	1	1	○	○	○	
情報処理Ⅱ	1	1	○	○	○	

コミュニケーション科目（必修4／選択2以上／計6単位以上）						
英語Ⅰa	1	1	○			
英語Ⅰb	1	1	○			
英語Ⅱa	2	1	○	○	○	
英語Ⅱb	2	1	○	○	○	
英語Ⅲa	2	1				
英語Ⅲb	2	1				
中国語a	2	1				
中国語b	2	1				
手話a	2	1				
手話b	2	1				

教職基礎科目（必修12／計12単位）						
教職論	1	2	○	○	○	
教育原論	1	2	○	○	○	
学校教育心理学	1	2	○	○	○	
教育行政学	3	2	○	○	○	
日本国憲法	1	2	○	○	○	
特別ニーズ教育論	1	2	○	○	○	

体育基礎科目（必修8／選択必修1／計9単位以上）						
基礎体育Ⅰ	1	1	○	○	○	
基礎体育Ⅱ	1	1	○	○	○	
体育実技（陸上競技Ⅰ）	1	1	○	○	○	
体育実技（水泳Ⅰ）	1	1	○	○	○	
体育実技（器械運動Ⅰ）	1	1	○	○	○	
体育実技（柔道Ⅰ）	1	1	●	●	●	
体育実技（剣道Ⅰ）	1	1	●	●	●	
体育実技（ダンスⅠ）	2	1	○	○	○	
球技（バレーボール）	2	1	○	○	○	
球技（バスケットボール）	2	1	○	○	○	
ニュースポーツ	3	1				
野外活動実習Ⅰ（夏季）	1	1				
野外活動実習Ⅱ（冬季）	1	1				

保健基礎科目（計4単位以上）						
体力測定評価	1	2				
機能解剖学	2	2				
精神保健学	3	2		○	○	
栄養教育	3	2				

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
教職専門科目（必修4／選択必修8／計12単位以上）						
教育課程論	2	2	○	○	○	
道徳教育の指導法	1	2	○	○	○	
特別活動・総合的な学習の時間の指導法A	2	2	●			
特別活動・総合的な学習の時間の指導法B	2	2		○	○	
教育方法・技術論A	3	2	●			
教育方法・技術論B	3	2		○	○	
生徒指導論・進路指導論A	3	2	●			
生徒指導論・進路指導論B	3	2		○	○	
教育相談A	3	2	●			
教育相談B	3	2		○	○	
教育実習A	3	5				
教育実習B	3	5		○	○	
教育実習C	4	3				○
教職実践演習（初等・中等）	4	2		○	○	
人権教育	3	2				
教育法規	3	2				
教職特講（学習評価論）	4	2				
教職特講（学級経営）	4	2				
教職特講（教育課題研究）	4	2				
教職特講（ICT活用教材研究）	4	2				
教職特講（小学校英語）	4	2				
介護等体験（事前事後指導を含む）	3	2		○		
発達障害教育総論	2	2				○
情緒障害教育総論	4	2				△

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
保健体育教育コース専門科目（必修28／計28単位以上）						
応用実技（陸上競技Ⅱ）	1	1				
応用実技（水泳Ⅱ）	1	1				
応用実技（器械運動Ⅱ）	1	1				
応用実技（柔道Ⅱ）	2	1				
応用実技（剣道Ⅱ）	2	1				
応用実技（ダンスⅡ）	2	1				
球技（サッカー）	3	1				
球技（ソフトボール）	3	1				
球技（ハンドボール）	3	1				
球技（テニス）	3	1				
体育原理	1	2	○	○	○	
体育心理学	2	2	○	○	○	
体育経営論	3	2	○	○	○	
体育社会学	3	2	○	○	○	
体育史	3	2	○	○	○	
運動学・運動方法学	2	2	○	○	○	
生理学（運動生理学を含む）	1	2	○	○	○	
衛生学・公衆衛生学	2	2	○	○	○	
学校保健（小児保健・学校安全を含む）	2	2	○	○	○	
運動療法（救急処置を含む）	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅱ	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅲ	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅳ	3	2	○	○		
バイオメカニクス論	3	2				
アダプテッド・スポーツ論	1	2				
アダプテッド・スポーツ実技	2	1				
アダプテッド・スポーツ実習	3	1				
アダプテッド・スポーツ指導法	3	2				
レクリエーション教育論	1	2				
レクリエーション教育実技	2	1				
体力づくり論	3	2				
リトミック	3	1				

特別支援教育科目						
特別支援教育論	1	2				○
知的障害者の心理・生理・病理	1	2				○
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2				○
病弱者の心理・生理・病理	2	2				○
知的障害者の発達と心理	2	2				○
障害児の教育課程	2	2				○
知的障害教育指導法	3	2				○
肢体不自由教育指導法	3	2				○
病弱教育指導法	3	2				○
重複障害教育総論	3	2				○
言語障害教育総論	3	2				○
感覚障害教育総論	3	2				○
障害児アセスメント	4	2				
特別支援教育特講（自立活動）	4	2				

共通基礎科目（必修4／計4単位）						
基礎演習Ⅰ	1	2	○			
基礎演習Ⅱ	2	2	○			

共通専門科目（必修8／計8単位）						
専門演習Ⅰ	3	4	○			
専門演習Ⅱ（卒業論文を含む）	4	4	○			

キャリア科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
キャリア科目（必修2）						
学校インターンシップ	1	2	○			
学校インターンシップA	2	2				
学校インターンシップB	2	2				
学校インターンシップC	2	2				
キャリアデザインⅠ	2	2				
キャリアデザインⅡ	3	2				

○印 - 必修科目
●印 - 2科目より1科目必修
△印 - 選択科目
科目名 A - 小学校に関する科目
科目名 B - 中学校・高等学校（保健体育）に関する科目
科目名 C - 特別支援教育に関する科目
GPA対象外、履修制限対象外、卒業要件対象外科目についてはP95, 100, 101を参照

【卒業要件】

科目区分	最低修得単位数		
基礎科目			
総合教育科目	8		
総合教育 必修	4		
総合教育 選択	4		
コミュニケーション科目	6		
コミュニケーション 必修	4		
コミュニケーション 選択	2		
教職基礎科目	12		
教職基礎 必修	12		
体育基礎科目	9		
体育基礎 必修	8		
体育基礎 選択必修	1		
体育基礎 選択			
保健基礎科目	4		
保健基礎 選択	4		
専門科目	124		
教職専門科目	12		
教職専門 必修	4		
教職専門 選択必修	8		
教職専門 選択			
保健体育教育コース専門科目	28		
保健体育教育コース 必修	28		
保健体育教育コース 選択			
共通基礎科目	4		
共通基礎 必修	4		
共通専門科目	8		
共通専門 必修	8		
キャリア科目	2		
キャリア 必修	2	2	2
基礎科目・専門科目	31		

2015～2018年度入学生 教育学部 小学校教育コース

基礎科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
総合教育科目（必修4／選択4以上／計8単位以上）							
言語活動	1	2	○				
基礎数学	1	2					
基礎理科	1	2					
法学	1	2					
経済学	1	2					
家庭と社会	1	2					
生命の尊厳と倫理	1	2					
情報処理Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
情報処理Ⅱ	1	1	○	○	○	○	

コミュニケーション科目（必修4／選択2以上／計6単位以上）							
英語Ⅰa	1	1	○				
英語Ⅰb	1	1	○				
英語Ⅱa	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅱb	2	1	○	○	○	○	
英語Ⅲa	2	1					
英語Ⅲb	2	1					
中国語a	2	1					
中国語b	2	1					
手話a	2	1					
手話b	2	1					

教職基礎科目（必修12／計12単位）							
教職論	1	2	○	○	○	○	
教育原論	1	2	○	○	○	○	
学校教育心理学	1	2	○	○	○	○	
教育行政学	3	2	○	○	○	○	
日本国憲法	1	2	○	○	○	○	
特別支援教育論	1	2	○				○

体育基礎科目（必修8／選択必修1／計9単位以上）							
基礎体育Ⅰ	1	1	○	○	○	○	
基礎体育Ⅱ	1	1	○	○	○	○	
体育実技（陸上競技Ⅰ）	1	1	○		○	○	
体育実技（水泳Ⅰ）	1	1	○		○	○	
体育実技（器械運動Ⅰ）	1	1	○		○	○	
体育実技（柔道Ⅰ）	1	1	●		●	●	
体育実技（剣道Ⅰ）	1	1					
体育実技（ダンスⅠ）	2	1	○		○	○	
球技（バレーボール）	2	1	○		○	○	
球技（バスケットボール）	2	1	○		○	○	
ニュースポーツ	3	1					
野外活動実習	3	1					

保健基礎科目（計4単位以上）							
体力測定評価	1	2					
機能解剖学	2	2					
精神保健学	3	2		○	○		
栄養教育	3	2					

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
教職専門科目（選択必修12／計12単位以上）							
教育課程論A	2	2	●	○			
教育課程論B	2	2	●		○	○	
道德教育の指導法A	1	2	●	○			
道德教育の指導法B	1	2	●		○	○	
特別活動の指導法A	2	2	●	○			
特別活動の指導法B	2	2	●		○	○	
教育方法・技術論A	3	2	●	○			
教育方法・技術論B	3	2	●		○	○	
生徒指導論・進路指導論A	3	2	●	○			
生徒指導論・進路指導論B	3	2	●		○	○	
教育相談A	3	2	●	○			
教育相談B	3	2	●		○	○	
教育実習A	3	5		○			
教育実習B	3	5			○	○	
教育実習C	4	3					○
教職実践演習	4	2		○	○	○	
人権教育	3	2					
教職特講（現代社会と教育）	4	2					
教職特講（学習評価論）	4	2					
教職特講（学校経営）	4	2					
教職特講（ICT活用教材研究）	4	2					
介護等体験（事前事後指導を含む）	3	2		○	○		
L・D・A・D・H・D教育総論	4	2					○
情緒障害教育総論	4	2					△

小学校教育コース専門科目（必修46／計46単位以上）							
国語科概論Ⅰ	1	2	○	○			
国語科概論Ⅱ（書写実習を含む）	2	2	○	○			
社会科概論Ⅰ	1	2	○	○			
社会科概論Ⅱ	2	2	○	○			
算数科概論Ⅰ	1	2	○	○			
算数科概論Ⅱ	2	2	○	○			
理科概論Ⅰ	1	2	○	○			
理科概論Ⅱ	2	2	○	○			
生活科概論	2	2	○	○			
音楽科概論	2	2	○	○			
図画工作科概論	2	2	○	○			
家庭科概論	2	2	○	○			
体育科概論	1	2	○	○			
教科教育法（国語）	2	2	○	○			
教科教育法（社会）	2	2	○	○			
教科教育法（算数）	2	2	○	○			
教科教育法（理科）	2	2	○	○			
教科教育法（生活）	3	2	○	○			
教科教育法（音楽）	3	2	○	○			
教科教育法（図画工作）	3	2	○	○			
教科教育法（家庭）	3	2	○	○			
教科教育法（体育）	2	2	○	○			
小学校英語	3	2	○	○			
器楽演習	3	2			△		
ピアノ実技	1	2					
書写実技	2	2					
図画工作実技	2	2					

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
保健体育教育コース専門科目							
応用実技（陸上競技Ⅱ）	1	1					
応用実技（水泳Ⅱ）	1	1					
応用実技（器械運動Ⅱ）	1	1					
応用実技（柔道Ⅱ）	2	1					
応用実技（剣道Ⅱ）	2	1					
応用実技（ダンスⅡ）	2	1					
球技（サッカー）	3	1					
球技（ソフトボール）	3	1					
球技（ハンドボール）	3	1					
球技（テニス）	3	1					
体育原理	1	2			○	○	
体育心理学	2	2			○	○	
体育経営論	3	2			○	○	
体育社会学	3	2			○	○	
体育史	3	2			○	○	
運動学・運動方法学	2	2			○	○	
生理学（運動生理学を含む）	1	2			○	○	
衛生学・公衆衛生学	2	2			○	○	
学校保健（小児保健・学校安全を含む）	2	2			○	○	
運動療法（救急処置を含む）	2	2			○	○	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2			○	○	
保健体育科教育法Ⅱ	2	2			○	○	
保健体育科教育法Ⅲ	2	2			○	○	
保健体育科教育法Ⅳ	3	2			●	●	
バイオメカニクス論	3	2					
アダプテッド・スポーツ論	2	2					
アダプテッド・スポーツ実技	3	1					
アダプテッド・スポーツ実習	3	1					
レクリエーション教育論	1	2					
レクリエーション教育実技	2	1					
体かづくり論	3	2					
リトミック	3	1					

特別支援教育科目							
知的障害者の心理・生理・病理	1	2					○
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2					○
病弱者の心理・生理・病理	2	2					○
知的障害者の発達と心理	2	2					○
障害児の教育課程	2	2					○
知的障害教育指導法	3	2					○
肢体不自由教育指導法	3	2					○
病弱教育指導法	3	2					○
重複障害教育総論	3	2					○
言語障害教育総論	3	2					○
感覚障害教育総論	3	2					○

共通専門科目（必修8／計8単位）							
専門演習Ⅰ	3	4	○				
専門演習Ⅱ（卒業論文を含む）	4	4	○				

キャリア科目	配当	単位	卒業必修	免許種別			
				小学	中学	高校	特支
キャリア科目（必修2）							
学校インターンシップ	1	2	○				
学校インターンシップAⅠ	2	2					
学校インターンシップAⅡ	2	2					
学校インターンシップBⅠ	2	2					
学校インターンシップBⅡ	2	2					
学校インターンシップCⅠ	3	2					
学校インターンシップCⅡ	3	2					
キャリアデザインⅠ	2	2					
キャリアデザインⅡ	3	2					

○印 - 必修科目
●印 - 2科目より1科目必修

△印 - 選択科目
科目名 A - 小学校に関する科目
科目名 B - 中学校・高等学校（保健体育）に関する科目
科目名 C - 特別支援教育に関する科目

科目名 - GPA対象外科目

科目名 - 履修制限対象外科目（GPAは対象）

科目名 - 卒業要件にならない科目（履修制限及びGPA対象外）

【卒業要件】

科目区分	最低修得単位数		
基礎科目			
総合教育科目			8
総合教育 必修	4		
総合教育 選択	4		
コミュニケーション科目			6
コミュニケーション 必修	4		
コミュニケーション 選択	2		
教職基礎科目			12
教職基礎 必修	12		
体育基礎科目			9
体育基礎 必修	8		
体育基礎 選択必修	1		
体育基礎 選択			
保健基礎科目			4
保健基礎 選択	4		
専門科目			
教職専門科目			12
教職専門 選択必修	12		
教職専門 選択			
小学校教育コース専門科目			66
小学校教育コース 必修	46		
小学校教育コース 選択			
共通専門科目			8
共通専門 必修	8		
キャリア科目			2
キャリア 必修	2		
基礎科目・専門科目			17

2015～2018年度入学生 教育学部 保健体育教育コース

基礎科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
総合教育科目（必修4／選択4以上／計8単位以上）						
言語活動	1	2	○			
基礎数学	1	2				
基礎理科	1	2				
法学	1	2				
経済学	1	2				
家庭と社会	1	2				
生命の尊厳と倫理	1	2				
情報処理Ⅰ	1	1	○	○	○	
情報処理Ⅱ	1	1	○	○	○	

コミュニケーション科目（必修4／選択2以上／計6単位以上）						
英語Ⅰa	1	1	○			
英語Ⅰb	1	1	○			
英語Ⅱa	2	1	○	○	○	
英語Ⅱb	2	1	○	○	○	
英語Ⅲa	2	1				
英語Ⅲb	2	1				
中国語a	2	1				
中国語b	2	1				
手話a	2	1				
手話b	2	1				

教職基礎科目（必修12／計12単位）						
教職論	1	2	○	○	○	
教育原論	1	2	○	○	○	
学校教育心理学	1	2	○	○	○	
教育行政学	3	2	○	○	○	
日本国憲法	1	2	○	○	○	
特別支援教育論	1	2	○			○

体育基礎科目（必修8／選択必修1／計9単位以上）						
基礎体育Ⅰ	1	1	○	○	○	
基礎体育Ⅱ	1	1	○	○	○	
体育実技（陸上競技Ⅰ）	1	1	○	○	○	
体育実技（水泳Ⅰ）	1	1	○	○	○	
体育実技（器械運動Ⅰ）	1	1	○	○	○	
体育実技（柔道Ⅰ）	1	1	●	●	●	
体育実技（剣道Ⅰ）	1	1				
体育実技（ダンスⅠ）	2	1	○	○	○	
球技（バレーボール）	2	1	○	○	○	
球技（バスケットボール）	2	1	○	○	○	
ニュースポーツ	3	1				
野外活動実習	3	1				

保健基礎科目（計4単位以上）						
体力測定評価	1	2				
機能解剖学	2	2				
精神保健学	3	2		○	○	
栄養教育	3	2				

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
教職専門科目（選択必修12／計12単位以上）						
教育課程論A	2	2	●			
教育課程論B	2	2		○	○	
道徳教育の指導法A	1	2	●			
道徳教育の指導法B	1	2		○	○	
特別活動の指導法A	2	2	●			
特別活動の指導法B	2	2		○	○	
教育方法・技術論A	3	2	●			
教育方法・技術論B	3	2		○	○	
生徒指導論・進路指導論A	3	2	●			
生徒指導論・進路指導論B	3	2		○	○	
教育相談A	3	2	●			
教育相談B	3	2		○	○	
教育実習A	3	5				
教育実習B	3	5		○	○	
教育実習C	4	3				○
教職実践演習	4	2		○	○	
人権教育	3	2				
教職特講（現代社会と教育）	4	2				
教職特講（学習評価論）	4	2				
教職特講（学校経営）	4	2				
教職特講（ICT活用教材研究）	4	2				
介護等体験（事前事後指導を含む）	3	2		○		
L D ・ A D H D 教育総論	4	2				○
情緒障害教育総論	4	2				△

専門科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
保健体育教育コース専門科目（必修24／選択必修2／計26単位以上）						
応用実技（陸上競技Ⅱ）	1	1				
応用実技（水泳Ⅱ）	1	1				
応用実技（器械運動Ⅱ）	1	1				
応用実技（柔道Ⅱ）	2	1				
応用実技（剣道Ⅱ）	2	1				
応用実技（ダンスⅡ）	2	1				
球技（サッカー）	3	1				
球技（ソフトボール）	3	1				
球技（ハンドボール）	3	1				
球技（テニス）	3	1				
体育原理	1	2	○	○	○	
体育心理学	2	2	○	○	○	
体育経営論	3	2	○	○	○	
体育社会学	3	2	○	○	○	
体育史	3	2	○	○	○	
運動学・運動方法学	2	2	○	○	○	
生理学（運動生理学を含む）	1	2	○	○	○	
衛生学・公衆衛生学	2	2	○	○	○	
学校保健（小児保健・学校安全を含む）	2	2	○	○	○	
運動療法（救急処置を含む）	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅱ	2	2	○	○	○	
保健体育科教育法Ⅲ	2	2	●	●	●	
保健体育科教育法Ⅳ	3	2				
バイオメカニクス論	3	2				
アダプテッド・スポーツ論	2	2				
アダプテッド・スポーツ実技	3	1				
アダプテッド・スポーツ実習	3	1				
レクリエーション教育論	1	2				
レクリエーション教育実技	2	1				
体カづくり論	3	2				
リトミック	3	1				

特別支援教育科目						
知的障害者の心理・生理・病理	1	2				○
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2				○
病弱者の心理・生理・病理	2	2				○
知的障害者の発達と心理	2	2				○
障害児の教育課程	2	2				○
知的障害教育指導法	3	2				○
肢体不自由教育指導法	3	2				○
病弱教育指導法	3	2				○
重複障害教育総論	3	2				○
言語障害教育総論	3	2				○
感覚障害教育総論	3	2				○

共通専門科目（必修8／計8単位）						
専門演習Ⅰ	3	4	○			
専門演習Ⅱ（卒業論文を含む）	4	4	○			

キャリア科目	配当	単位	卒業必修	免許種別		
				中学	高校	特支
キャリア科目（必修2）						
学校インターンシップ	1	2	○			
学校インターンシップAⅠ	2	2				
学校インターンシップAⅡ	2	2				
学校インターンシップBⅠ	2	2				
学校インターンシップBⅡ	2	2				
学校インターンシップCⅠ	3	2				
学校インターンシップCⅡ	3	2				
キャリアデザインⅠ	2	2				
キャリアデザインⅡ	3	2				

○印 - 必修科目
●印 - 2科目より1科目必修
△印 - 選択科目
科目名 A - 小学校に関する科目
科目名 B - 中学校・高等学校（保健体育）に関する科目
科目名 C - 特別支援教育に関する科目
科目名 - GPA対象外科目
科目名 - 履修制限対象外科目（GPAは対象）
科目名 - 卒業要件にならない科目（履修制限及びGPA対象外）

【卒業要件】

科目区分	最低修得単位数	
基礎科目		
総合教育科目		8
総合教育 必修	4	
総合教育 選択	4	
コミュニケーション科目		6
コミュニケーション 必修	4	
コミュニケーション 選択	2	
教職基礎科目		12
教職基礎 必修	12	
体育基礎科目		9
体育基礎 必修	8	
体育基礎 選択必修	1	
体育基礎 選択		
保健基礎科目		4
保健基礎 選択	4	
専門科目		
教職専門科目		12
教職専門 選択必修	12	
教職専門 選択		
保健体育教育コース専門科目		26
保健体育教育コース 必修	24	
保健体育教育コース 選択必修	2	
保健体育教育コース 選択		
共通専門科目		8
共通専門 必修	8	
キャリア科目		2
キャリア 必修	2	
基礎科目・専門科目		37